



Zebra[®] GX420t[™] / GX430t[™]

デスクトップ・サーマル・プリンタ

ユーザー・ガイド



© 2010 ZIH Corp. G-Series, GX420t, GX430t, ZBI, ZBI 2.0, ZBI-Developer, ZebraDesigner, Uni-Ribbon, ZebraNet, EPL, EPL2, ZPL, ZPL II, OpenACCESS およびすべての製品名と製品番号は Zebra の商標であり、Zebra, Zebra head graphic、および ZebraNet は、ZIH Corp の登録商標です。無断複写、転載を禁じます。他のすべての商標はそれぞれの所有者に属します。

この製品には、ZPL®、ZPL II®、および ZebraLink™ の各プログラム、Element Energy Equalizer™ 回路、E³®、および Monotype Imaging フォントが使用されています。Software© ZIH corp. All rights reserved worldwide.

ZebraLink およびすべての製品名と製品番号は商標であり、Zebra, Zebra のロゴ、ZPL, ZPL II, Element Energy Equalizer 回路、および E3 回路は ZIH corp. の登録商標です。All rights reserved worldwide. Monotype®, Intellifont® および UFST® は、Monotype Imaging, Inc. の商標で、米国の特許商標局では登録済みで、特定の管轄区域でも登録可能です。

CG Triumvirate は Monotype Imaging, Inc. の商標で、特定の管轄区域でも登録可能です。

TrueType® は Apple Computer, Inc. の商標で、米国の特許商標局に登録済みで、特定の管轄区域でも登録可能です。

所有権に関する声明

このマニュアルには、Zebra Technologies Corporation およびその子会社（「Zebra Technologies」）が所有する情報が含まれています。このマニュアルの唯一の目的は、記載されている機器を操作および保守するユーザーに情報を提供することです。Zebra Technologies の書面による許可なしに、その他の目的のためにこのような独自の情報を使用、複製、または他者に開示することは禁じられています。

製品の改善

製品を継続的に改善していくことは、Zebra Technologies のポリシーです。すべての仕様や設計は、通知なしに変更される場合があります。

責任の放棄

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りが含まれていないよう、万全の対策を講じていますが、誤りが発生することもまれにあります。Zebra Technologies では、誤りが発見された場合にそれを補正し、その誤りから生じる責任を放棄する権利を有しています。

責任の制限

いかなる場合においても、Zebra Technologies、または付属の製品（ハードウェアおよびソフトウェアを含む）の作成、製造、または配布にかかわるその他の関係者は、本製品の使用、使用した結果、または使用できなかった結果から生じるすべての損害（業務利益の損失、業務の中断、または業務情報の損失を含む派生的損害を含むがそれに限定されない）に対し、Zebra Technologies がそのような損害の発生する可能性を通告されていた場合でも、一切責任を負いません。管轄区域によっては、付随的または派生的損害の除外または制限を認めていない場合があります。そのため、上記の制限または除外がお客様に適用されないことがあります。

カナダの DOC 準拠に関する声明

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003. (このクラス B デジタル装置は、カナダの ICES-003 に準拠しています。)

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

FCC 準拠に関する声明

このデバイスは Part 15 規則に準拠し、動作は以下の 2 条件を前提とします。

1. 当該デバイスによる有害な干渉を発生しない。
2. 当該デバイスは、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。

この機器は、FCC 規則第 15 条に従った、クラス B デジタル・デバイスの制限に準拠していることが、検査により確認されています。これらの制限は、機器を居住環境内で操作した場合に、有害な干渉に対して妥当な保護を提供する目的で、設定されているものです。この機器は、無線周波数エネルギーを生成および使用し、それらを放射する可能性があります。したがって、製品のマニュアルに従って設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。ただし、干渉が特定の設置で発生しないという保証はありません。この機器が無線またはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は、次の 1 つ以上の対策を講じることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きまたは場所を変えます。
- 機器と受信機の距離を開けます。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続します。
- ご不明点がある場合は、販売業者、または経験豊富な RF サービス技術者にご相談ください。

Zebra Technologies により明示的に承認されていない変更や改造を行うと、装置を操作する権限を失う可能性があるため、注意してください。仕様に準拠するため、このプリンタには完全に遮蔽された通信ケーブルを使用する必要があります。



注意・オプションの RTC アセンブリは 3 ボルトのリチウム・バッテリーを使用します。バッテリーの交換は、資格のあるサービス技師が行う必要があります。Zebra 認定の交換用バッテリーのみを使用してください。



重要・その地域のガイドラインと規則に従って、バッテリーをリサイクルしてください。短絡を避けるため、バッテリーを破棄（または保管）する際にはバッテリーをカバーしてください。

絶対にバッテリーを短絡させないでください。バッテリーを短絡させると、発熱や発火、爆発が起きる恐れがあります。

バッテリーを加熱や分解したり、火の中に投げ込むことは絶対にしないでください。

環境管理



この製品は地方自治体の廃棄物処理に従って処分してください。これはリサイクル可能製品ですので、その地区の基準に従ってリサイクルを行ってください。

詳細につきましては、下記の当社 Web サイトをご覧ください。

Web アドレス : www.zebra.com/environment

本書について



このセクションには、連絡先、文書の構造と組織、および他の参考文献が含まれています。

目次

対象読者.....	vi
本書の構成.....	vi
文書の表記規則.....	viii

対象読者

本書ユーザー・ガイドは、プリンタの操作または問題の解決を行う必要がある読者を対象に書かれています。

本書の構成

本書ユーザー・ガイドは以下のように構成されています。

セクション	説明
1 ページの「はじめに」	このセクションでは、製品ボックスの内容とプリンタ機能の概要について説明します。また、プリンタの開閉方法とトラブルが発生したときの処理手続きについて解説します。
13 ページの「プリンタを使用する前に」	このセクションでは、最初にプリンタを設定し、用紙を装着する最も一般的な操作手順について説明します。
35 ページの「印刷操作」	このセクションでは、用紙と印刷の処理、フォントと言語のサポート、それほど一般的ではないプリンタ設定のセットアップについて説明します。
53 ページの「プリンタ・オプション」	このセクションでは、一般的なプリンタ・オプションやアクセサリに関する簡単な説明と、使用方法や設定方法について説明します。
79 ページの「コントロール・パネル操作」	このセクションでは、LCD コントロール・パネル・オプションを搭載したプリンタで表示される操作、ナビゲーション、パラメータについて説明します。
85 ページの「メンテナンス」	このセクションでは、定期的なクリーニングおよびメンテナンスの手順について説明します。
99 ページの「トラブルシューティング」	このセクションでは、トラブルシューティングが必要なプリンタのエラー報告について説明します。各種診断テストも含まれています。
113 ページの「付録: インターフェイス配線」	このセクションでは、追加のインターフェイス情報や配線図によって、プリンタとホスト・システムの統合 (通常は PC) をサポートします。
119 ページの「付録: 寸法」	このセクションでは、標準プリンタとオプション付きプリンタの外寸を示します。
123 ページの「付録: ZPL の設定」	このセクションでは、プリンタ設定についての簡単な説明と、ZPL プリンタ設定コマンドへの相互参照を取り扱います。

連絡先

インターネットを利用した技術サポートは、年中無休、24 時間受け付け可能です。

Web サイト : www.zebra.com

テクニカル・ライブラリ文書の電子メールによる返送 :

- 電子メール・アドレス : emb@zebra.com
- 件名 : Emaillist

セルフサービス・ナレッジ・ベース : www.zebra.com/knowledgebase

オンライン・ケース登録 : www.zebra.com/techrequest

連絡先の部門	南アメリカ/北アメリカ	ヨーロッパ、アフリカ、 中東、インド	アジア太平洋
地域本部	Zebra Technologies International, LLC 333 Corporate Woods Parkway Vernon Hills, IL 60061-3109 U.S.A. 電話 :+1 847 793 2600 フリーダイヤル :+1 800 423 0422 ファックス :+1 847 913 8766	Zebra Technologies Europe Limited Dukes Meadow Millboard Road Boume End Buckinghamshire, SL8 5XF 英国 電話 :+44 (0) 1628 556000 ファックス :+44 (0) 1628 556001	Zebra Technologies Asia Pacific Pte. Ltd. 120 Robinson Road #06-01 Parakou Building Singapore 068913 電話 :+ 65 6858 0722 ファックス :+65 6885 0838
技術サポート Zebra 機器およびソフトウェアの 操作に関する質問については、販 売業者にお問い合わせください。 さらに援助が必要な場合は、Zebra までお問い合わせください。 モデル番号とシリアル番号をご用 意ください。	電話 :+1 877 ASK ZEBRA (275 9327) ファックス :+1 847 913 2578 ハードウェア : ts1@zebra.com ソフトウェア : ts3@zebra.com	電話 :+44 (0) 1628 556039 ファックス :+44 (0) 1628 556003 E-mail: Tseurope@zebra.com	電話 :+65 6858 0722 F:+65 6885 0838 電子メール : 中国 : tschina@zebra.com その他の地域 : tsasiapacific@zebra.com
修理サービス部門 プリンタのご送付による修理につ いてのお問い合わせ。	電話 :+1 877 ASK ZEBRA (275 9327) ファックス :+1 847 821 1797 電子メール : repair@zebra.com 米国での修理を依頼するには、 www.zebra.com/repair を参照してく ださい。	電話 :+44 (0) 1772 693069 ファックス :+44 (0) 1772 693046 新しいご依頼 : ukrma@zebra.com ステータスの更新 : repairupdate@zebra.com	電話 :+65 6858 0722 F:+65 6885 0838 電子メール : 中国 : tschina@zebra.com その他の地域 : tsasiapacific@zebra.com
技術研修部門 Zebra 製品研修コースについての お問い合わせ。	電話 :+1 847 793 6868 電話 :+1 847 793 6864 ファックス :+1 847 913 2578 電子メール : ttamerica@zebra.com	電話 :+44 (0) 1628 556000 ファックス :+44 (0) 1628 556001 電子メール : Eurtraining@zebra.com	電話 :+ 65 6858 0722 ファックス :+65 6885 0838 電子メール : 中国 : tschina@zebra.com その他の地域 : tsasiapacific@zebra.com
製品照会部門 製品カタログおよび流通業者、販 売業者についてのお問い合わせ。	電話 :+1 877 ASK ZEBRA (275 9327) 電子メール : inquiry4@zebra.com	電話 :+44 (0) 1628 556037 ファックス :+44 (0) 1628 556005 電子メール : mseurope@zebra.com	電子メール : 中国 : GCmarketing@zebra.com その他の地域 : APACChannelmarketing@zebra.com
カスタマ・サービス部門 (米国) 国内販売部門 (英国) プリンタ本体、パーツ、用紙、リ ボンに関するお問い合わせは、最 寄の販売代理店または弊社までご 連絡ください。	電話 :+1 877 ASK ZEBRA (275 9327) 電子メール : clientcare@zebra.com	電話 :+44 (0) 1628 556032 ファックス :+44 (0) 1628 556001 電子メール : cseurope@zebra.com	電話 :+65 6858 0722 ファックス :+65 6885 0836 電子メール : 中国 : order-csr@zebra.com その他の地域 : csasiapacific@zebra.com

省略記号 : T: 電話
F: ファックス
E: 電子メール

文書の表記規則

本書では、特定の情報を提供するにあたって次の表記規則が使用されます。

代替色 (オンラインのみ) 相互参照には、このガイドの別のセクションにジャンプするためのホット・リンクが含まれています。このガイドを .pdf 形式でオンライン表示している場合に、相互参照 (**青いテキスト**) をクリックすると、参照先に直接ジャンプします。

コマンド・ラインの例 コマンドラインの例は Courier New フォントで表示されます。たとえば、bin ディレクトリに含まれるインストール後のスクリプトにアクセスするには、ZTools と入力します。

ファイルとディレクトリ ファイル名とディレクトリは Courier New フォントで表示されます。たとえば、Zebra<version number>.tar ファイルや /root ディレクトリなどのように表示されます。

絵記号の意味



注意・静電気放電の危険があることを警告します。



注意・電気ショックを受ける危険があることを警告します。



注意・過剰な温度の上昇によって火傷を負う危険があることを警告します。



注意・特定の操作を実行しなかった場合、または特定の操作を避けなかった場合、身体に負傷を及ぼす危険があることを警告します。

注意・(絵記号なし) 特定の操作を実行しなかった場合、または特定の操作を避けられなかった場合、ハードウェアに損傷を及ぼす危険があることを警告します。



重要・タスクを完了するために重要な情報を通知します。



注記・本文の要点を強調または補足する中立的情報または肯定的情報を示します。



例・テキストの内容を明確にするための例やシナリオを提供します。



目次

本書について	v
対象読者	vi
本書の構成	vi
連絡先	vii
文書の表記規則	viii
1・はじめに	1
GXGK シリーズ・サーマル・プリンタ	2
ボックスの中味は?	4
梱包から取り出してプリンタを点検する	4
プリンタ	5
プリンタの機能	6
操作方法	9
2・プリンタを使用する前に	13
電源の取り付け	14
ロール紙の装着	15
用紙の準備	15
用紙セット部におけるロール紙の装着	16
熱転写リボンの装着	19
テスト (プリンタ設定)・ラベルの印刷	23
Windows® プリンタ・ドライバのプリインストール	24
コンピュータへのプリンタの接続	26
インターフェースケーブルの必要要件	26
プリンタ接続後の作業	32

3・印刷操作	35
プリンタ設定の特定	36
プリンタ設定ステータス・ラベルのローカライズ	36
プリンタの長期間の使用休止または保管	36
サーマル印刷	36
印刷モード	37
印刷用紙のタイプ	37
感熱性の用紙のタイプの特典	39
消耗品の取替え	39
新たに熱転写リボンを装着	39
使用済み熱転写リボンの取り替え	40
印刷幅の調整	40
印字品質の調整	40
用紙の検知	41
リボンの概要	42
リボンを使用するケース	42
リボンのコーティング面	42
折り畳み用紙の印刷	44
外部に取り付けられたロール紙の印刷	46
フォントとプリンタ	47
ご使用のプリンタのフォントの識別	47
コードページを使用したプリンタのローカライズ	48
アジア系フォントとその他の大型のフォント	48
アジア系フォントの取得	49
スタンドアロン印刷	50
プリンタへのファイル送信	51
印刷メーター	51
4・プリンタ・オプション	53
ラベル・ディスペンサ・オプション	54
可動式黒線センサー・オプション	57
黒線または切れ込みに合わせた可動式センサーの調整	58
透過式 (ギャップ) 検知のための可動式センサーの調整	60
カッター・オプション	61
カッター・オプションでの用紙のセット	62
ZebraNet® 10/100 内部 (有線) プリント・サーバ・オプション	65
プリンタ・ネットワーク設定ステータス・ラベル	66
ZebraNet® 内部ワイヤレス・プリント・サーバ・オプション	67
プリンタ・ネットワーク設定ステータス・ラベル	68
Bluetooth オプション	70
プリンタ・ネットワーク設定ステータス・ラベル	70
RTC (リアル・タイム・クロック) とフル・フラッシュ・メモリ	73

アジア系フォント — プリンタ・アクセサリ	74
Zebra® KDU — プリンタ・アクセサリ	75
KDU Plus™ — プリンタ・アクセサリ	76
ZBI 2.0™ — Zebra Basic Interpreter	77
5 • コントロール・パネル操作	79
LCD ディスプレイの概要	80
メニューのカスタマイズおよび WML	80
標準操作表示	81
表示設定	81
プリンタ設定	82
802.11 WLAN 設定	83
Bluetooth 設定	83
6 • メンテナンス	85
クリーニング	86
印字ヘッドのクリーニング	87
用紙経路に関する考慮事項	88
プラテンのクリーニングと交換	90
プリンタのその他のメンテナンス	92
印字ヘッドの取替え	93
7 • トラブルシューティング	99
ステータス・ランプの説明	100
ステータス・ランプのエラー解決方法	101
印字品質の問題	103
マニュアル・キャリブレート	106
トラブルシュート・テスト	107
設定ラベルの印刷	107
再キャリブレート	107
工場出荷時デフォルト値にリセット	108
通信診断	108
フィード・ボタン・モード	110
A • 付録：インターフェイス配線	113
USB (ユニバーサル・シリアル・バス) インターフェイス	114
パラレル・インターフェイス	115
イーサネット・インターフェイス	116
シリアル・ポート・インターフェイス	117
B • 付録：寸法	119
GX プリンタの外寸	120

C • 付録 :ZPL の設定	123
ZPL プリンタ設定の管理	124
ZPL 設定ステータスとコマンドの相互参照	125
プリンタのメモリ管理と関連ステータス・レポート	128
メモリ管理のための ZPL プログラミング	128



はじめに

このセクションでは、製品ボックスの内容とプリンタ機能の概要について説明します。また、プリンタの開閉方法とトラブルが発生したときの処理手続きについて解説します。

目次

GXGK シリーズ・サーマル・プリンタ	2
ボックスの中味は?	4
梱包から取り出してプリンタを点検する	4
プリンタ	5
プリンタの機能	6
操作方法	9

GXGK シリーズ・サーマル・プリンタ

Zebra® GX モデルは豊富な機能を備えた Best in Class™ デスクトップ・サーマル・プリンタです。The GX420™ プリンタは、最大速度 6 ips (1 秒当たりのインチ数)、印刷密度 203 dpi (インチ当たりのドット数) で熱転写印刷とダイレクト・サーマル印刷を行います。GX430t™ プリンタは、最大速度 4 ips、印刷密度 300 dpi で熱転写印刷とダイレクト・サーマル印刷を行います。GX420t と GX430t は、ZPL™ および EPL™ の両方の Zebra プリンタ・プログラミング言語をサポートし、広範なインターフェイスと機能オプションをサポートしています。

G-Series™ プリンタの機能：

- プリンタ言語の自動検出、ZPL と EPL プログラミングの自動切り替え、およびラベル・フォーマット
- OpenAccess™ 設計で用紙のセットが容易
- 業界で最も簡単なリボン装着設計
- カラー・コードによる操作方法と用紙ガイド
- Zebra™ グローバル印刷ソリューション - Microsoft Windows キーボード・エンコード (および ANSI)、Unicode UTF-8 および UTF 16 (Unicode 変換形式)、XML、ASCII (レガシー・プログラムやシステムで使用される 7 および 8 ビット)、基本的なシングル・バイトおよびダブル・バイト・フォント・エンコード、JIS および Shift-JIS (Japanese International Standards)、16 進数エンコーディング、カスタム文字マッピング (DAT 表作成、フォント・リンク、文字の再マッピング) をサポート
- オンザフライでの OpenType および TrueType フォント・スケーリングおよびインポート、Unicode、事前ロード済み Swiss 721 Latin 1 フォント、常駐スケーラブル・フォント、各種の常駐ビットマップ・フォント
- プリンタのパフォーマンスを改善：より速い印字速度と 32 ビットプロセッサ
- プラグ&プレイ統合を実現する適性の高い自動シリアル・ポート・ケーブル検出と構成
- プリンタ設定の設定、ラベルとレシートの印刷と設計、プリンタのステータスの確認、グラフィックとフォントのインポート、プログラミング・コマンドの送信、ファームウェアの更新、ファイルのダウンロードを実行できる無料のソフトウェア・アプリケーションおよびドライバ一式。プリンタ設定のクローンとグラフィック、ファイル、フォント、ファームウェア (更新) を 1 つまたは複数の Zebra® イーサネットおよび ZebraNet™ Bridge でローカル接続されたプリンタに送信。
- ユーザーによる有効化とカスタマイズが可能な印字ヘッド・テストとメンテナンスの通知

GX プリンタは次のような幅広いプリンタ・オプションを提供します。

- ラベル・ディスペンス (剥離)
- 内部 10/100 プリント・サーバおよびイーサネット・インターフェイス
- ユーザー・ディスプレイ搭載の Wi-Fi (802.11b/g)
- ユーザー・ディスプレイ搭載の Bluetooth
- 可動式黒線センサー：フル・サイズ可動式黒マーク・センサーおよび複数位置透過式 (ラベル間ギャップ) センサー
- 汎用目的用紙カッター

- 搭載 RTC (リアル・タイム・クロック) と 68MB フル・フラッシュ・メモリ (2009 年 7 月 24 日以前は 12MB フル・フラッシュ・メモリ)。
- 中国語 (簡体字と繁体字)、日本語、韓国語の大型の文字セット用のプリンタ設定オプションを含むアジア系言語のサポート。
- Zebra® ZBI 2.0™ (Zebra BASIC Interpreter) プログラミング言語。ZBI では、プロセスの自動化、周辺機器の使用 (スキャナ、スケール、キーボード、Zebra® KDU、KDU Plus™ など) を、すべて PC やネットワークに取り付けることなく行える、カスタム・プリンタ操作を作成できます。

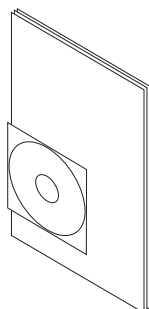
このユーザー・ガイドでは、プリンタを日常的に操作する上で必要となる情報を網羅しています。ラベル・フォーマットの作成は、お手元のプログラミング・ガイド、または ZebraDesigner™ などのラベル・デザイン用のアプリケーションを参照してください。

このプリンタは、ホスト・コンピュータに接続されると、ラベルとタグを印刷する完全なシステムとして機能します。

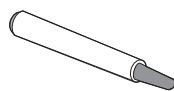
注記・プリンタ設定の多くは、プリンタ・ドライバかラベル設計ソフトウェアによってコントロールされていることもあります。詳細はドライバまたはソフトウェアのマニュアルを参照してください。

ボックスの中味は？

後でプリンタを輸送したり保管する必要がある場合のために、カートンとすべての梱包資材を保管してください。梱包を解いたら、部品がすべて揃っていることを確認してください。次に述べるプリンタ検査の手続きに従ってプリンタの部品に習熟し、この本に記載されている指示に従うことができるようにしてください。



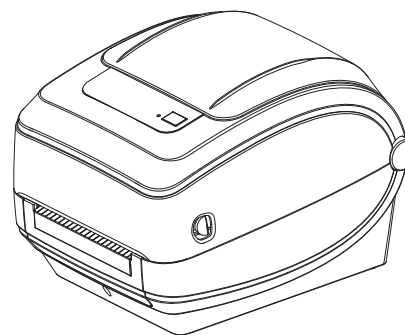
マニュアルとソフトウェア



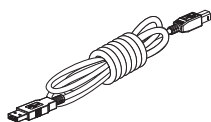
清浄ペン



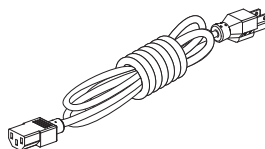
リボンの巻芯



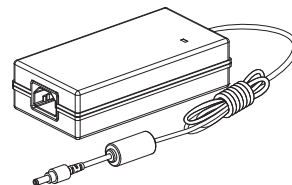
プリンタ



USB ケーブル



電源コード
地方や地域によって異なります



電源供給装置

梱包から取り出してプリンタを点検する

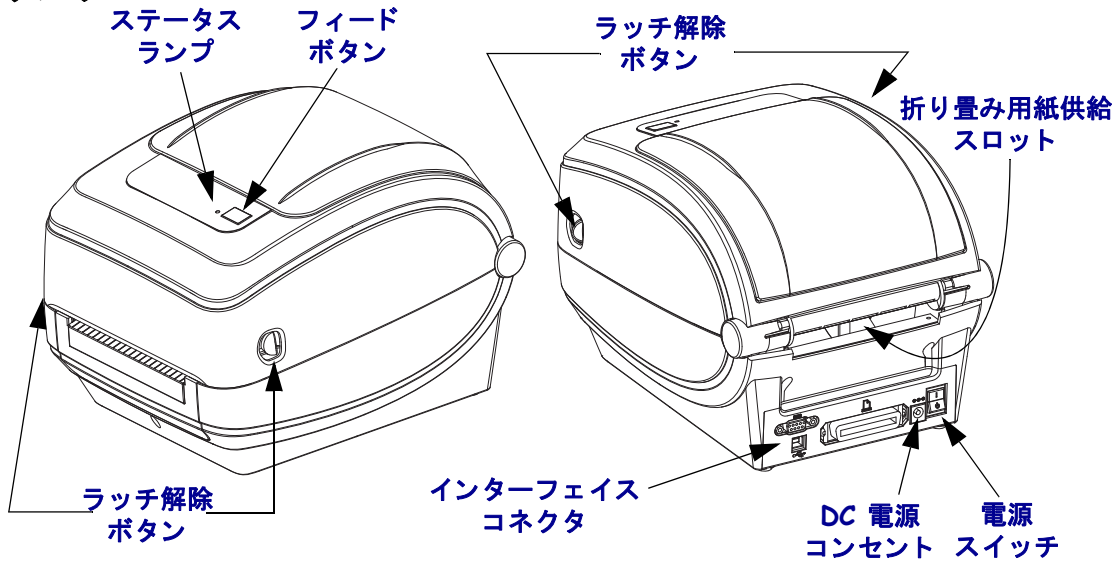
プリンタを受け取ったら、ただちに梱包から取り出し、輸送中の損傷がないかを点検してください。

- 梱包材はすべて保管しておいてください。
- すべての外装表面に損傷がないかを確認します。
- プリンタを開梱し、用紙セット部のコンポーネントに損傷がないか確認します。

点検によって、輸送中に発生した損傷が見つかった場合には、次の手順に従ってください。

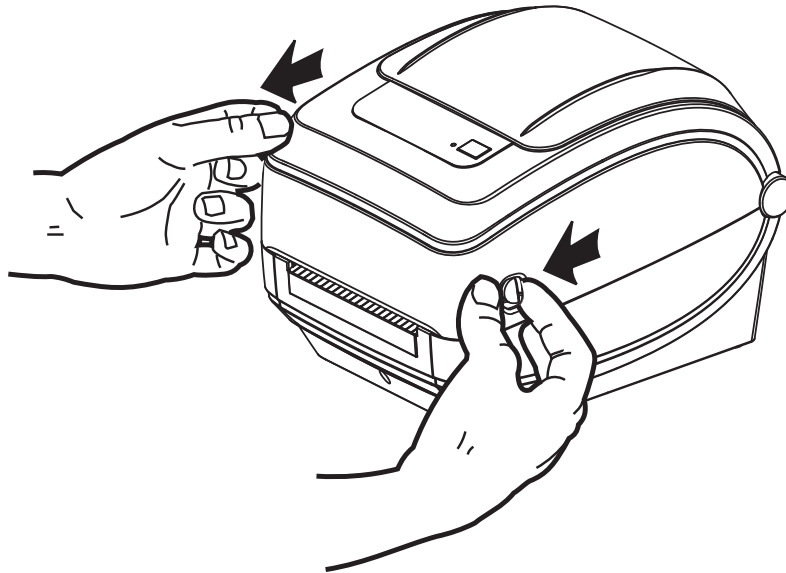
- ただちに運送会社に通知し、損害報告を提出します。Zebra Technologies Corporation はプリンタの輸送中に発生した損害に対しては責任を負いません。また品質保証では、この種の損害の修理は補償されません。
- 運送会社の点検に備えて、梱包材料はすべて保管しておきます。
- 最寄の正規 Zebra® 販売代理店にお知らせください。

プリンタ



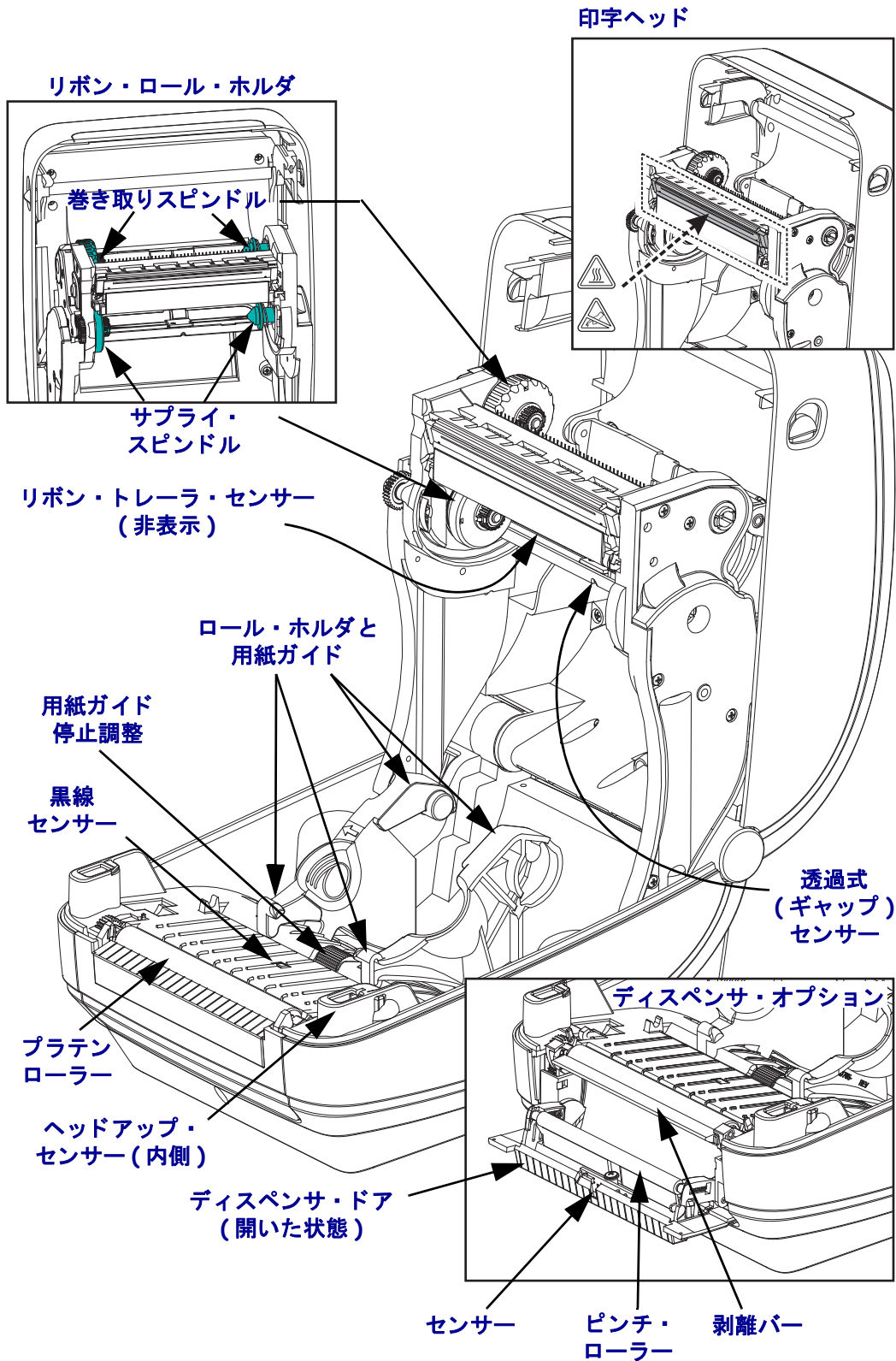
プリンタを開く

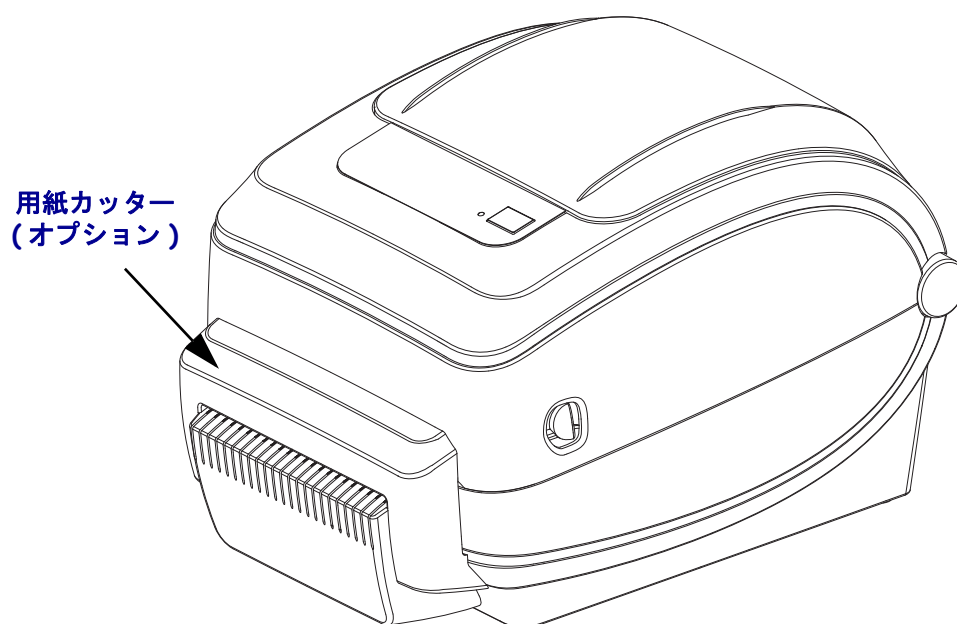
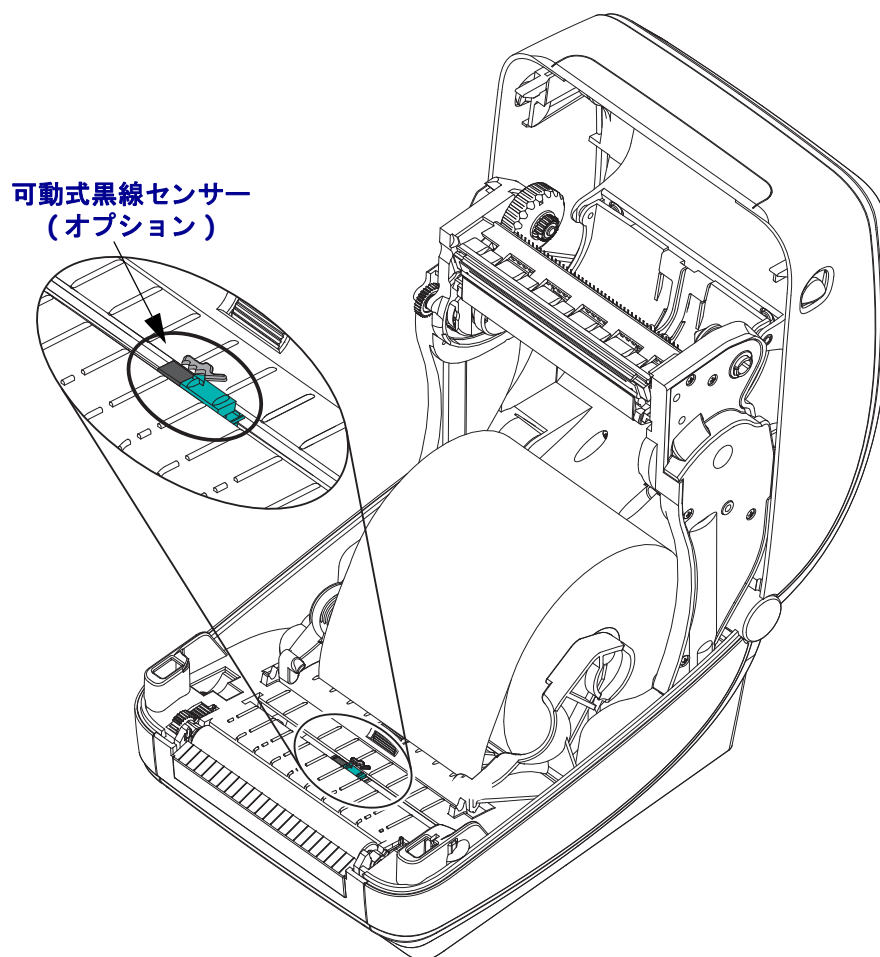
用紙セット部にアクセスするためには、プリンタを開かなければなりません。ラッチ解除レバーを手前に引き、カバーを上げてください。用紙セット部に緩んでいる部品や損傷した部品がないかを点検します。



注意・人体の表面や他の表面で蓄積する静電エネルギーの放電により、この装置で使用される印字ヘッドや電子部品が破損、または破壊されることがあります。トップカバーの下の印字ヘッドや電子部品を取り扱う場合は、静電気安全手順を守る必要があります。

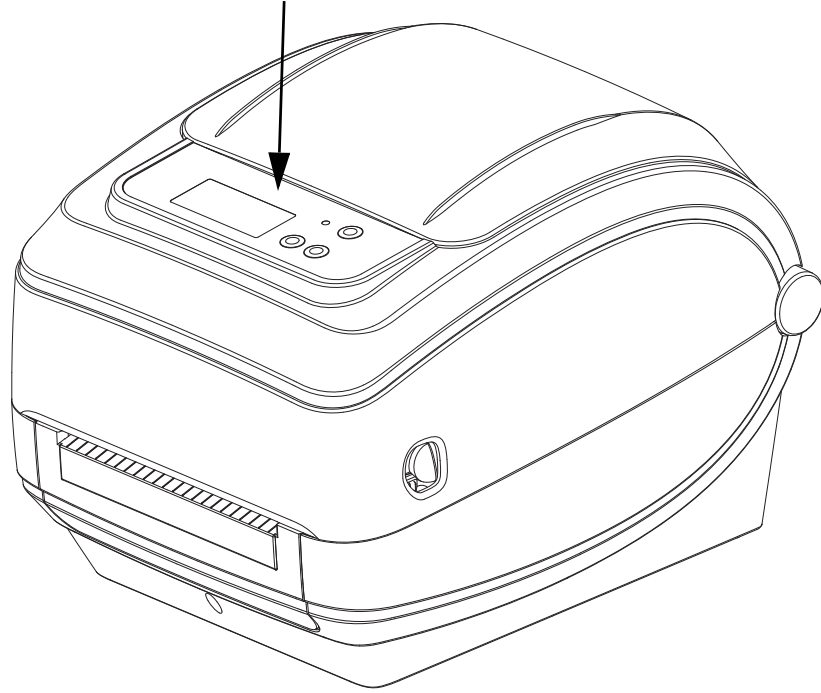
プリンタの機能





8 | はじめに
ボックスの中味は？

ワイヤレス・プリント・ディスプレイおよびコントロール
(Wi-Fi および Bluetooth オプション)



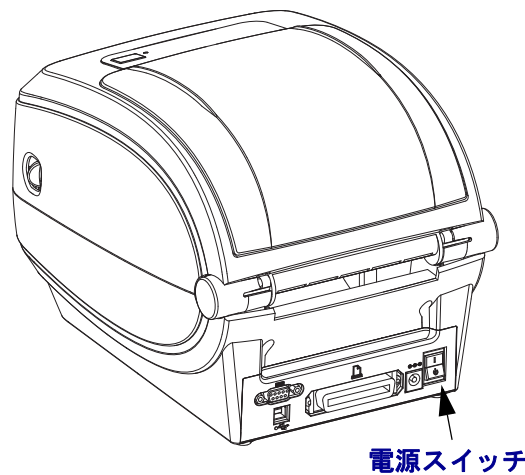
操作方法

電源スイッチ

スイッチの上側を押すとプリンタがオン、下側を押すとオフになります。



注意・通信ケーブルと電力ケーブルを接続するか切断する前に、プリンタの電源をオフにしてください。



電源スイッチ

電源オフ

電源オン



フィード・ボタン

- ・フィード・ボタンを1回押すと、プリンタが空白ラベルを1つフィードします。
- ・フィード・ボタンを押すと、プリンタは「一時停止」状態でなくなります。プリンタは、プログラミング・コマンドまたはエラー状態により「一時停止」になります。「トラブルシューティング」の章の [100 ページ](#)の「ステータス・ランプの見方」を参照してください。
- ・フィード・ボタンは、プリンタの設定とステータス確認のために使用します（「トラブルシューティング」の章の [110 ページ](#)の「フィード・ボタン・モード」を参照）。

スクロール・ボタン (ワイヤレス・プリンタのみ)

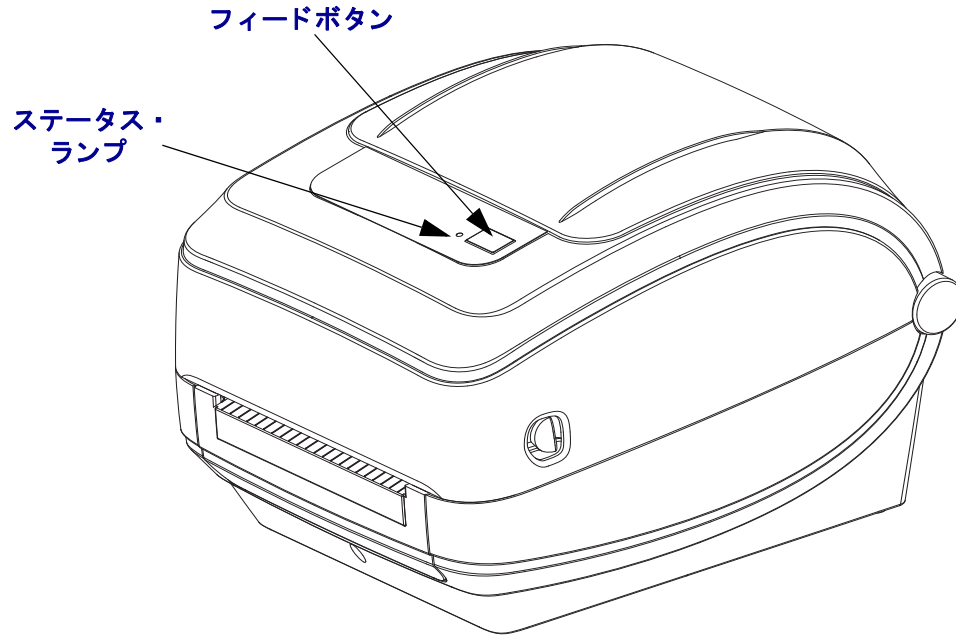
プリンタ・パラメータまたは設定が表示されているメニューから順に、スクロール・ボタンを押します。

選択ボタン (ワイヤレス・プリンタのみ)

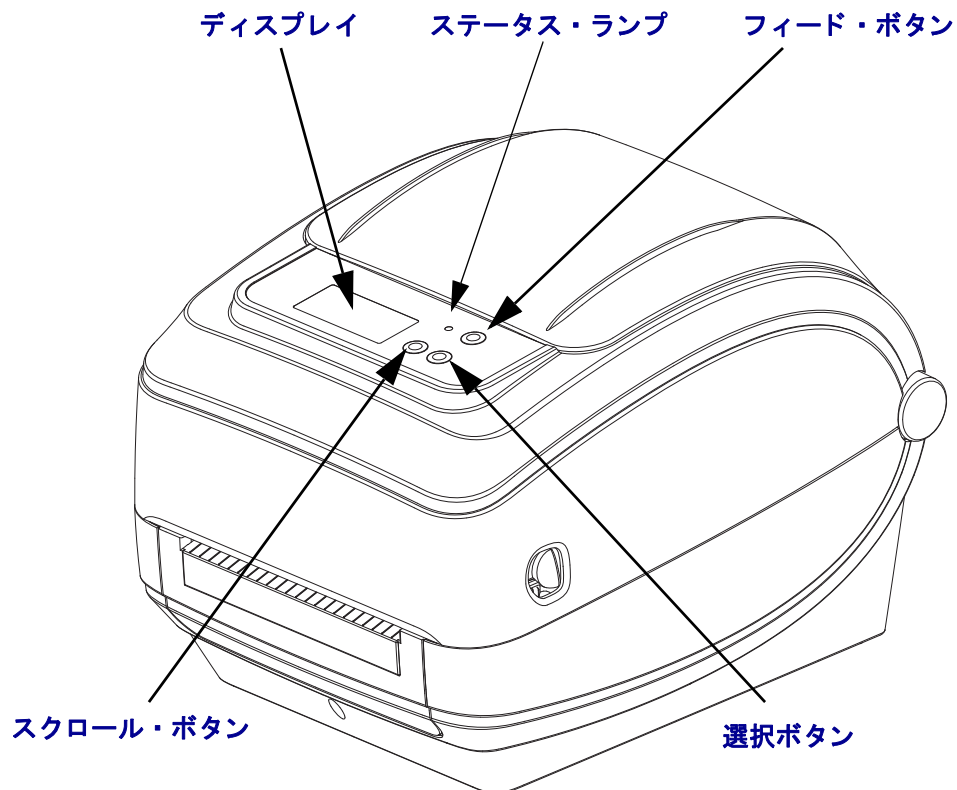
選択ボタンを押して、メニュー・ブランチを選択するか、プリンタ設定を選択します。

ステータス・ランプ

ステータス・ランプはトップカバー上のフィード・ボタンのすぐ横に位置し、プリンタの操作状態を表示します(100ページの「ステータス・ランプの説明」を参照)。

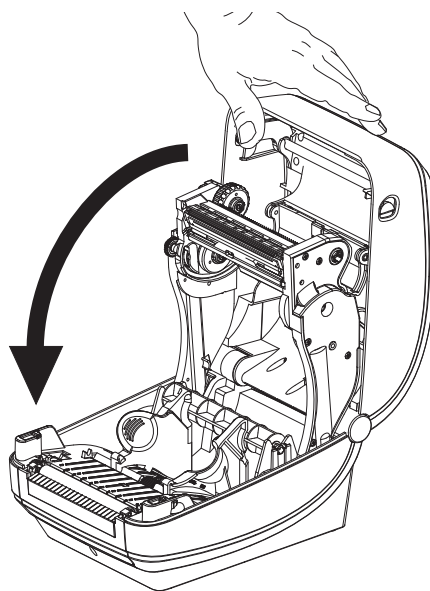


ワイヤレス・プリンタ・ディスプレイおよびコントロール (Wi-Fi および Bluetooth オプション)

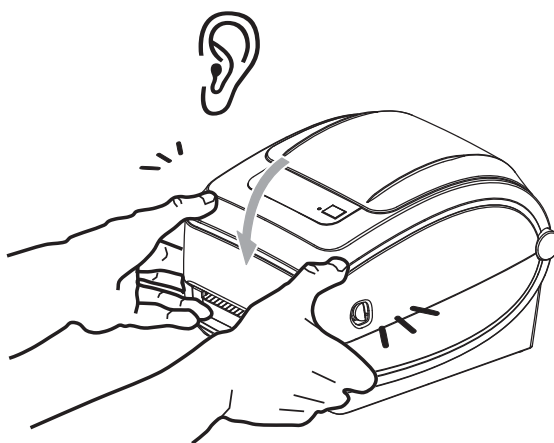


プリンタを閉じる

1. トップカバーを下ろします。



2. カバーがカチッと閉まるまで下に押しします。



12 | はじめに
ボックスの中味は？



メモ • _____



プリンタを使用する前に

このセクションでは、最初にプリンタを設定し、用紙を装着する最も一般的な操作手順について説明します。

目次

電源の取り付け	14
ロール紙の装着	15
熱転写リボンの装着	19
テスト (プリンタ設定)・ラベルの印刷	23
Windows® プリンタ・ドライバのプリインストール	24
コンピュータへのプリンタの接続	26
プリンタ接続後の作業	32

電源の取り付け

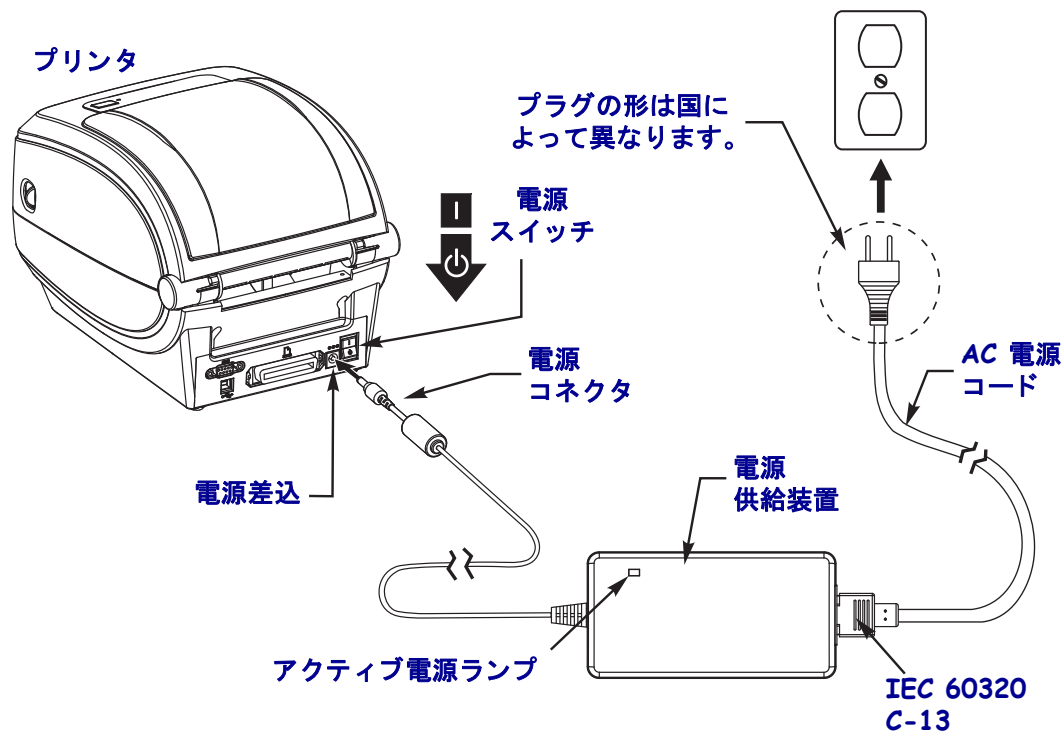


重要・プリンタを設置する際は、電源コードを扱う場合に作業しやすいように設置してください。プリンタに電流が流れないように、電源コードは電源供給装置や AC 電源のソケットから離しておいてください。



注意・濡れる恐れのあるエリアでは、絶対にプリンタと電源供給装置を移動しないでください。重大な身体傷害の原因になります！

1. プリンタの電源スイッチがオフ（下がっている）の位置にあることを確認します。
2. AC 電源コードを電源供給装置に差し込みます。
3. AC 電源コードのもう一方の端を、適切な AC 電源のコンセントに差し込みます。
注記：AC コンセントから電源が入ると、アクティブ電源ランプがオンになります。
4. 電源装置の電源コネクタを、プリンタの電源差し込みに挿入します。



注記・必ず、三極プラグと IEC 60320-C13 コネクタを備えた適切な電源コードを使用してください。こうした電源コードは、使用する国の認証マークが付いているものを必ず使用してください。

ロール紙の装着

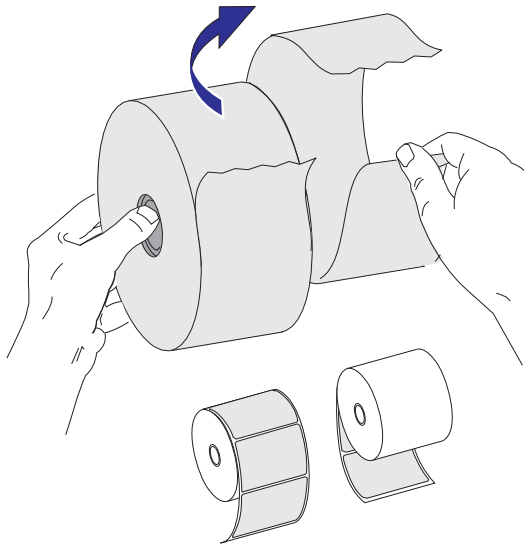
用紙をセットするときは、ロールを用紙ハンガーの上においてください。

印刷方法に応じて正しいメディア（用紙とリボンの有無）を使う必要があります。

用紙の準備

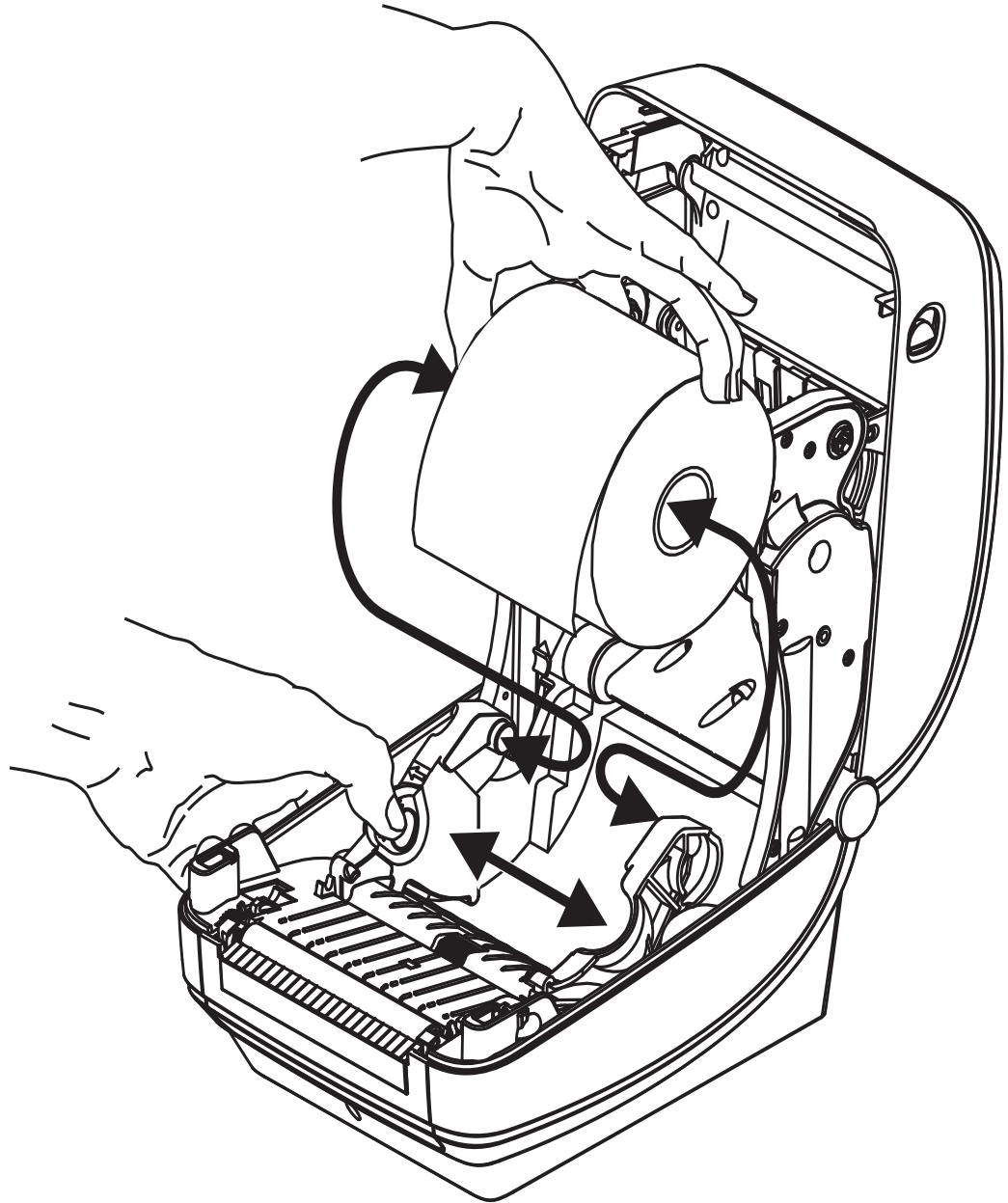
ロール紙が内巻きでも外巻きでも、プリンタへの装着方法は同じです。

- 露出した部分のロール紙を取り除いてください。出荷や操作、または保管中に汚れたりほこりが溜まっていることがあります。露出した部分のロール紙を取り除くことによって、粘着物や汚れた用紙が印字ヘッドとプラテンの間に引き込まれるのを回避できます。

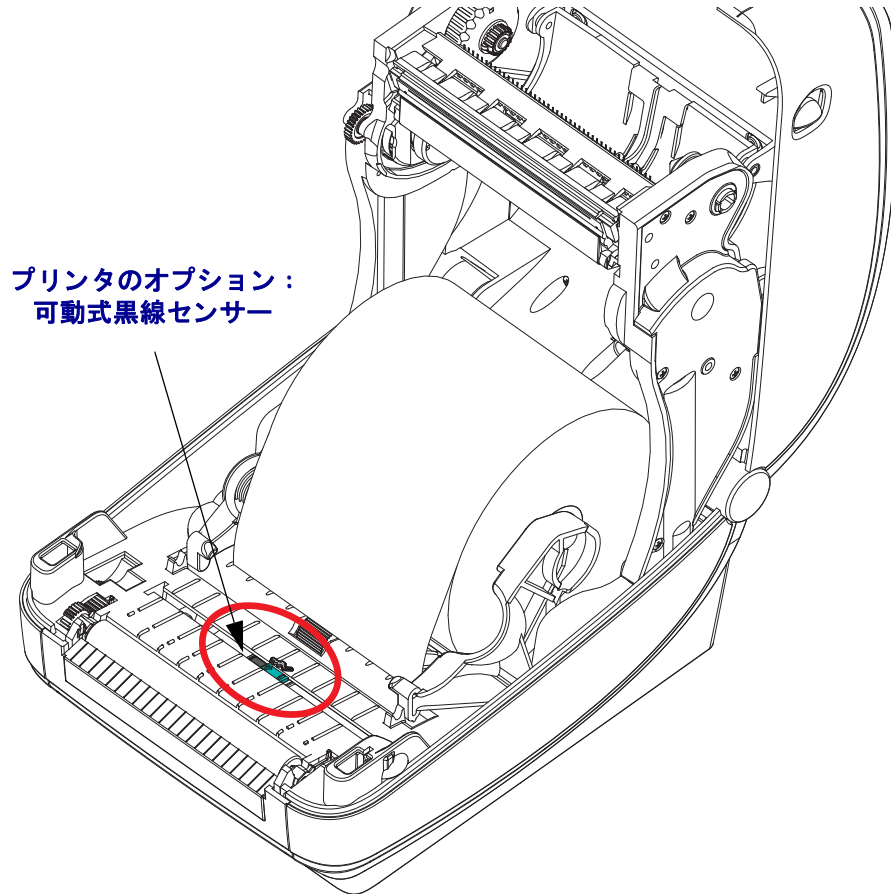


用紙セット部におけるロール紙の装着

1. プリンタを開きます。ラッチ解除レバーをプリンタの前面方向に引くことを忘れないでください。
2. 用紙ロール・ホルダを開きます。空いている方で用紙ガイドを引いて開き、用紙ロールを用紙ホルダに載せて、ガイドから手を離します。ロール紙の印刷面がプラテン（ドライブ）ローラーを通るとき上向きになるように用紙の向きを定めます。

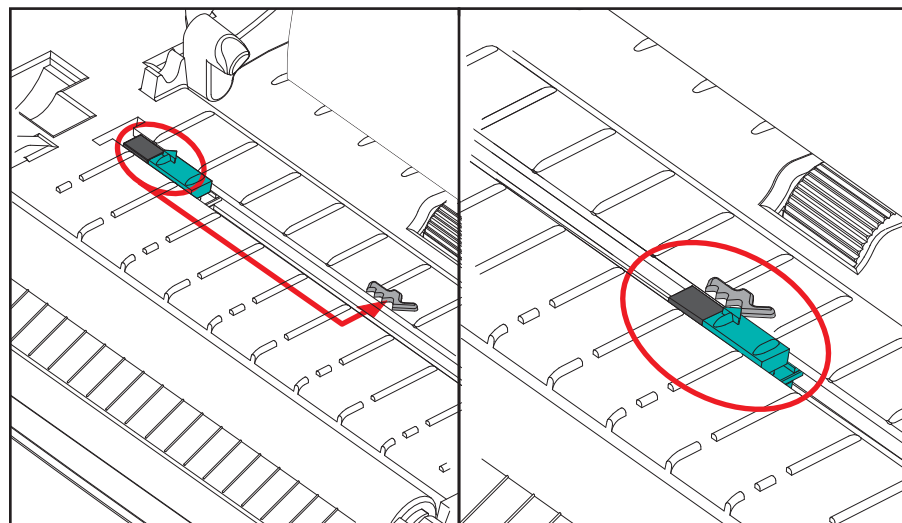


3. プリンタにオプションの可動式黒線センサーが付いている場合は、センサーを中央のデフォルト位置に合わせます。これは用紙検知の標準操作位置です。センサーがデフォルトのラベル透過式（ギャップ）検知領域からずれると、プリンタは黒線、黒マーク、ダイカット、切れ込みマークの入った用紙しか検出できません。このセンサー・オプションの調整に関する詳細については、57 ページの「[可動式黒線センサー・オプション](#)」を参照してください。



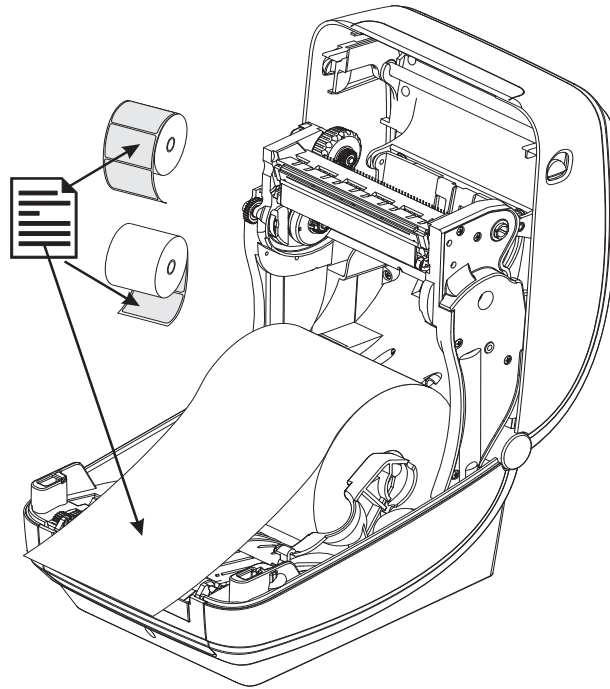
中央以外にセット
 黒線のみ検知

デフォルト - 透過式（ギャップ）の
 検知標準操作位置

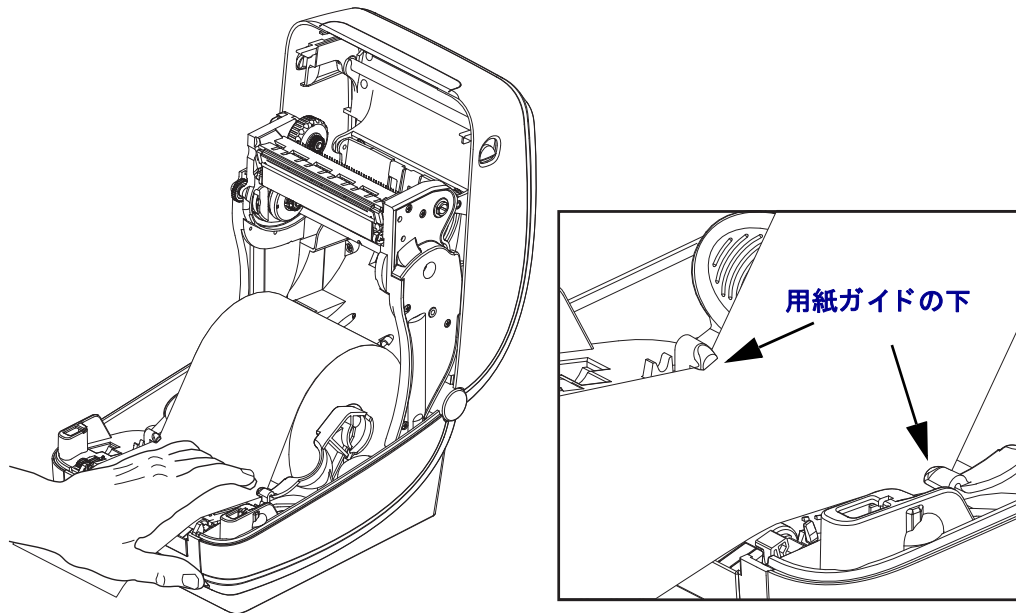


18 | プリンタを使用する前に
ロール紙の装着

4. 用紙を引っ張って、プリンタの前面から出るようにします。ロールが滞りなく回転することを確認します。ロールが用紙セット部の底部にあってはいけません。用紙の印刷面が上を向いていることを確認します。



5. 用紙を押しして両側の用紙ガイドの下に来るようにします。



6. プリンタを閉じます。カバーがカチッと閉まるまで下に押します。

熱転写リボンの装着

熱転写リボンにはさまざまな種類があり、用途に応じて色を変えることもできます。Zebra® 純正の熱転写リボンは、ご使用のプリンタと Zebra ブランドの用紙専用が開発されています。Zebra® プリンタでの使用が認定されていない Zebra 製以外の用紙やリボンを使用すると、プリンタや印字ヘッドに損傷を与えることがあります。

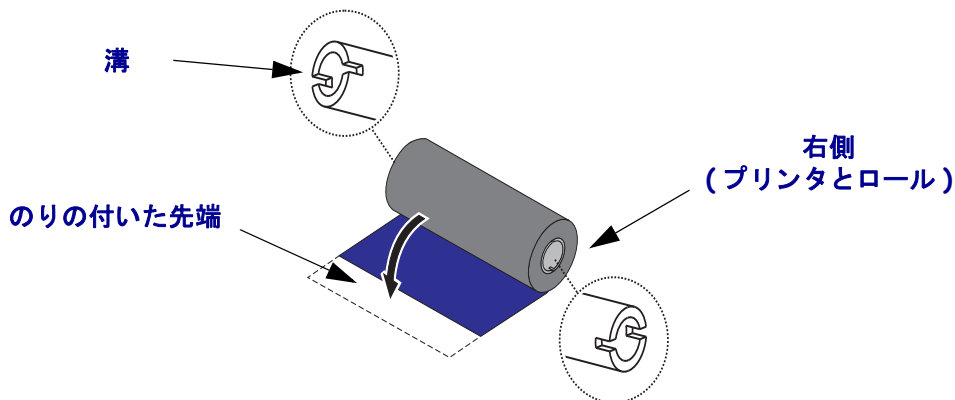
- 最適な印刷結果が得られるよう、用紙とリボンのタイプは、適合するものにしてください。
- 印刷ヘッドの磨耗を防ぐため、用紙よりも幅の広いリボンを必ず使用してください。
- ダイレクトサーマル印刷の場合は、プリンタにリボンを装着しないでください。

お使いのプリンタでは Zebra® Uni-Ribbons™ (ユニバーサル・リボン) を使用する必要があります。Uni-Ribbons には空になると印刷を停止するリボン切れトレーラ (リフレクター) が備わっています。Zebra® Uni-Ribbon™ は旧モデルの Zebra® デスクトップ・プリンタでも使用できます。

Uni-Ribbons はカラー・コード・リーダーで識別されます。

- 青 - Performance Wax (5319)
- シルバー - Premium Wax/Resin (3200)
- ゴールド - 合成紙用 Performance Resin (5095) (最大速度 6 ips) およびコーティング紙 (最大速度 4 ips)
- 赤 - 合成紙用 Premium Resin (5100) (最大速度 4 ips)

次のステップを実行する前に、リボンの包装紙を取り、のりの付いた先端部分をリボンから剥がして取り付ける準備をしてください。



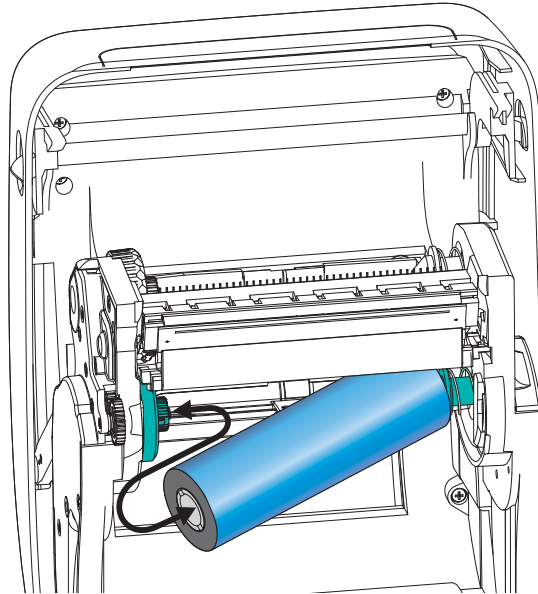
リボンの使用に関する詳細については [42 ページの「リボンの概要」](#) を参照してください。



重要・初期モデルのデスクトップ・プリンタのリボンの巻芯は絶対に使用しないでください。旧式のリボンの巻芯は、リボンの巻芯の片面の切れ込みでのみ識別できます。これらの旧式の巻芯は大きすぎるため、巻き取りスプールが巻き付いてしまう原因になります。

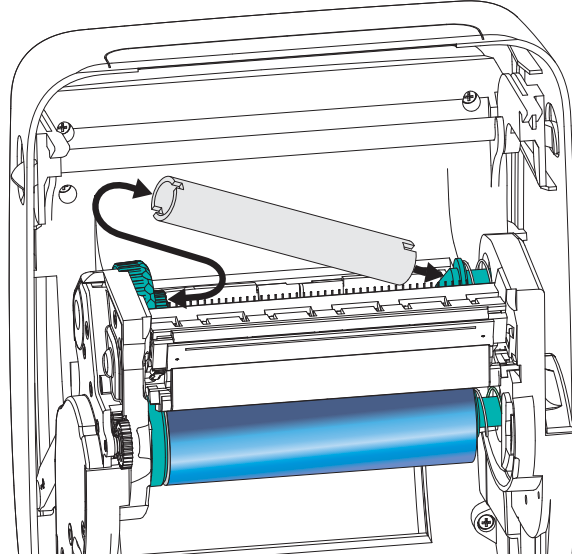
注記・溝に損傷（角が丸まっている、磨り減っている、壊れているなど）があるリボン巻芯は絶対に使用しないでください。巻芯をスピンドルに固定させるために巻芯の溝は角がしっかりしている必要があります。そうでない場合、巻芯がスリップしてリボンにたるみやシワができる、リボン・センサーのリボン検知機能が鈍くなるなどの障害が断続的に起こる原因になります。

1. プリンタが開いている状態で、新しいリボン・ロールをプリンタの下側のリボン・サプライ・スピンドルにセットします。



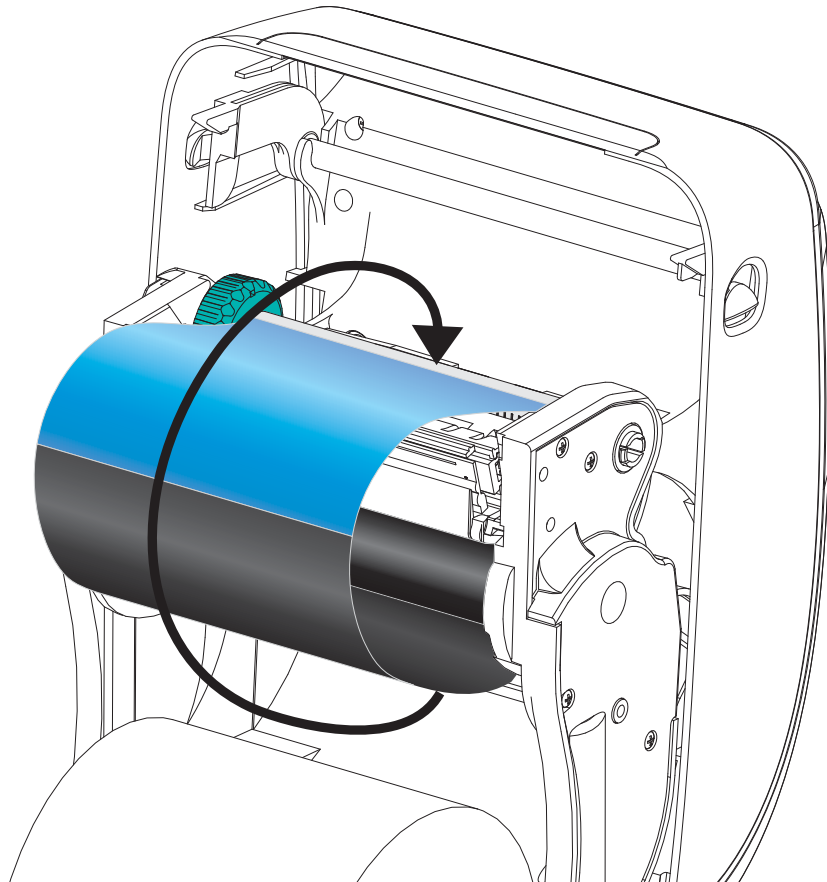
溝がサプライ・ハブの左側と合わさり固定されるまで、ロールを回転させます。

2. プリンタの巻き取りスピンドルに空になった巻芯を取り付けます。溝が巻き取りハブの左側に合わせ固定されるまで、巻芯を回転させます。

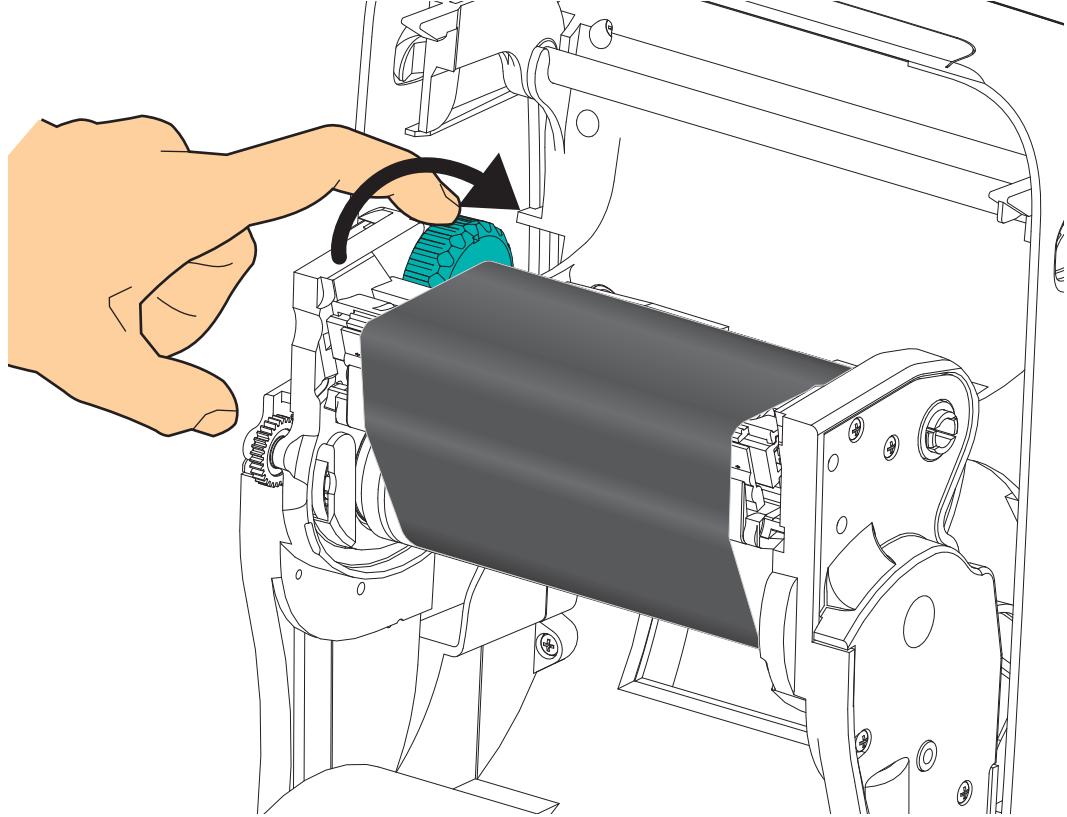


最初のリボン巻き取り芯は、製品ボックスの中にあります。次からは、空になった芯巻を使って次のリボンを巻き取ってください。

3. 熱転写リボンのリーダーをロールから引き出し、リーダーののりの付いた先端を、サプライ・スピンドルの空の巻芯に貼り付けます。リボンがリボン芯の中心にくるようにします。



4. サプライ・スピンドルの左にあるつまみをプリンタ後部に向けて回し、リボンが印字ヘッドの上でしっかりと引っ張られている状態にします。



5. 用紙がセットされ印刷可能であることを確認してから、プリンタ・カバーを閉じます。
6. フィード・ボタンを押し、用紙が少なくとも 10 cm (4 インチ) 以上送り込まれるようにして、リボンにたるみやしわがなく、リボンがスピンドル上で正しい位置にくるようにします。
7. ダイレクト・サーマル印刷から熱転写印刷に印刷モード設定を変更し、プリンタの温度プロフィールを熱転写用紙用に設定します。これはプリンタ・ドライバ、アプリケーション・ソフトウェア、またはプリンタ・プログラミング・コマンドで行えます。
- ZPL プログラミングでプリンタ操作をコントロールする場合は、用紙タイプ (^MT) ZPL II コマンドを参照してください (『ZPL プログラミング・ガイド』の指示に従ってください)。
 - EPL ページモードでプリンタ操作をコントロールする場合は、オプション (O) EPL コマンドを参照してください (『EPL Page Mode Programmer's Guide』の指示に従ってください)。
8. ダイレクト・サーマル印刷から熱転写印刷へのモード変更を確認するには、[23 ページの「テスト \(プリンタ設定\)・ラベルの印刷」](#)を使用して設定ラベルを印刷します。プリンタ設定ステータス・ラベルで、「インジ_ホウシキ」が「ネットンジャ」になっているはずです。

これでプリンタは印刷の準備ができました。

テスト (プリンタ設定)・ラベルの印刷

プリンタをコンピュータに接続する前に、プリンタが正常に作動していることを確かめます。

これは設定ステータス・ラベルを印刷することで確認できます。

1. 用紙が正常にセットされて、プリンタのトップカバーが閉じていることを確かめてください。プリンタがオンになっていない場合は、オンにしてください。プリンタのステータス・ランプが緑に点滅している場合 (一時停止モード) は、フィード・ボタンを1回押して、プリンタをレディ (印刷可能) モードに設定します。プリンタのステータス・ランプが緑色の持続点灯 (レディ) 状態にならない場合は、99ページの「トラブルシューティング」を参照してください。
2. フィード・ボタンを2~3回押して、プリンタでインストールされている用紙のキャリブレーションを行います。このプロセスの間、プリンタは何枚かのラベルをフィードすることがあります。
3. ステータス・ランプが緑色に持続点灯している場合は、ステータス・ランプが1回点滅するまでフィード・ボタンを押したままにしてください。
4. フィード・ボタンを離してください。設定ラベルが印刷されます。

このラベルを印刷できない場合は、13ページの「プリンタを使用する前に」を参照してください。

PRINTER CONFIGURATION	
Zebra Technologies ZTC GX420t	
15.0.....	DARKNESS
6 IPS.....	PRINT SPEED
+000.....	TEAR OFF
TEAR OFF.....	PRINT MODE
GAP/NOTCH.....	MEDIA TYPE
WEB.....	SENSOR TYPE
MANUAL.....	SENSOR SELECT
THERMAL-TRANS.....	PRINT METHOD
800.....	PRINT WIDTH
1234.....	LABEL LENGTH
39.0IN 989MM.....	MAXIMUM LENGTH
CONNECTED.....	USB COMM.
BIDIRECTIONAL.....	PARALLEL COMM.
9600.....	BAUD
8 BITS.....	DATA BITS
NONE.....	PARITY
XON/XOFF.....	HOST HANDSHAKE
NONE.....	PROTOCOL
<~> 7EH.....	CONTROL CHAR
<^> 5EH.....	COMMAND CHAR
<,> 2CH.....	DELIM. CHAR
ZPL II.....	ZPL MODE
CALIBRATION.....	MEDIA POWER UP
CALIBRATION.....	HEAD CLOSE
DEFAULT.....	BACKFEED
+000.....	LABEL TOP
+0000.....	LEFT POSITION
NO.....	HEXDUMP
034.....	WEB S.
096.....	MEDIA S.
011.....	WEB GAIN
050.....	MARK S.
013.....	MARK GAIN
095.....	MARK MED S.
015.....	MARK MEDIA GAIN
095.....	CONT MEDIA S.
007.....	CONT MEDIA GAIN
075.....	RIBBON OUT
040.....	RIBBON GAIN
000.....	TAKE LABEL
CWF.....	MODES ENABLED
.....	MODES DISABLED
832 8/11M FULL.....	RESOLUTION
V56.15.1ZP32 <~>.....	FIRMWARE
V06.00.0207.....	HARDWARE ID
CUSTOMIZED.....	CONFIGURATION
2944k.....	R: RAM
1536k.....	E: ONBOARD FLASH
NONE.....	FORMAT CONVERT
77,291 IN.....	LAST CLEANED
77,291 IN.....	HEAD USAGE
77,291 IN.....	TOTAL USAGE
77,291 IN.....	RESET CNTR1
77,291 IN.....	RESET CNTR2
31A07330008.....	SERIAL NUMBER
2007-09-20 22:48:18	TIME STAMP

FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED

Windows® プリンタ・ドライバのプリインストール

Zebra は Windows ベースの PC システムにプリンタをインストールして使用方法を、変更中です。Windows XP® SP2 のリリース以降、Windows オペレーティング・システムの使い勝手と簡単さの利点を生かすために、少なくとも ZebraDesigner™ Windows® ドライバをプリインストールすることをお勧めします。

Zebra では Zebra セットアップ・ユーティリティ (ZSU) を用意し、Zebra® プリンタ・ドライバー一式、ユーティリティ、通信 / インストール・ツール (大半の Windows PC オペレーティング・システムでの使用に対応) を提供しています。Zebra セットアップ・ユーティリティと Zebra Windows プリンタ・ドライバの最新バージョンは、お手元の CD および Zebra Web サイト (www.zebra.com) で入手できます。

ZebraDesigner™ ドライバおよび Zebra セットアップ・ユーティリティ (ドライバを含む): Windows 7®, Windows Vista®, Windows XP®, Windows® 2000®, Windows Server® 2008、および Windows Server® 2003 の各オペレーティングシステムをサポート。ドライバは 32 ビットおよび 64 ビット Windows オペレーティング・システムをサポートしており、Microsoft 認定です。Zebra セットアップ・ユーティリティと ZebraDesigner ドライバは、次の G シリーズ・プリンタ通信インターフェイスをサポートしています :USB、パラレル、シリアル、有線およびワイヤレス・イーサネット、Bluetooth (Bluetooth 仮想プリンタ・ポートを使用)。

Zebra セットアップ・ユーティリティのインストールは、(Zebra ドライバをサポートする Windows オペレーティング・システムを実行する) PC に接続しているプリンタに電源を投入する前に行ってください。 Zebra セットアップ・ユーティリティにプリンタの電源の投入を求めるメッセージが表示されます。続けて指示に従い、プリンタのインストールを完了します。

プラグ・アンド・プレイ (PnP) プリンタ検出および Windows® オペレーティング・システム

最近の Windows オペレーティング・システムは、USB インターフェイスを介して接続されると、自動的にプリンタを検出します。ハードウェア設定および Windows のバージョンによっては、プリンタが USB、パラレルまたはシリアル・ポート・インターフェイスに接続されている場合、プラグ・アンド・プレイ (PnP) 検出されることもあります。現時点ではプリンタ・ドライバは、シリアル・ポート PnP インストールをサポートしていません。パラレル・ポート用のプリンタの PC インターフェイス設定が PnP の操作用の双方向通信をサポートし、備えている必要があります。オペレーティング・システムは、プリンタを初めてコンピュータに接続すると、自動的に「新しいハードウェアの追加」ウィザードを起動します。Zebra セットアップ・ユーティリティとともにドライバ・スイートを事前ロード済みの場合は、プリンタ・ドライバが自動的にインストールされます。Windows プリンタ・ディレクトリに移動して右クリックし、「プロパティ」を選択します。「テスト・ページの印刷」ボタンをクリックし、インストールが正常に行われたことを確認します。

USB インターフェイスに再接続された場合、または PC 側でオペレーティング・システムの再起動を終えた後でプリンタの電源がオンにされた場合は、Windows オペレーティング・システムは、以前にインストールされたプリンタを検出して再リンクします。新規デバイス検出の警告を無視して、タスク・バーのプロンプトを閉じます。オペレーティング・システムがプリンタとドライバ・ソフトウェアの照合を終えるまで、数秒間待ちます。警告が消え、これでプリンタは印刷開始可能になります。

ユニバーサル・シリアル・バス (USB) デバイス通信

USB インターフェイスを使用する場合、プリンタは端末装置 (ホストでもハブでもない) になります。このインターフェイスの詳細については USB 仕様を参照してください。

注記・スキャナ、スケール、その他のデータ入力 (端末) デバイスは、プリンタにデータを送信するためにシリアル・ポート (USB ポートではない) を使用する必要があります。

シリアル・ポートと Windows® オペレーティング・システム

シリアル・ポート通信に対する Windows オペレーティング・システムのデフォルト設定は、プリンタのデフォルト設定とほとんど合致していますが、データ・フロー・コントロール設定だけが異なります。Windows デフォルト・データ・フロー・コントロール設定は **NONE (なし)** です。G シリーズ・プリンタではデータ・フロー・コントロールが **Hardware (ハードウェア)** に設定されている必要があります。



注記・現在の時点では G-Series™ プリンタは、Windows® シリアル・ポート・プラグ・アンド・プレイ (PnP) デバイス検出機能をサポートしていません。

イーサネット

プリンタ・オプションには、プリンタのネットワーク (LAN または WAN) への接続を支援し、有線および無線 (WiFi) のプリンタを設定するためのさまざまな方法とユーティリティがあります。Zebra セットアップ・ユーティリティ・セットアップ・ウィザードを使用すると、プリンタの IP アドレスを使用して Windows ベースのシステムで共有ネットワーク上のプリンタへの接続を確立できます。プリンタには内部 Web ページが含まれているので、プリンタとネットワーク設定に容易にアクセスできます。Web ページには、使用する Web ブラウザに関わらず、プリンタの IP アドレスを介してアクセスできます。ZebraNet™ Bridge ソフトウェアの無料版を使用すると、グローバル・ネットワークのどこからでも Zebra® 自動プリンタ検出によって、1 台の PC の画面を使用してお使いの Zebra® プリンタを最大 3 台まで配備、管理、監視できます。有料の ZebraNet™ Bridge Enterprise を使用すると、もっと多くの Zebra® プリンタを管理できます。

コンピュータへのプリンタの接続

Zebra® G-Series™ プリンタは多様なインターフェイス・オプションと設定をサポートしています。これには次のものが含まれます。USB (ユニバーサル・シリアル・バス) インターフェイス、RS232 シリアル、パラレル (IEEE 1284.4) および 10/100 イーサネット。

- USB、シリアル、およびパラレル
- オプション :USB、シリアル、イーサネット (有線)
- オプション :LCD ディスプレイのある USB、シリアル、イーサネット (ワイヤレス WiFi)
- オプション :LCD ディスプレイのある USB、シリアル、Bluetooth

Zebra セットアップ・ユーティリティは、これらのインターフェイスのインストールに役立つよう設計されています。これらの物理的な各プリンタ通信インターフェイスのケーブル配線や固有のパラメータについては、次のページに説明があり、電源投入前および電源投入直後に設定内容の選択を行う際に役立ちます。**Zebra セットアップ・ユーティリティ**設定ウィザードは、適切な時期にプリンタの電源を入れるようユーザーに指示して、プリンタのインストールを完了する支援をします。

ワイヤレス通信インターフェイスへの接続：

- Wi-Fi (イーサネット) の場合は、『ZebraNet® 10/100 内部プリント・サーバ・マニュアル』を参照してください。
- Bluetooth の場合は、70 ページの「*Bluetooth オプション*」を参照してください。



注意・インタフェイス・ケーブルを取り付けるときは、プリンタの電源スイッチをオフにしてください。通信ケーブルの接続または切断を行うときは、その前に電源コードが電源供給装置とプリンタ後部の電源差込に挿入されていなければなりません。

インターフェイスケーブルの必要要件

データ・ケーブルは、完全シールド構造になっていて、金属または金属化されたコネクタ・シェルが付いていなければなりません。シールドされたケーブルおよびコネクタには、電気ノイズの輻射および受信を防止することが要求されます。

ケーブルにおける電気ノイズの影響を最小にするには：

- ケーブルはできるだけ短くすること (1.83m (6 フィート) を推奨)。
- データ・ケーブルと電源コードを束ねる際、きつく束ねないこと
- データ・ケーブルを電源ワイヤ導線に結び付けないこと。

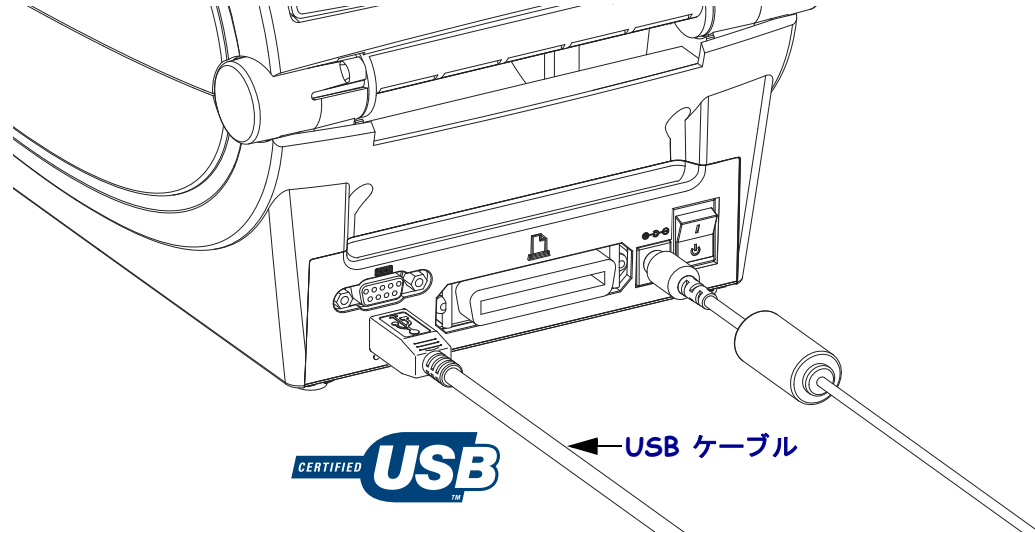


重要・このプリンタは、完全にシールドされたデータ・ケーブルを使用すると、FCC の「規則と規制」パート 15 のクラス B 装置に準拠しています。シールドされていないケーブルを使用すると、Class B の限度を超える不要輻射ノイズが放射されるおそれがあります。

USB インターフェイス必要要件

USB (ユニバーサル・シリアル・バス) (バージョン 2.0 準拠) は、既存の PC ハードウェアと互換性のある高速インターフェイスを提供します。USB の「プラグアンドプレイ」設計により、インストールは簡単に行えます。複数のプリンタが、単一の USB ポート / ハブを共有することができます。

USB ケーブル (プリンタに付属ではないもの) を使用するとき、ケーブルまたはケーブル・パッケージに USB 2.0 への準拠を保証する「認定 USB™」のマーク (下図参照) が付いていることを確認してください。



シリアル通信

プリンタは、共通シリアル・ポート・ケーブルと DTE および DCE 通信用シグナル接続設定に一致するシリアル・ポートを自動的に検出して切り替えます。使用ケーブルは、一方の端に 9 本ピン「D」タイプ (DB-9P) オス・コネクタを装備している必要があります。このコネクタをプリンタ後部のメス (DB-9S) ・シリアル・ポートに差し込みます。信号インターフェイス・ケーブルのもう一つの端は、ホスト・コンピュータのシリアル・ポートに接続します。これによって、Zebra および他のプリンタ・モデルの 2 種類の共通ケーブルと完全互換品を使用できます。Zebra® プリンタは、ヌル・モデム (クロス・オーバ) ・ケーブルを使用します。EPL プログラミングを実行している Zebra® プリンタ (DCE デバイス) の初期モデルは、ストレート・スルー信号ケーブル (クロス・オーバなし) を使用していました。ピン配列の詳細については、付録 A を参照してください。

プリンタとホスト (通常はコンピュータ) の間のシリアル・ポート通信の設定は、信頼できる通信を可能にするものでなければなりません。ビット / 秒 (ボー・レート) とフロー・コントロールは、変更される最も一般的な設定です。ホスト (通常は Windows PC) はデータ・フロー・コントロールをプリンタのデフォルトの通信方法 : ハードウェアに適合するよう変更する必要があります。ハードウェアはレガシー・プリンタ向けのフロー制御設定 **DTR/Xon/Xoff** を特徴としています。このハードウェア (DTR) とソフトウェア (Xon/Xoff) を組み合わせたモードは、非 Zebra アプリケーション・ソフトウェアと使用しているシリアル・ケーブル・バリエーションに応じて、変更しなければならない場合があります。

プリンタとホスト・コンピュータの間のシリアル通信は、以下によって設定できます。

- 自動ボー同期機能
- ZPL プログラミング **^SC** コマンド
- EPL プログラミング **Y** コマンド
- デフォルト・プリンタ設定によるプリンタの再設定

自動ボー

自動ボー同期機能により、プリンタはホスト・コンピュータの通信パラメータと自動的に同期することができます。自動同期するには :

1. 緑色のステータス LED が 1 回、2 回、そして 3 回点滅するまでフィード・ボタンを押したままにしてください。
2. ステータス LED が点滅している間に、**^XA^XZ** コマンド・シーケンスをプリンタに送信します。
3. プリンタとホストが同期化されると、LED が緑色の持続点灯に変わります。(自動ボー同期中は、ラベルが印刷されません)。

ZPL ^SC コマンド

通信設定 (**^SC**) コマンドを使って、プリンタの通信設定を変更します。

1. プリンタと同じ通信設定でホスト・コンピュータを設定したまま、希望の設定にプリンタを変更する **^SC** コマンドを送ります。
2. 新しいプリンタの設定と一致するように、ホスト・コンピュータの設定を変更します。

このコマンドの詳細については、『ZPL プログラミング・ガイド』を参照してください。

EPL Y コマンド

シリアル・ポート設定 (Y) コマンドを使って、プリンタの通信設定を変更します。

1. プリンタと同じ通信設定でホスト・コンピュータを設定したまま、希望の設定にプリンタを変更する **Y** コマンドを送ります。注記: Y コマンドはデータ・フロー・コントロールの設定をサポートしておらず、**Xon/Xoff** 設定を使用します。
2. 新しいプリンタの設定と一致するように、ホスト・コンピュータの設定を変更します。

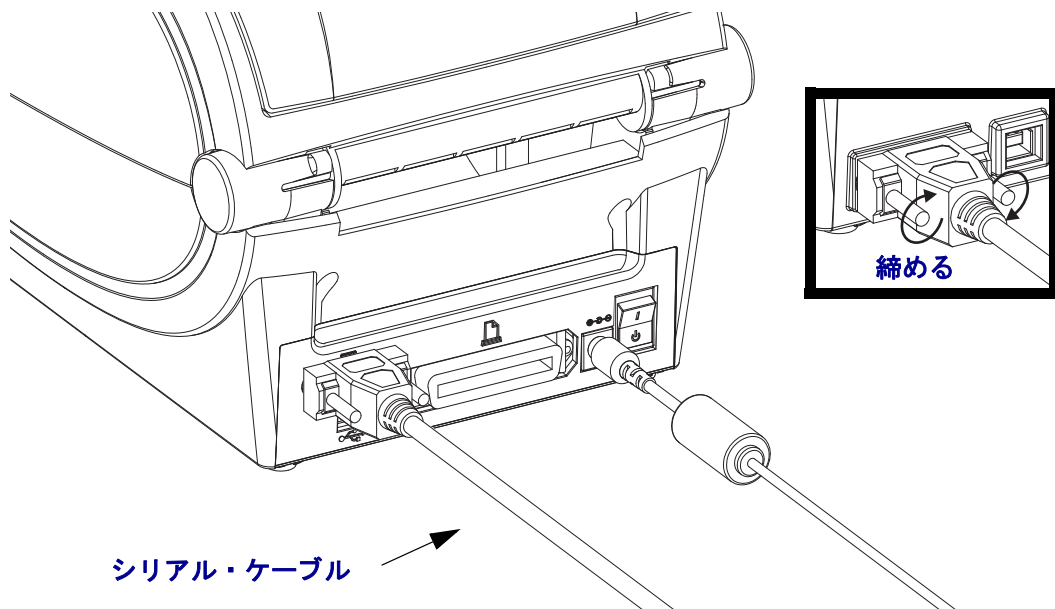
このコマンドの詳細については、『EPL ページモード・プログラミング・ガイド』を参照してください。

デフォルト・シリアル・ポート・パラメータの再設定

プリンタの通信パラメータを工場出荷時のデフォルトにリセットするには以下を実行します(シリアル通信設定は、**9600** ボー、**8** ビット・ワード長、**パリティなし**、**1** ストップ・ビット、**DTR/XON/XOFF** データ・フロー・コントロールです)。

1. 緑色のステータス LED が 1 回、2 回、そして 3 回点滅するまで、フィード・ボタンを押したままにします (3 回目ですぐにフィード・ボタンを離します)。
2. ステータス LED が琥珀色と緑色に高速で点滅している間に、フィード・ボタンを押します。プリンタとホスト・コンピュータの間のシリアル通信は、ZPL **^SC** コマンドまたは EPL **Y** コマンドで設定することができます。

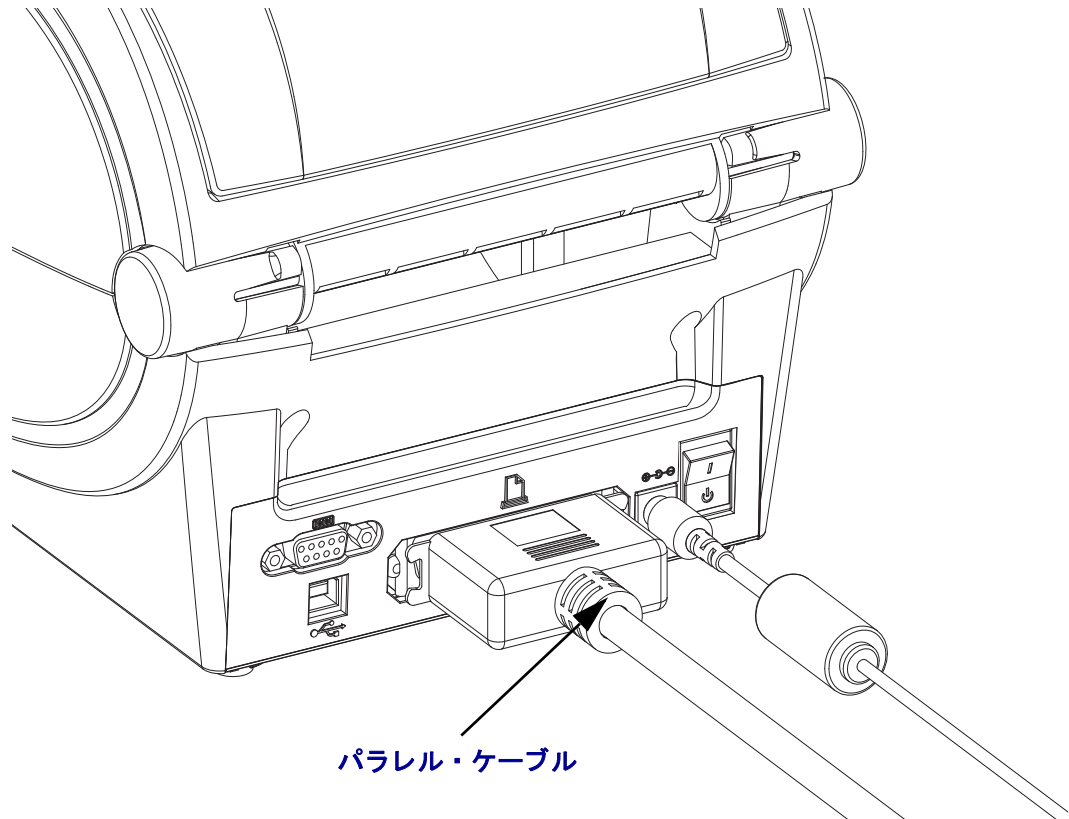
注記・EPL プログラミング言語を実行している Zebra® プリンタの初期モデルは、デフォルトのシリアル・ポート設定が、**9600** ボー、**パリティなし**、**8** データ・ビット、**1** ストップ・ビット、および **HARDWARE (ハードウェア)** と **SOFTWARE (ソフトウェア)** の結合したデータ・コントロール (実質的には DTR/Xon/Xoff) という値になっています。ほとんどのアプリケーションでは、Windows オペレーティング・システム・フロー・コントロール設定はハードウェアです。



シリアル・ケーブル

パラレル・ポート

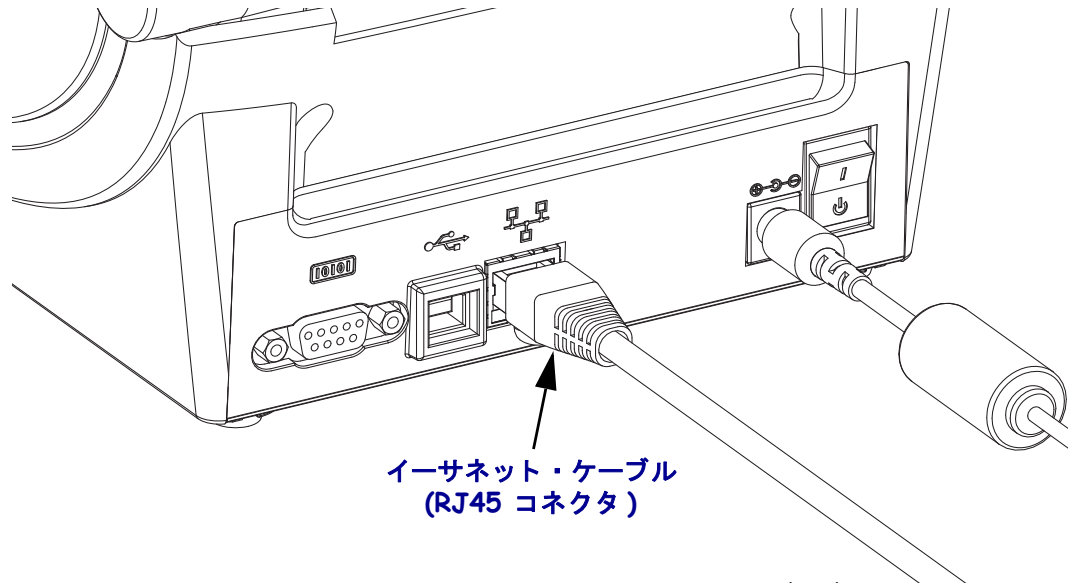
ケーブルは、片方の端に 25 ピン「D」タイプ (DB-25P) オス・コネクタ、もう一方の端に Centronics (IEEE 1284 A-B パラレル・インターフェイス仕様) を必要とします。G シリーズ・プリンタの初期モデルはもともと、両方の端で (IEEE 1284 A-A パラレル・インターフェイス仕様) 25 ピン「D」タイプ (DB-25P) オス・コネクタ付きパラレル・ケーブルをサポートしていました。



イーサネット

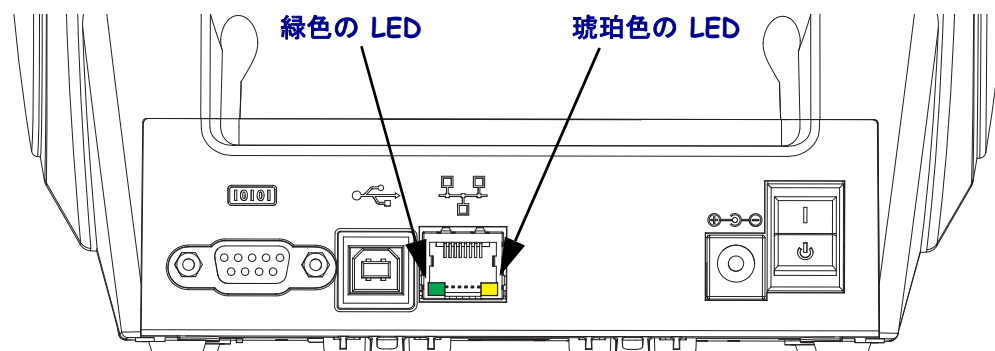
プリンタは、CAT-5 以上の UTP RJ45 イーサネット・ケーブルを必要とします。

互換性のあるイーサネット・ベースのネットワーク上で実行するようプリンタを設定するための詳細については、『ZebraNet® 10/100 内部プリント・サーバ・マニュアル』を参照してください。プリンタは、LAN (ローカル・エリア・ネットワーク) または WAN (ワイド・エリア・ネットワーク) 上で実行するよう設定する必要があります。プリンタに搭載されたプリント・サーバは、プリンタの Web ページからアクセスできます。



イーサネット・ステータス/アクティビティ・インジケータ

LED ステータス	説明
どちらもオフ	イーサネット・リンクの検出はなし
緑色	100 Mbps リンクを検出
緑色で、琥珀色が点滅	100 Mbps リンクとイーサネット・アクティビティを検出
琥珀色	10 Mbps リンクを検出
琥珀色で緑色が点滅	10 Mbps リンクとイーサネット・アクティビティを検出



プリンタ接続後の作業

プリンタへの基本的な接続ができれば、プリンタの通信をテストしてから、その他のプリンタ関連のアプリケーション、ドライバ、ユーティリティをインストールすることをお勧めします。

印刷による通信テスト

印刷システムの動作の確認は、比較的簡単な手順です。Windows オペレーティング・システムの場合、Zebra セットアップ・ユーティリティまたは Windows 「プリンタと FAX」 コントロール・パネルを使用して、テスト・ラベルにアクセスし印刷します。Windows 以外のオペレーティング・システムの場合は、単一のコマンド (~WC) で ASCII テキスト・ファイル进行处理して、設定ステータス・ラベルを印刷します。

Zebra セットアップ・ユーティリティを使用したテスト印刷：

1. Zebra セットアップ・ユーティリティを開きます。
2. 新しくインストールしたプリンタのアイコンをクリックし、ウィンドウ下部にあるプリンタと有効なプリンタ設定ボタンを選択します。
3. プリンタ・ツールを開く (Open Printer Tools) ボタンをクリックします。
4. 印刷 (Print) タブ・ウィンドウで、(設定ラベルの印刷 (Print configuration label) 列をクリックして、送信 (Send) ボタンをクリックします。プリンタが設定ステータス・ラベルを印刷します。

Windows 「プリンタと FAX」 メニューを使用したテスト印刷：

1. Windows 「スタート」メニュー・ボタンをクリックして「プリンタと FAX」メニューにアクセスするか、「コントロール・パネル」から「プリンタと FAX」メニューにアクセスします。メニューを開きます。
2. 新しくインストールしたプリンタのアイコンを選択し、プリンタを選択してマウスを右クリックし、プリンタの「プロパティ」メニューにアクセスします。
3. プリンタの「全般」タブ・ウィンドウから、「テスト・ページの印刷」ボタンをクリックします。プリンタが Windows のテスト印刷ページを印刷します。

ネットワーク (LAN または WAN) に接続した Ethernet プリンタでの (MS-DOS)「コマンド・プロンプト」(または Windows XP スタート・メニューから「ファイル名を指定して実行」)を使用したテスト印刷：

1. 次の ASCII の 3 つの文字を使用してテキスト・ファイルを作成します :~WC
2. 名前を付けてファイルを保存します :TEST.ZPL (任意のファイル名と拡張子)。
3. プリンタの設定ステータス・ラベルのネットワーク・ステータスの印刷結果から IP アドレスを読み取ります。同じ LAN または WAN にプリンタとして接続されたシステムで、Web ブラウザのウィンドウのアドレス・バーに次のように入力して、Enter キーを押します。

fpt (IP アドレス)

(IP アドレス 123.45.67.01 の場合: ftp 123.45.67.01)

4. 「put」という語と、これに続けてファイル名を入力し、Enter キーを押します。この「テスト印刷」ファイルの場合、次のようになります。 **put TEST.ZPL**
 プリンタは、新しい印刷設定ステータス・ラベルを印刷します。

Windows 以外のオペレーティング・システム向けの、コピーした ZPL コマンド・ファイルを使用したテスト印刷：

1. 次の ASCII の 3 つの文字を使用してテキスト・ファイルを作成します :**~WC**
2. 名前を付けてファイルを保存します :**TEST.ZPL** (任意のファイル名と拡張子)。
3. ファイルをプリンタに印刷します。DOS の場合、システムの平行ル・ポートに接続したプリンタに送信されるファイルは次のようになります。

COPY TEST.ZPL LPT1

他のインターフェイス接続タイプとオペレーティング・システムの場合は、別のコマンド・ストリングを使用します。このテストを行うために適切なプリンタ・インターフェイスにコピーするための詳細な手順については、オペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。



印刷操作

このセクションでは、用紙と印刷の処理、フォントと言語のサポート、あまり一般的ではないプリンタ設定のセットアップについて説明します。

目次

プリンタ設定の特定.....	36
プリンタの長期間の使用休止または保管.....	36
印刷モード.....	37
印刷用紙のタイプ.....	37
消耗品の取替え.....	39
印刷幅の調整.....	40
印字品質の調整.....	40
用紙の検知.....	41
リボンの概要.....	42
折り畳み用紙の印刷.....	44
外部に取り付けられたロール紙の印刷.....	46
フォントとプリンタ.....	47
プリンタへのファイル送信.....	51
印刷メーター.....	51

プリンタ設定の特定

G シリーズ・プリンタは ZPL プリンタ設定ステータス・ラベルを使用して、EPL と ZPL 両方の操作のプリンタの設定ステータスを通知します。ZPL スタイル・ラベルは、EPL スタイル・プリンタ・ステータス・ラベルよりもさらに直観的で機能を反映した命名規則を提供します。操作ステータス(濃度、速度、用紙タイプなど)、インストールされているプリンタ・オプション(ネットワーク、インターフェイス設定、カッターなど)、およびプリンタ説明情報(シリアル番号、モデル名、ファームウェアのバージョンなど)は、すべてステータス・ラベルに含まれています。このラベルを印刷するには、23 ページの「[テスト\(プリンタ設定\)・ラベルの印刷](#)」を参照してください。プリンタ設定と、プリンタ設定ステータス・ラベルにリストされているプリンタ設定を管理する ZPL コマンドの詳細については、123 ページの「[付録:ZPL の設定](#)」を参照してください。

EPL スタイル・プリンタ設定ステータス・ラベルを取得するには、プリンタに EPL **U** コマンドを送信します。さまざまな EPL **U** コマンドに関する詳細と、これらのラベルに表示される設定の解釈については、EPL プログラマ・ガイドを参照してください。

プリンタ設定ステータス・ラベルのローカライズ

プリンタ設定ステータス・ラベルは、最大 16 の言語にローカライズできます。このラベルの大部分のステータス項目の表示言語を変更するには、ZPL プログラミング・コマンド **^KD** を使用してください。

プリンタ設定ステータス・ラベルへのアクセスに関する詳細については、23 ページの「[テスト\(プリンタ設定\)・ラベルの印刷](#)」または 110 ページの「[フィード・ボタン・モード](#)」を参照してください。

プリンタの長期間の使用休止または保管

時間が経過すると、印字ヘッドがプラテン(ドライブ)・ローラーに張り付くことがあります。これを防ぐには、印字ヘッドとプラテン・ローラーの間に用紙(ラベルまたは紙)をはさんでプリンタを保管してください。ロール紙を装着した状態でプリンタを輸送しないでください。プリンタまたは用紙に損傷をもたらすおそれがあります。

サーマル印刷



注意・印字ヘッドは印刷中、高温になります。印字ヘッドの破損や作業者のケガの危険を避けるため、印字ヘッドには触れないようにしてください。印字ヘッドのメンテナンスを行うときは、清浄ペンのみを使用してください。



注意・人体の表面や他の表面で蓄積する静電エネルギーの放電により、この装置で使われる印字ヘッドや電子部品が破損、または破壊されることがあります。トップカバーの下の印字ヘッドや電子部品を取り扱う場合は、静電気安全手順を守る必要があります。

印刷モード

このプリンタは、次のさまざまなモードと用紙設定で操作することができます。

- **ダイレクトサーマル印刷** (感熱紙を使用した印刷)
- **熱転写印刷** (リボンを使用して用紙に熱転写印刷)
- **標準切り取りモード**では、印刷後ユーザーが各ラベルを切り取る (またはラベルの帯のバッチを印刷する) ことができます。
- **ラベル・ディスペンス・モードオプション**のディスペンサがインストールされている場合、印刷中に台紙からラベルを剥がすことができます。このラベルを取った後に、次のラベルが印刷されます。
- **用紙のカット** : オプションの用紙カッターがインストールされている場合は、購入したカッターのオプションに応じて、プリンタはラベルの間のライナーやレシート用紙、またはタグ・ストックをカットできます。
- **スタンドアロン** : プリンタの自動実行ラベル・フォーム機能 (プログラミング・ベース) を使用するか、プリンタのシリアル・ポートに接続されたデータ入力デバイスを使用すると、プリンタをコンピュータに接続せずに印刷することができます。このモードは、スキャナや重量スケール、KDU アダプタ付きの Zebra® KDU Plus™ または KDU (キーボード・ディスプレイ・ユニット) などのデータ入力デバイスに対応します。
- **共有ネットワーク印刷** : イーサネット・インターフェイス・オプションで設定されたプリンタには、ZebraLink™ プリンタ設定 Web ページ を持つ内部プリント・サーバと、ネットワーク上の Zebra® プリンタのステータスを管理および監視するための ZebraNet™ Bridge ソフトウェアが含まれます。

印刷用紙のタイプ



重要 • Zebra では、高品質の印刷を継続して行えるように、Zebra 製のサプライ用品を使用することを強くお勧めします。プリンタの印刷能力を向上させ、印字ヘッドの寿命を長持ちさせるために特別に設計された、広範囲の紙製、ポリプロピレン製、ポリエステル製、およびビニール製の用紙が用意されています。サプライ品の購入については、<http://www.zebra.com/support> をご覧ください。

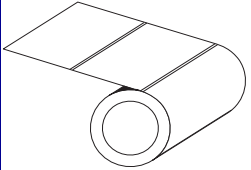
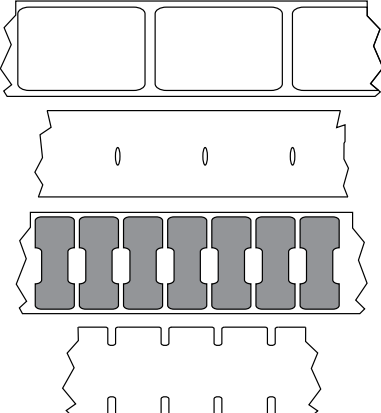
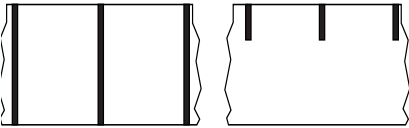

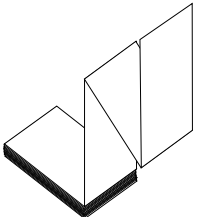
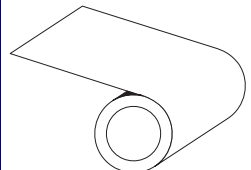
プリンタではさまざまなタイプの用紙を使用できます。

- **標準の用紙** - 大半の標準 (単票) 用紙では、裏面粘着式で個々のラベルまたは一連のラベルをライナーに貼り付けられます。
- **連続ロール用紙** - 連続ロール用紙はたいてい感熱用紙 (FAX 用紙と同様) で、レシートやチケット形式の印刷に使用されます。
- **タグ・ストック** - タグは通常、厚手用紙 (最大 0.19mm または 0.0075 インチの厚さ) で作られています。タグ・ストックには粘着テープやライナーはなく、通常はタグ間にミシン目が入っています。

基本的な用紙タイプの詳細については、[表 1](#) を参照してください。

プリンタでは通常、ロール紙が使用されますが、折り畳み用紙やその他の連続紙を使用することも可能です。印刷方法に応じて正しいメディア (用紙とリボンの有無) を使う必要があります。リボンなしで印刷する場合は、感熱用紙を使用する必要があります。リボンを使う場合は、熱転写用紙を使います。

表 1・用紙タイプ - ロール用紙と折り畳み用紙

用紙タイプ	外観	説明
<p>単票ロール用紙</p>		<p>ロール用紙は芯に巻かれており、芯の直径は 12.7 ～ 38.1 mm (0.5 ～ 1.5 インチ) あります。裏面粘着式のラベルがライナーに貼り付けられており、これらのラベルは、ギャップ、穴、切れ込み、または黒マークで区切られています。タグは、ミシン目で区切られています。個々のラベルは、次の 1 つ以上の方法で区切られています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 透過式用紙は、ギャップ、穴、切れ込みでラベルを区切ります。  <ul style="list-style-type: none"> 黒マーク用紙には用紙裏面に黒マークがあらかじめ印刷され、ラベルの分離位置を示しています。  <ul style="list-style-type: none"> ミシン目の入った用紙にはミシン目があり、ラベルやタグを簡単に切り離せます。用紙には、黒マークなど、ラベルやタグの分離位置を示すその他のマークがあります。 
<p>単票折り畳み用紙</p>		<p>折り畳み用紙は、ジグザクに折られた用紙です。折り畳み用紙は、単票ロール用紙と同様にラベルを分離しています。ラベルの分離位置が折り目または折り目付近にかかることがあります。</p>
<p>連続ロール用紙</p>		<p>ロール用紙は芯に巻かれており、芯の直径は 12.7 ～ 38.1 mm (0.5 ～ 1.5 インチ) あります。連続ロール用紙には、ラベル分離位置を示すギャップ、穴、切れ込み、黒マークはありません。このため、イメージをラベル上の任意の場所に印刷できます。カッターを使用して個々のラベルを切り離せます。連続用紙の場合、プリンタは透過式 (ギャップ) センサーを使用して用紙切れを検出します。</p>

感熱性の用紙のタイプの特定

熱転写用紙に印刷する場合はリボンが必要です。一方、感熱用紙ではリボンは不要です。感熱用紙と熱転写用紙のいずれであるかを判断するには、用紙のスクラッチ・テストを実行してください。

用紙スクラッチ・テストを行うには、次の手順に従います。

1. 用紙の印刷面を指の爪でまたはペンのキャップでこすります。強く押しながら、素早く用紙の印刷面上を引っ掻くようにします。感熱用紙は熱を加えられると化学的に処理（感光）され印刷されます。このテスト方法では、用紙を感光させるのに摩擦熱を使用しています。
2. 用紙に黒いスジが現れるかどうか確認します。

黒いスジの状態	用紙のタイプ
用紙に現れない	熱転写用紙です。リボンが必要です。
用紙に現れる	感熱用紙です。リボンは不要です。

消耗品の取替え

印刷中にラベルやリボンがなくなった場合、プリンタの電源はオンのままで装着してください（オフにするとデータロスが発生します）。新規のラベルまたはリボンのロールを装着したら、フィード・ボタンを押して印刷を再開してください。

常に高品質の認証済みのラベル、タグ、リボンを使ってください。粘着性のラベルで台紙に対して平行になっていないラベル紙が使われた場合、露出したエッジがプリンタ内部のラベルガイドとローラーに張り付き、ラベルが台紙から剥がされプリンタジャムを起こす可能性があります。非認定のリボンを使用すると、誤って巻き込まれたり、印字ヘッドを腐食する化学薬品が含まれている恐れがあり、印字ヘッドが恒久的な損傷を受ける可能性があります。

新たに熱転写リボンを装着

リボンが印刷ジョブの最中になくなった場合は、インジケータが赤色に変わり、新しいロールが追加されるまでプリンタは待機します。

1. リボンを交換するとき、プリンタはオンのままにしてください。
2. トップカバーを開いて、使用済みのリボンを切り取り、コアを取り外します。
3. 新しいリボン・ロールおよび空になった巻芯を装着します。必要に応じて、リボンの取り付け手順を参照してください。注記：損傷した溝のあるリボンの巻き芯は絶対に使用しないでください。切れ込みが正方形のコーナーになる恐れがあります。
4. トップカバーを閉じます。
5. フィード・ボタンを押して、印刷を再開します。

使用済み熱転写リボンの取り替え

使用されたりボンを取り出すには、次の手順を実行してください。

1. 巻取ロールからリボンを切り取ります。
2. 巻取ロールを取り外して、使用済みリボンを廃棄します。
3. 供給ロールを取り外して、未使用のリボンの端にテープを貼りつけて、リボンが剥がれないようにします。部分的に使用されたりボンを取り付けなおすときには、空の巻取ロールにテープで切り端を貼り付けます。

印刷幅の調整

次の場合には印刷幅の設定が必要です。

- プリンタを初めて使用する時。
- 用紙の幅が変更されたとき。

印刷幅は次のいずれかで設定できます。

- Windows のプリンタ・ドライバ、または Zebra Designer™ などのアプリケーション・ソフトウェア
- 110 ページの「フィード・ボタン・モード」の 5 回点滅シーケンス
- ZPL プログラミングでプリンタ操作を制御、印刷幅 (^PW) コマンド (『ZPL プログラミング・ガイド』を参照) を参照してください。
- EPL ページ・モード・プログラミングでプリンタ操作を制御、ラベル幅設定 (q) コマンド (『EPL プログラマ・ガイド』を参照) を参照してください。

印字品質の調整

印字品質は、印字ヘッドの温度（濃度）設定、印刷速度、および使用する用紙によって影響を受けます。使用されるアプリケーションにおける最適条件は、実際に印刷確認を繰り返し行って見つけてください。Zebra セットアップ・ユーティリティの「印字品質の設定 (Configure Print Quality)」ルーチンで設定できます。



注記・プリンタと用紙の印刷速度の設定について、用紙メーカーによる推奨事項が提供されている場合があります。用紙タイプの最大速度は、プリンタの最大速度よりも遅い場合があります。

相対濃度（または密度）の設定は、次のいずれかによって設定できます。

- 110 ページの「フィード・ボタン・モード」の 6 回点滅シーケンス。これを使用すると ZPL および EPL によってプログラムされた濃度 / 密度設定は上書きされません。
- 濃度の設定 (~SD) ZPL コマンド (『ZPL プログラミング・ガイド』を参照)
- 濃度 (D) EPL コマンド (『EPL プログラマ・ガイド』を参照)。

印刷速度の調整が必要な場合は、以下を使用します。

- Windows のプリンタ・ドライバ、または Zebra Designer™ などのアプリケーション・ソフトウェア
- 印字レート (^PR) コマンド (『ZPL プログラミング・ガイド』を参照)
- 速度の選択 (S) コマンド (『EPL プログラマ・ガイド』を参照)。

用紙の検知

G シリーズのプリンタには自動用紙検知機能が備わっています。プリンタは継続的にわずかな違いを検知して、用紙長を確認し調整するよう設計されています。プリンタが印刷中または用紙の挿入中は、プリンタは用紙パラメータでラベル間およびロール間のわずかな違いを検知して対応し、用紙を確認して調整します。印刷ジョブまたは用紙挿入を開始したときに、予測される用紙長またはラベル間のギャップの長さが許容可能な差の範囲を超えた場合、プリンタは自動的に用紙長キャリブレーションを開始します。G シリーズ・プリンタの自動用紙検知は、EPL および ZPL ラベル・フォーマットおよびプログラミングを使用するプリンタ操作で、同様に機能します。

用紙を挿入した後にプリンタがラベルや黒マーク（または黒線のある切れ込み）を検出しない場合、デフォルトの最大ラベル長である 1 メートル (39 インチ) になり、その後プリンタは連続用紙 (レシート) モードに切り替わります。ソフトウェア、プログラミングまたは手動キャリブレーションによって変更されるまで、プリンタは異なる用紙でこれらの設定を保持します。

オプションで、プリンタの電源投入時または電源をつけた状態でプリンタを閉じたときに、用紙の短いキャリブレーションを行うようプリンタを設定することができます。このときプリンタは、キャリブレーション中に複数のラベルを挿入することができます。

プリンタの用紙設定は、プリンタ設定ラベルを印刷すると検証できます。詳細については、23 ページの「[テスト \(プリンタ設定\) ・ラベルの印刷](#)」を参照してください。

自動用紙タイプ検出および検知機能が確認する最大長は、ZPL 最大ラベル長コマンド (^ML) を使用して短くすることができます。この長さは印刷する最大ラベルの 2 倍以上になるように設定することをお勧めします。印刷する最大ラベルが 4 x 6 インチの場合、最大ラベル (用紙) 長検出距離は 39 インチのデフォルト距離を 12 インチに減らすことができます。

プリンタで用紙タイプの自動検知と自動キャリブレーションを行うのが難しい場合は、106 ページの「[マニュアル・キャリブレーション](#)」を参照して広範囲なキャリブレーションを実行してください。これにはご使用の用紙に対する検知操作の印刷グラフが含まれます。この方法は、4 回点減フィード・ボタン・モードを使用してプリンタのデフォルト・パラメータが工場出荷時設定に再設定されるまで、プリンタの自動用紙検知機能を無効にします。詳細については、110 ページの「[フィード・ボタン・モード](#)」を参照してください。

自動用紙キャリブレーションは必要に応じて変更したり、オン/オフを切り替えることができます。印刷ジョブの状況によってはプリンタがロールの用紙をすべて使用することがあります。2つの自動用紙条件、「用紙をセットして電源をオン、電源がオンの状態でプリンタを閉じる」は ZPL 用紙フィード・コマンド ^MF を使用して個別にコントロール可能です。ZPL プログラマ・ガイドで説明されている ^MF コマンドのフィード・アクションは、おもに自動用紙検知およびキャリブレーションに使用されます。ダイナミックな用紙キャリブレーション (ラベル間) を管理する自動用紙キャリブレーションは、^XS コマンドを使用します。用紙の長さや素材、または検出方法 (透過式 / ギャップ、黒マーク、切れ込みまたは連続) が異なる複数の用紙タイプが使用されている場合、これらの設定は変更しないでください。

用紙のキャリブレーションと検出プロセスは、プリンタにセットされた用紙タイプに一致するよう絞り込むことができます。用紙タイプを設定するには、ZPL 用紙の管理コマンド (^MN) を使用します。プリンタは、事前印刷された用紙をラベル間のギャップとして検出したり、印刷の台紙を黒マークとして認識することがあります。連続用紙に ^MN パラメータが設定されている場合は、印刷では自動キャリブレーションは行われません。^MN コマンドには自動キャリブレーション・パラメータ (^MNA) も含まれており、プリンタをデフォルト設定に戻して、すべての用紙タイプを自動検出することができます。

リボンの概要

リボンとは、熱転写処理の際に用紙に転写されるワックス、レジンまたはワックス・レジンで片面がコーティングされた薄いフィルムのことです。リボンを使用する必要があるかどうか、およびリボンの幅はどのくらいかは、用紙によって決まります。リボンが使用される場合、リボンは、使用する用紙の幅以上のものを使用する必要があります。リボンの幅が用紙の幅よりも狭いと、印字ヘッドが完全に保護されず、印字ヘッドの寿命を短くするおそれがあります。

リボンを使用するケース

熱転写用紙に印刷する場合はリボンが必要です。一方、感熱用紙ではリボンは不要です。感熱用紙はリボンと組み合わせて使用しないでください。バー・コードやグラフィックスがゆがむことがあります。感熱用紙と熱転写用紙のいずれであるかを判断するには、用紙のスクラッチ・テストを実行してください。

リボンのコーティング面

リボンのコーティング面は、ロールの内側の場合と外側場合があります。このプリンタでは、外側がコーティングされたリボンしか使用できません。特定のリボンでコーティングが内側か外側か明確でない場合は、粘着性テストまたはリボンのスクラッチ・テストを行い、コーティングされている側を確認してください。



リボンのコーティングが内側または外側のいずれであるかを特定するには、次の手順を実行します。

リボンの粘着性テスト

使っていないラベルがある場合、粘着性のテストを実行して、リボンのコーティング面を判別します。この方法は、すでに装着されているリボンに対して非常に有効です。

粘着性テストは、次の手順に従います。

1. ラベルをライナーから剥がします。
2. ラベルの粘着面の端をリボンの外側の表面に押し付けます。
3. ラベルをリボンから剥がします。

4. 結果を観察します。リボンのインクの小片がラベルに付いているかどうか確認してください。

リボンのインクの状態	操作 ...
ラベルに付いている	リボンは 外側 にコーティングがあり、 G シリーズ・プリンタで使用できます。
ラベルに付かなかった	リボンの 内側 がコーティングされています。 G シリーズプリンタには使用できません。

リボンのスクラッチ・テスト

ラベルを使用できない場合、リボンのスクラッチ・テストを実行します。

リボンのスクラッチ・テストは、次の手順に従います。

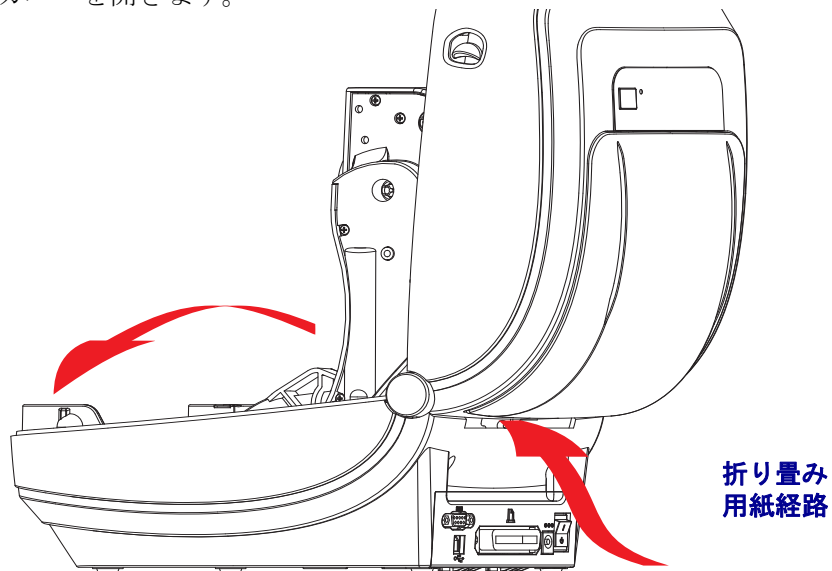
1. リボンを少しロールから引き出します。
2. リボンの引き出した部分を、リボンの外側が用紙と接するように用紙に置きます。
3. リボンの引き出した部分の内側を指の爪でこすります。
4. リボンを用紙から外します。
5. 結果を観察します。用紙にリボンの跡が付いたかどうか確認してください。

リボンの跡	操作 ...
用紙にリボンの跡が付いている	リボンは 外側 にコーティングがあり、 G シリーズ・プリンタで使用できます。
用紙にリボンの跡が付いていない	リボンの 内側 がコーティングされています。 G シリーズ・プリンタには使用できません。

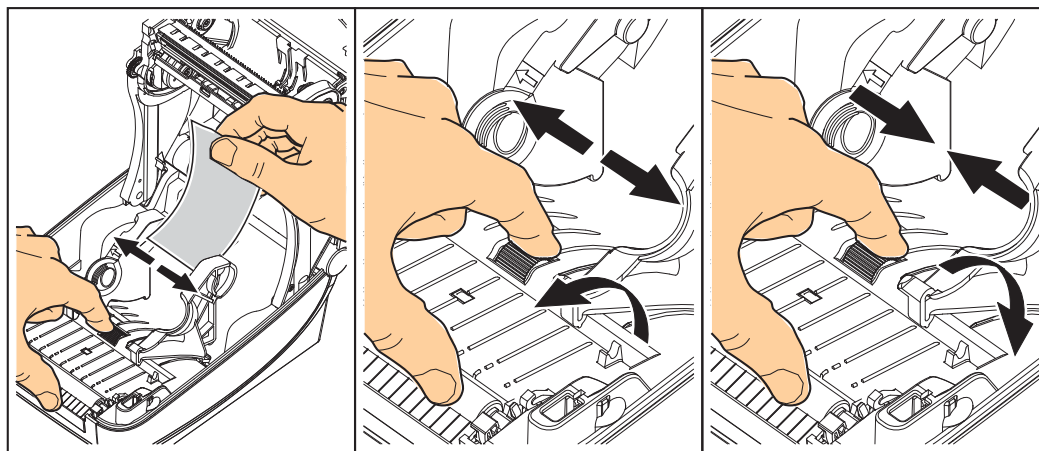
折り畳み用紙の印刷

折り畳み用紙に印刷するには、用紙ガイドの停止位置を調整する必要があります。

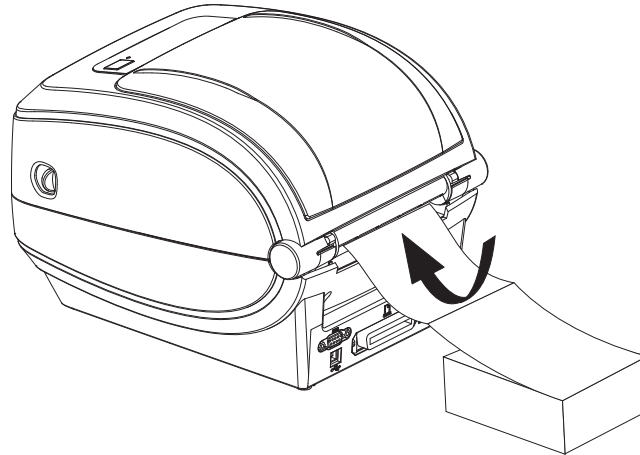
1. トップカバーを開きます。



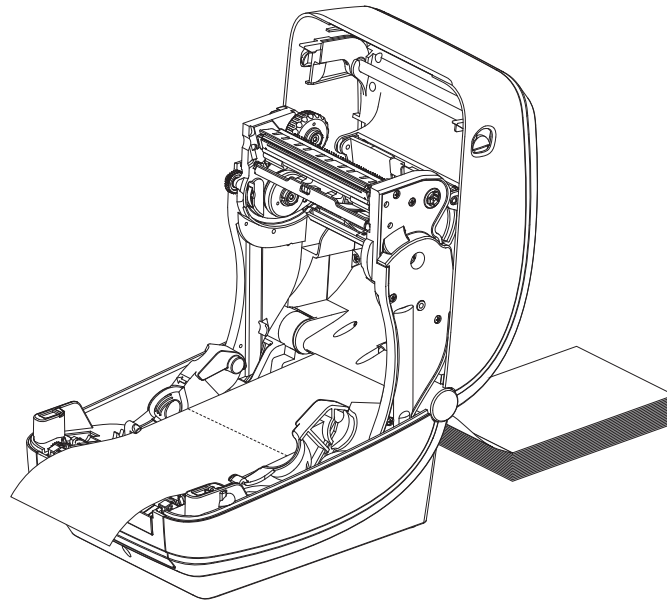
2. 用紙ガイドの停止位置を緑色のつまみを使って調整します。折り畳み用紙を1枚使って停止位置を設定してください。用紙ガイドの幅を広げるにはつまみを手前に回します。用紙ガイドの幅を狭くするにはつまみを向こう側に回します。



3. プリンタ後部のスロットに用紙を差し込みます。



4. 用紙ガイドとロール・ホルダの間に用紙を通します。



5. トップカバーを閉じます。

何枚かのラベルを印刷またはフィードした後：用紙が中心を通らない（左右にずれる）、またはプリンタから排出されるときに用紙の両側（ライナー、タグ、紙など）が磨り減ったり損傷している場合は、用紙ガイドをさらに調整する必要がある場合があります。それでも問題が解決しない場合は、用紙ガイド上の2つのロール・ホルド・ピンの上に用紙を送ることができます。薄い用紙をさらに支えるには、折り畳み用紙のスタックと同じ幅の、空の巻芯をロール・ホルダの間に置くこともできます。

外部に取り付けられたロール紙の印刷

G シリーズ・プリンタは折り畳み用紙のサポートと同様に、外部に取り付けられたロール用紙に対応します。プリンタは用紙をロールから引き出すのに、用紙ロールとスタンドを組み合わせて初期の低い慣性を使用するようにします。G-Series™ モーターは、Zebra® 2800™ シリーズ・デスクトップ・プリンタと比較して 30% 以上のトルクがあり、用紙の処理と速度が向上しています。

現在の時点では Zebra は G-Series™ プリンタに外部用紙オプションを提供していません。

外部に取り付けられたロール用紙に関する考慮事項

- 用紙はプリンタ後部の折り畳み用紙スロットを通して、プリンタの後ろ側に直接挿入する必要があります。用紙のセットについては [44 ページの「折り畳み用紙の印刷」](#) を参照してください。
- モーターの停止を避けるため、印刷速度は遅めにしてください。ロールは通常、ロールを動かし始めるときに最大の慣性を有します。用紙ロールの直径が大きい場合、プリンタはロールを回すためにより多くのトルクを必要とします。
- 用紙はスムーズに滞りなく移動する必要があります。用紙は用紙スタンドに取り付けられているとき、滑ったり、飛ばされたり、急に移動したり、巻きついて動くことがあってはなりません。
- プリンタは用紙ロールに触れないようにします。
- プリンタが滑ったり作業面から持ち上がらないようにします。

フォントとプリンタ

G-Series™ プリンタは、多様な内部フォント、オンボード・フォント・スケーリング、国際フォント・セット、文字コードページのサポート、Unicode サポート、フォントのダウンロードなどによって、言語とフォントの要求をサポートします。

G-Series™ プリンタのフォント機能はプログラミング言語に依存しています。EPL™ プログラミング言語は、基本のビットマップ・フォントと国際コード・ページを提供します。ZPL™ プログラミング言語は、高度なフォント・マッピングおよびスケーリング技術を提供し、アウトライン・フォント (TrueType™ または OpenType™) と Unicode 文字マッピング、基本的なビットマップ・フォントや文字コードページをサポートします。ZPL および EPL プログラミング・ガイドでは、フォント、コードページ、文字アクセス、フォント・リスト、各プリンタのプログラミング言語の制限について説明しています。テキスト、フォント、文字のサポートの詳細については、プリンタのプログラミング・ガイドを参照してください。

G シリーズ・プリンタには、ZPL および EPL の両方のプログラミング言語とも、プリンタへのフォントのダウンロードをサポートするユーティリティやアプリケーション・ソフトウェアが含まれています。

ご使用のプリンタのフォントの識別

プリンタではフォントとメモリはプログラミング言語に共有されています。G シリーズ・プリンタでは、フォントは多くのメモリ領域にロードできます。ZPL プログラミングは EPL と ZPL のフォントを認識します。EPL プログラミングは EPL フォントのみを認識できます。フォントとプリンタ・メモリに関する詳細については、各プログラマ・ガイドを参照してください。

ZPL フォント：

- ZPL 印刷操作のためのフォントを管理しダウンロードするには、Zebra セットアップ・ユーティリティまたは ZebraNet™ Bridge を使用します。
- G シリーズ・プリンタにロードされたすべてのフォントを表示するには、プリンタに ZPL コマンド **^WD** を送信します。詳細については、ZPL プログラマ・ガイドを参照してください。
 - さまざまなプリンタのメモリ領域のビットマップ・フォントは、ZPL の **.FNT** ファイル拡張子によって識別されます。
 - スケーラブル・フォントは、ZPL の **.TTF**、**.TTE** または **.OTF** ファイル拡張子で識別されます。EPL はこれらのフォントはサポートしていません。

EPL フォント：

- EPL 印刷操作のためのフォントをダウンロードするには、Zebra セットアップ・ユーティリティまたは ZebraNet™ Bridge を使用してファイルをプリンタに送信します。
- EPL に使用できるソフトフォント (ext.) を表示するには、プリンタに EPL コマンド **EI** を送信します。
 - G シリーズ・プリンタのオプションのアジア系フォントはソフトフォントとして表示されますが、EPL プログラマ・ガイドの **A** コマンドで説明されているとおり、アクセスが可能です。

- 表示される EPL フォントはすべてビットマップ・フォントです。**.FNT** ファイル拡張子や、上記の ZPL フォントで説明されているような、ZPL コマンド **^WD** で表示される横方向 (**H**) や縦方向 (**V**) の指定子は含まれません。
- EPL プログラミングで非アジア系 EPL フォントを削除するには、**EK** コマンドを使用します。
- EPL アジア系フォントをプリンタから削除するには、ZPL **^ID** コマンドを使用します。

コードページを使用したプリンタのローカライズ

G シリーズ・プリンタは、ZPL および EPL プリンタ・プログラミング言語に対して、プリンタにロードされた常駐フォントとして地域と文字の 2 つの言語セットをサポートします。プリンタは、一般的な国際文字マップ・コードページのローカライズをサポートしています。

- Unicode を含む ZPL コードページのサポートについては、ZPL プログラマ・ガイドの **^CI** コマンドを参照してください。
- EPL コードページのサポートについては、EPL プログラマ・ガイドの **I** コマンドを参照してください。

アジア系フォントとその他の大型のフォント

アジア系言語の表意文字などのフォントには、単一の言語コードページをサポートする数千文字からなる大型の文字のセットがあります。大型のアジア系文字のセットをサポートするために、業界はラテン語を基礎とした言語文字で使用しているシングルバイト文字 (最大 256) ではなく、ダブルバイト (最大 67840) 文字システムを採用し、大型の文字のセットに対応しています。単一のフォント・セットを使用する複数の言語に対応するために、Unicode が開発されました。Unicode フォントは、1 つまたは複数のコードポイント (これらをコードページ文字マップに関連させる) をサポートし、文字マッピングの矛盾点を解決する標準方式でアクセスできます。Unicode は、ZPL プログラミング・言語ではサポートされていますが、EPL プログラミング言語ではサポートされていません。いずれのプリンタ・プログラミング言語でも、大型のダブルバイト文字を使用するアジア系フォント・セットがサポートされています。

アジア系言語のサポートには、RTC およびフル・フラッシュ・メモリの工場オプションで設定される G シリーズ・プリンタによる追加のメモリ・サポートが必要です。ダウンロードできるフォント数は、常には使用されおらず使用可能なフラッシュ・メモリの量と、ダウンロードするフォントのサイズに依存しています。

大きい Unicode フォントの中にはサイズが大きすぎて、Zebra で提供される Microsoft または Andale フォント (22MB) から利用できる MS (Microsoft) Arial Unicode フォント (23MB) など、RTC とフル・フラッシュ・メモリ工場オプションで構成した初期モデルの G シリーズ・プリンタ (2009 年 7 月 24 日以前は 12MB フル・フラッシュ・メモリ) にはインストールできないものがあります。これらの大型フォントのセットは通常、多数の言語でもサポートされています。

アジア系フォントの取得

アジア系ビットマップ・フォント・セットはユーザーまたはインテグレーターによってプリンタにダウンロードされます。ZPL フォントはプリンタとは別に購入できます。EPL アジア系フォントは Zebra Web サイトから無料でダウンロードできます。

- 中国語 (簡体字および繁体字) (ZPL および EPL)
- 日本語 — JIS および Shift-JIS マッピング (ZPL および EPL)
- 韓国語 (Johab を含む ZPL および EPL)
- タイ語 (ZPL のみ)

スタンドアロン印刷

プリンタは、コンピュータに接続せずに動作するよう設定することができます。プリンタには、自動的に単一のラベル・フォームを実行する機能があります。端末やウェッジ・デバイスまたは Zebra® KDU (キーボード・ディスプレイ・ユニット) を使用してラベル・フォームを呼出し、1つ以上のダウンロード済みラベル・フォームにアクセスして実行することができます。これらの方法のおかげで、開発者はスキャナや重量スケールなどのデータ入力デバイスをシリアルポートを介してプリンタに組み込むことができます。

ラベル・フォーマットは、以下のラベルをサポートするプリンタで作成し保存できます。

- データ入力を必要とせず、フィード・ボタンを押すと印刷する。
- データ入力を必要とせず、プリンタのオプションのディスプレイからラベルが取り外されたときに印刷する。
- 端末またはウェッジ・デバイスを介して1つ以上のデータ変数が入力される。最後の変数データ・フィールドが入力された後にラベルが印刷される。
- ラベル・フォームを実行するためのプログラミングを含むスキニング・バーコードによって呼び出される、1つ以上のラベル・フォーマット。
- プロセス手順の次のラベルを実行するためのプログラミングを含むバーコードを有する各ラベルとともに、プロセス・チェーンとして動作するよう作成されたラベル・フォーム。

どちらのプリンタ・プログラミング言語も、電源を入れ直したりリセットした後に自動的に実行する特殊なラベル・フォームをサポートしています。ZPL は **AUTOEXEC.ZPL** という名のファイルを検索し、EPL は **AUTOFR** という名のラベル・フォームを検索します。G シリーズ・プリンタに両方のファイルが設定されている場合、**AUTOEXEC.ZPL** のみが実行されます。EPL **AUTOFR** フォームは無効になるまで実行されます。ファイルを完全に削除するには、両方のファイルともプリンタから削除した後で、リセットまたは電源を入れ直す必要があります。



注記・G シリーズ EPL **AUTOFR** コマンドは、**NULL** 文字 (00 hex または ASCII 0) によってのみ削除できます。G-Series™ プリンタは、他のほとんどの EPL プリンタで **AUTOFR** フォーム操作を通常無効にするその他の文字、**XOFF** 文字 (13 hex または ASCII 19) を無視します。

G-Series™ プリンタは、シリアル・ポートの 5 ボルト・ラインを介して、最大 750mA を供給できます。プリンタのシリアル・ポート・インターフェイスの詳細については、付録 A を参照してください。

プリンタへのファイル送信

グラフィック、フォントおよびプログラミング・ファイルは、ユーザーの CD または www.zebra.com で入手できる Zebra セットアップ・ユーティリティ (およびドライバ)、ZebraNet™ Bridge または Zebra® ZDownloader を使用して、Microsoft Windows オペレーティング・システムからプリンタに送信することができます。これらの方法は、プログラミング言語および G シリーズ・プリンタの両方で共通です。

印刷メーター

G シリーズ・プリンタには、印字ヘッドのメンテナンス・アラートを通知する機能があります。プリンタにはクリーニング機能と、印字ヘッドの寿命の終わりを前もって警告するアラート機能を備えています。RTC (リアルタイム・クロック) がプリンタにインストールされている場合は、印字ヘッドの寿命と履歴の通知には日付も含まれます。デフォルトでは、印刷メーター・アラートは無効になっています。

印刷メーターのメッセージと通知の多くは、カスタマイズ可能です。印刷メーターの詳細については、*ZPL* または *EPL* の *プログラミング・ガイド* を参照してください。

印刷メーター・アラートを有効にするには、次のコマンドのいずれか 1 つをプリンタに送信します。

- EPL コマンド `oLY`
- ZPL コマンド `^JH,,,,,E`
- 印刷設定を印刷して行ってください。



メモ • _____



プリンタ・オプション

このセクションでは、一般的なプリンタ・オプションやアクセサリに関する簡単な説明と、使用方法や設定方法について説明します。

目次

ラベル・ディスペンサ・オプション	54
可動式黒線センサー・オプション	57
カッター・オプション	61
ZebraNet® 10/100 内部 (有線) プリント・サーバ・オプション	65
ZebraNet® 内部ワイヤレス・プリント・サーバ・オプション	67
Bluetooth オプション	70
RTC (リアル・タイム・クロック) とフル・フラッシュ・メモリ	73
アジア系フォント — プリンタ・アクセサリ	74
Zebra® KDU — プリンタ・アクセサリ	75
KDU Plus™ — プリンタ・アクセサリ	76
ZBI 2.0™ — Zebra Basic Interpreter	77

ラベル・ディスペンサ・オプション

工場出荷時に設定されたラベル・ディスペンサ・オプションを使用すると、印刷時にラベルの裏（ライナー / 透過式用紙）が剥がされるので、印刷後すぐに貼り付けることができます。複数のラベルを印刷する場合、取り外された（剥がれた）ラベルを取り除くことで、プリンタに次のラベルの印刷と排出を指示することになります。

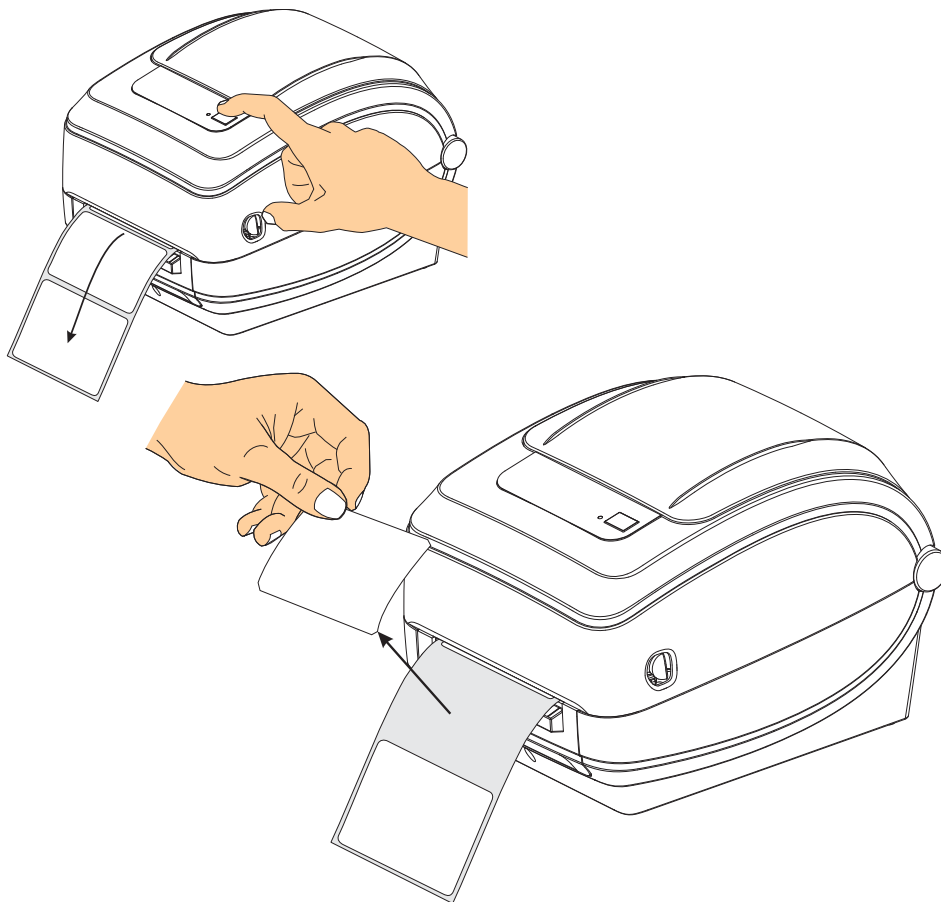
ディスペンサ・モードを正しく使用するには、長さ、単票（ギャップ）、および透過式（ライナー）を含む典型的なラベル設定でプリンタ・ドライバを使用してラベル（剥離）・センサーを起動します。それ以外の場合は、プリンタに ZPL または EPL プログラミング・コマンドを送信しなければなりません。

ZPL でプログラミングする場合は、以下のコマンド・シーケンスを使用できます。ZPL プログラミングの詳細は、『ZPL プログラミング・ガイド』を参照してください。

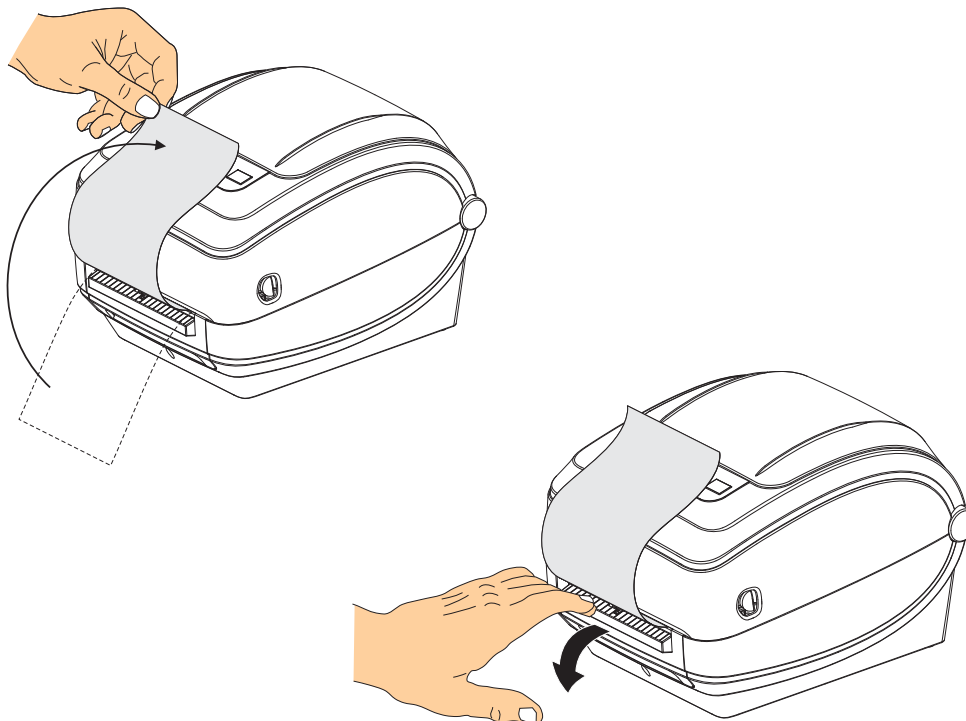
```
^XA ^MMP ^XZ  
^XA ^JUS ^XZ
```

EPL でプログラミングする場合は、オプション (O) コマンドと「P」コマンド・パラメータ (OP) を一緒に送り、ラベル剥離センサーを有効にします。他のプリンタ・オプション・パラメータをオプション・コマンド・ストリングに含めることができます。EPL プログラミングと、オプション (O) コマンドの動作についての詳細は、『EPL プログラマ・ガイド』を参照してください。

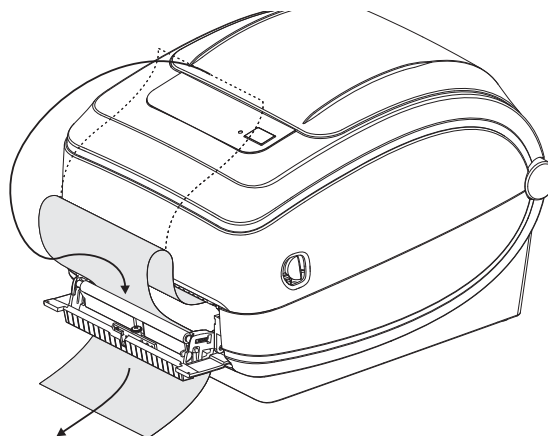
1. プリンタにラベルを挿入します。プリンタを閉じて、露出したラベルがプリンタから 100 mm (4 インチ) 排出されるまで、フィード・ボタンを押します。ライナーから露出したラベルを取り去ってください。



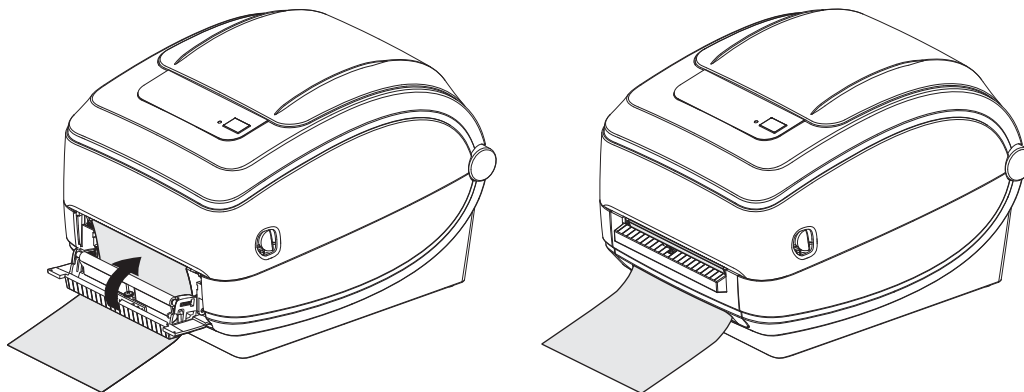
2. ライナーをプリンタの上部に持ち上げ、ディスペンサ・ドアを開きます。



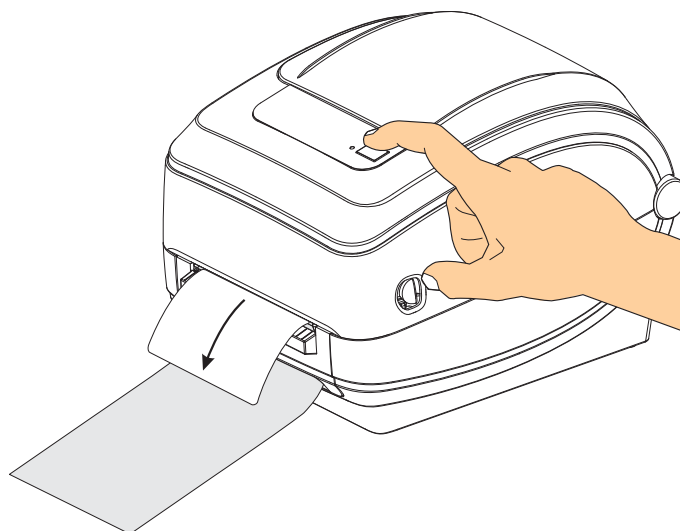
3. ディスペンサ・ドアとプリンタ本体の間にラベル・ライナーを挿入します。



4. ディスペンサ・ドアを閉じます。



5. フィード・ボタンを押して用紙を前送りします。



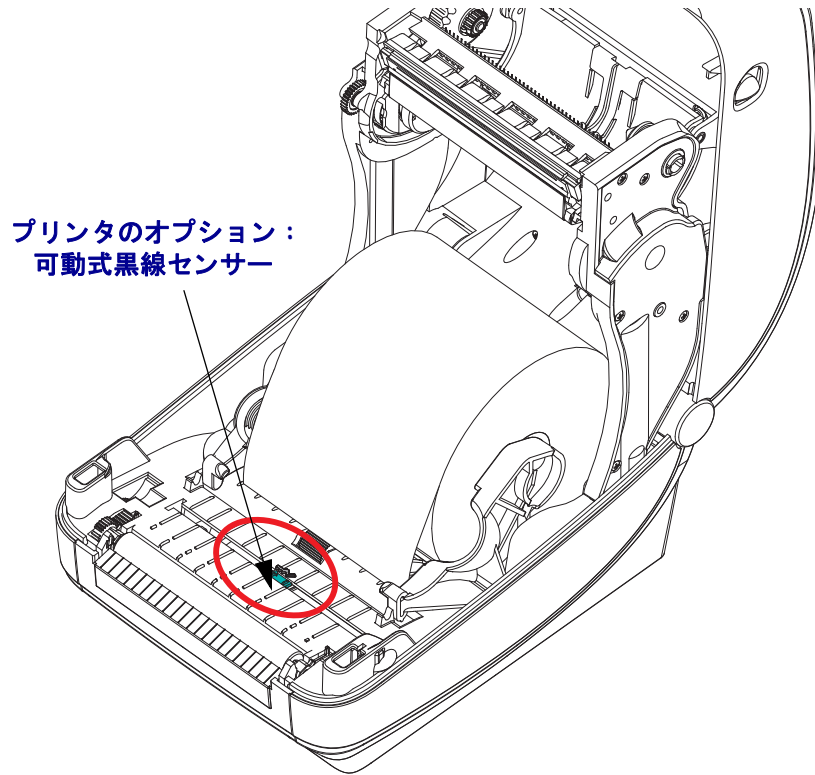
6. 印刷ジョブ中、ラベルは台紙から剥がされて、単独で送り出されます。プリンタからラベルを取り除くと、プリンタは次のラベルを印刷することができます。注記：ラベル剥離センサーでソフトウェア・コマンドによって取り外された（剥がされた）ラベルの検出を行っていない場合、プリンタは剥離したラベルを重ねて排出します。

可動式黒線センサー・オプション

工場出荷時に設定された可動式黒線センサー・オプションを使用すると、用紙（または用紙ライナー）の裏側にある黒マークまたは切れ込み（穴）などが用紙の中央に位置していない場合でも、その用紙を使用することが可能になります。

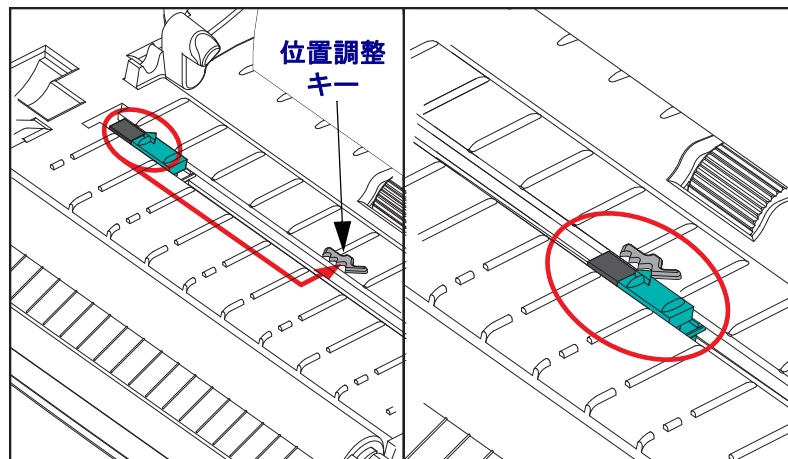
可動式センサーの第2の機能は、レガシー Zebra® デスクトップ・プリンタ・センサーの位置に一致する位置とその間隔を検知する、調整可能な透過式（ギャップ）検知機能です。これによって、標準以外の用紙の種類や不規則な形状の用紙を使用できます。

可動式黒線センサーは、センサーが透過式（ギャップ）検知用のデフォルト検知位置にない場合、連続用紙やラベル（ラベル間ギャップの検知用）を正確に検知することができません。60 ページの「透過式（ギャップ）検知のための可動式センサーの調整」を参照してください



中央以外にセット
黒線のみ検知

デフォルト - 透過式（ギャップ）
の検知標準操作位置



黒線または切れ込みに合わせた可動式センサーの調整

黒線センサーは、センサーからの光を反射してセンサーの検知部に戻すことをしない非反射面（用紙上の黒マークや黒線、切れ込み、穴など）を探します。センサーとその黒マーク検知部はセンサー・カバー（センサーの目に見えない光を通す黒いプラスチック・カバー）の下で隣り合う位置にあります。

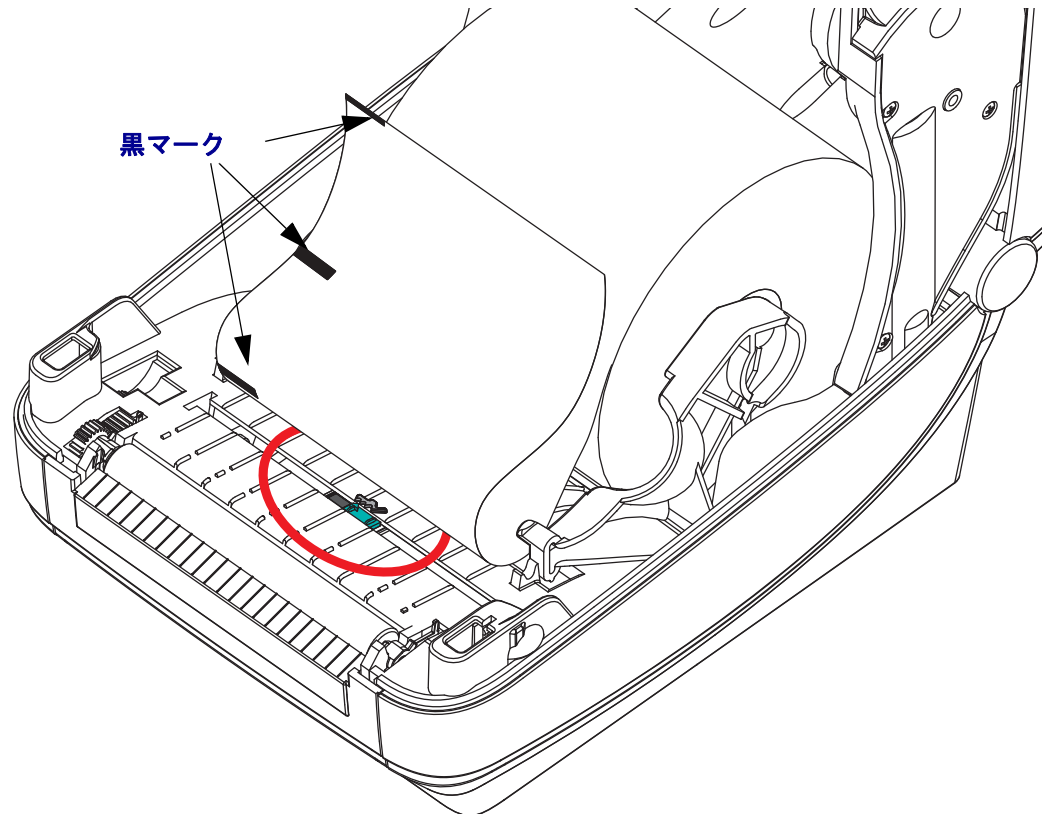
センサーは次の2つの方法で調整できます。

- 1) 推奨 - 可動式センサーの位置調整矢印をプリンタの中央または左側にある黒マークまたは切れ込みの右側にあわせます。または、
- 2) センサー・カバーの中央を、楕円形の切れ込みまたは右側の黒マーク（または切れ込み）の下に合わせます。

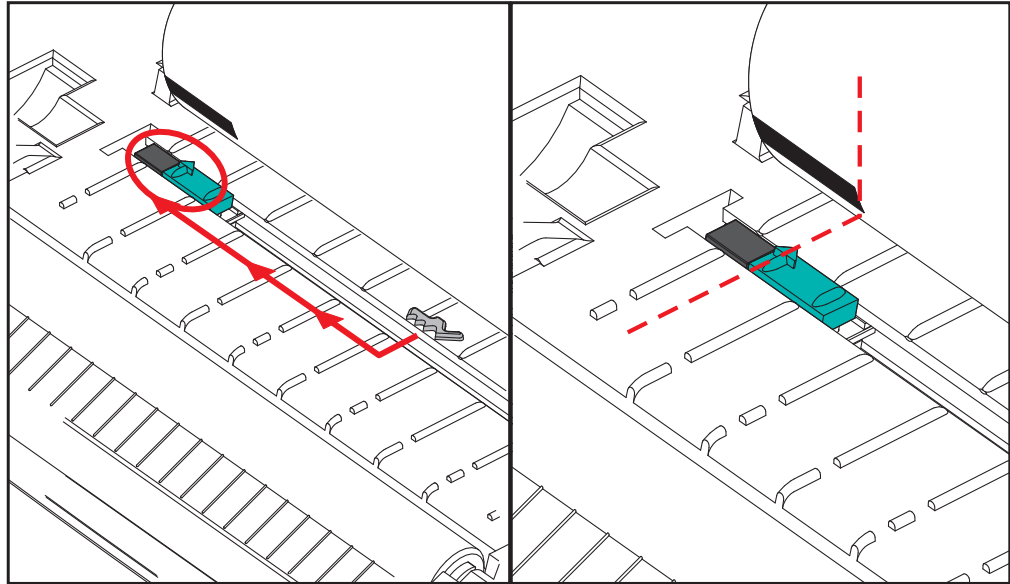
センサーは、用紙の端からできるだけ離れた位置にセットする必要があります。用紙は左右に動かすことができ、用紙の側面に入った切れ込みが傷むことがあるためです。

用紙のセットプリンタを閉じる前に、次の手順で可動式黒線センサーを調整してください。

1. 用紙をロールの上で裏返し、用紙の裏側（印刷面ではない側）の黒マークまたは切れ込みが見えるようにします。

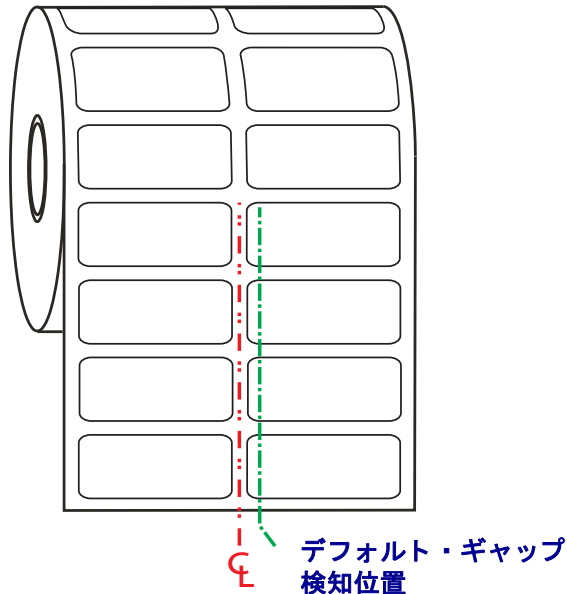


2. 可動式センサーを中央のデフォルト位置からスライドさせ、黒マークに揃えます。可動式センサーの矢印は、黒マークの右端に合わせる必要があります。これは、用紙の左右どちらの端にあるマークや切れ込みの場合にも当てはまります (図では左側)。

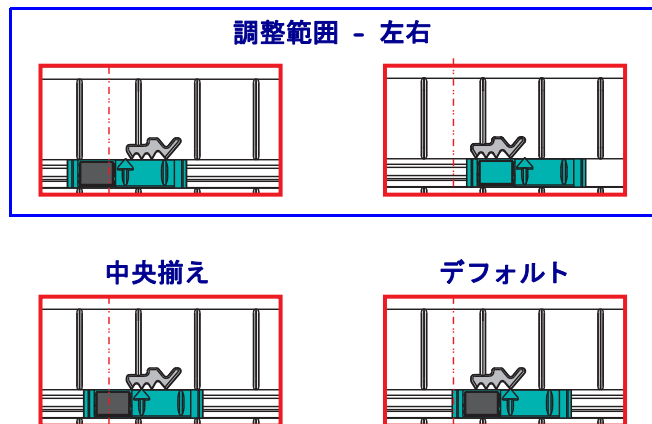


透過式 (ギャップ) 検知のための可動式センサーの調整

可動式センサーは、レガシー Zebra® デスクトップ・プリンタ・モデルで一部の標準以外の用紙設定用に使用される透過式 (ギャップ) の位置に対応しています。G-Series™ プリンタの、標準 (固定位置) または可動式センサーのデフォルトの位置での透過式 (ギャップ) 検知は、プリンタの中央から外れた位置で行うため、ロール上で横二列に並んだラベルのギャップ検知が可能になっています。



可動式センサーによる透過式 (ギャップ) 検知は、センサーの位置調整矢印が位置調整キーのどこかを指しているときだけ機能できます。ラベル間のギャップを検知するには、センサーがラベル (または他の用紙) の位置に合っている必要があります。上記の例には、中央揃えの位置が使用された場合のセンサーのセット位置が示されています。中央揃えの位置では 2 列ラベルの設定でラベルを検知することができません。一方、センサーが「デフォルト」位置にある場合は、ラベルとラベル間のギャップを検知することができます。



- デフォルト — Zebra モデル :G-Series™ 固定位置センサー、LP/TLP 2842™、LP/TLP 2844™、LP/TLP 2042™
- 中央揃え — Zebra モデル :LP/TLP 2742™

カッター・オプション

プリンタは、ラベル・ライナー、タグ、レシート用紙などの用紙幅すべてに合わせてカットできる、工場出荷時設定の用紙カッター・オプションをサポートしています。これらのカッター・オプションはすべて、単一のカッター筐体設計を使用しています。プリンタにインストールされているカッター・オプションのタイプは、プリンタ設定ステータス・ラベルを印刷すると確認できます。カッター・オプションには次のものがあります。

- ラベル・ライナーと軽量タグ用紙向けの**中量カッター (LINER/TAG)**

最大用紙重量 (厚み): 180 g/m² (0.0077 インチ) 以下

耐用回数 *: 2 00 万カット 0.5 mil ~ 5 mil ストック (10-120 g/m²)

カット 1 00 万回 : 0.5 mil ~ 7.5 mil ストック (120-180 g/m²)

750,000 回カット : 7.5 mil ~ 10 mil (180-200 g/m²)

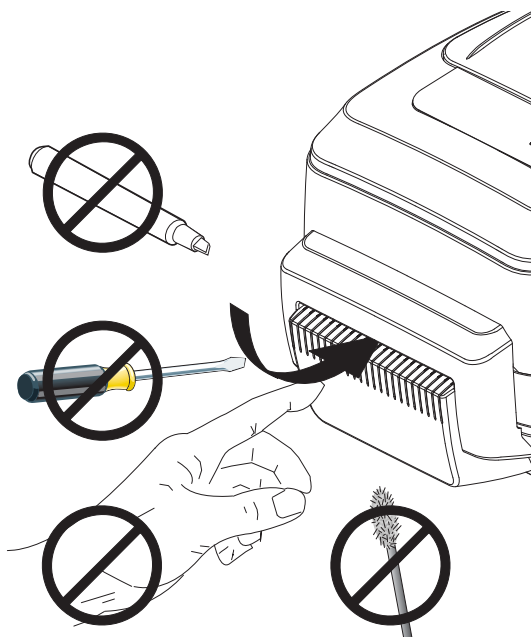
最大用紙重量 (密度/硬さ) および厚みを超えると、カッターの耐用期間が短くなり、カッターが正常に作動しないことがあります (ジャムその他のエラー)。

- カット幅:** 最大 108 mm (4.25 インチ) ~ 最短 19 mm (0.75 インチ)
- カット間の最短距離 (ラベルの長さ)** 25.4 mm (1 インチ) カット間の長さがこれより短い用紙をカットすると、カッターにジャムなどのエラーが起きることがあります。
- カッター操作にはデフォルトで、25 回カットするたびにカッターのセルフクリーニングを行う予防メンテナンスが含まれています。この機能は、ZPL または EPL SGD (Set/Get/DO) プログラミング・コマンド (**cutter.clean_cutter**) を使用すると無効にできますが、この操作はお勧めできません。



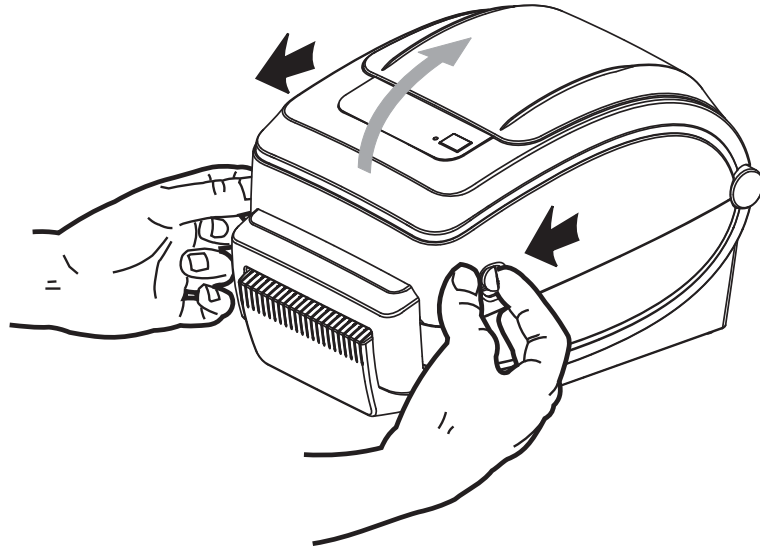
警告・カッター・ユニットにはオペレータが修理可能なパーツはありません。カッター・カバー (ベゼル) は絶対に取り外さないでください。カッター装置に物や指を挿入しないでください。

重要・道具や綿棒、溶剤 (アルコールを含む) などすべて、カッターに使用すると損傷を引き起こしたり、カッターの耐用期間が短くなったり、カッター・ジャムを引き起こす恐れがあります。

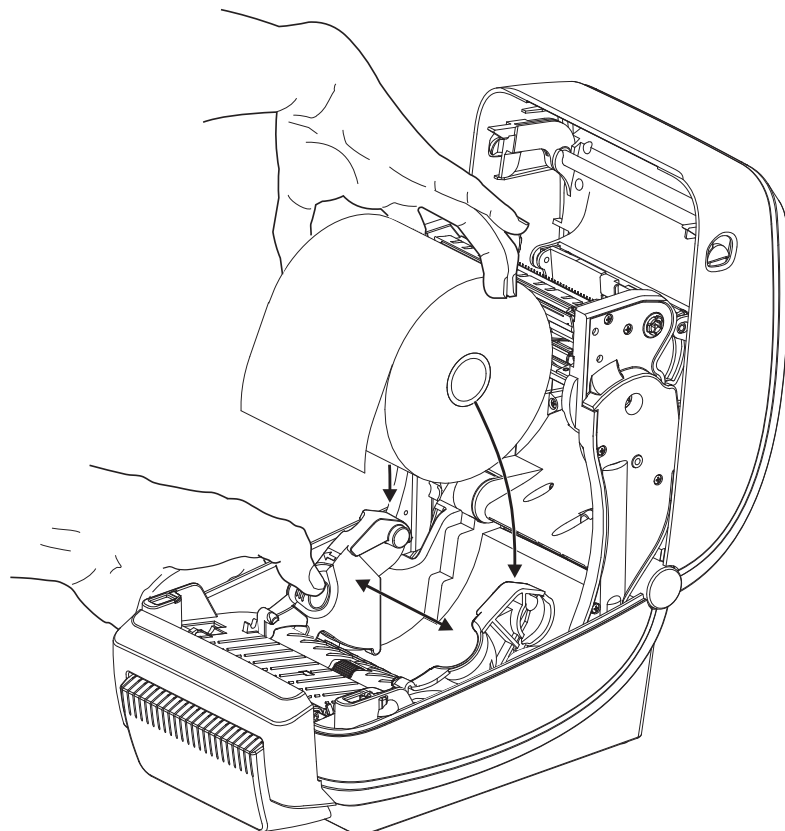


カッター・オプションでの用紙のセット

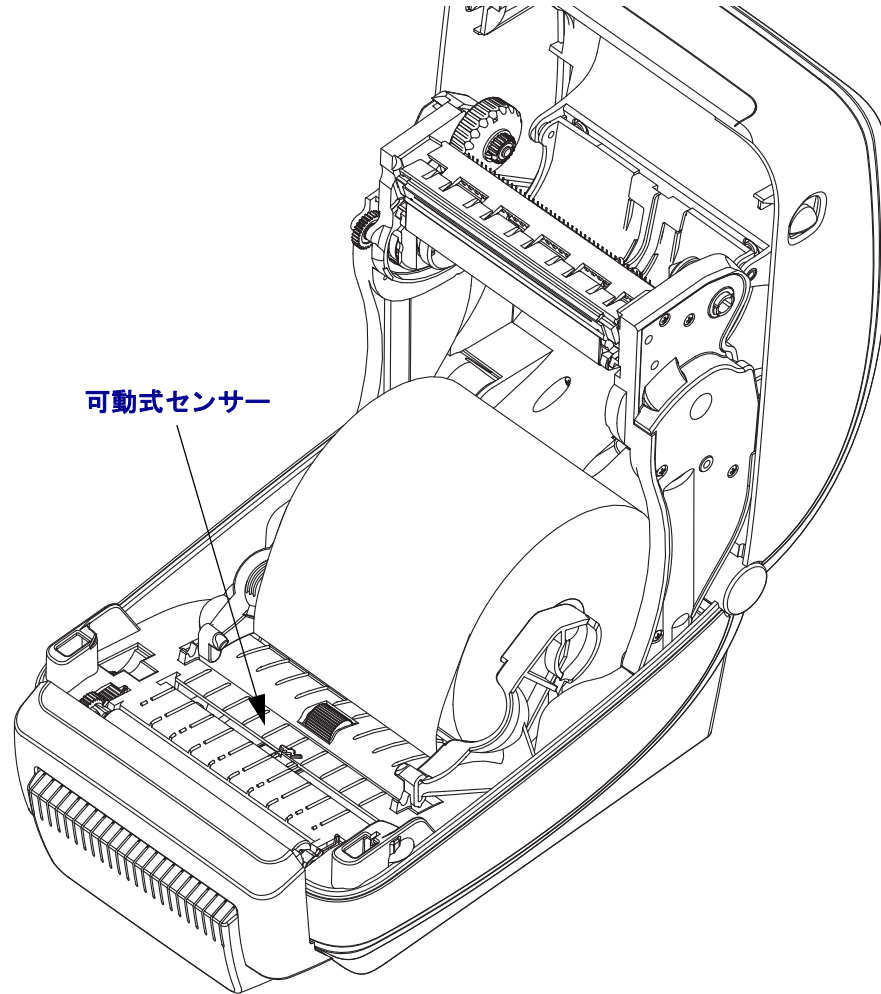
1. プリンタを開きます。ラッチ解除レバーをプリンタの前面方向に引くことを忘れないでください。



2. 用紙ロール・ホルダを開きます。空いている方で用紙ガイドを引いて開き、用紙ロールを用紙ホルダに載せて、ガイドから手を離します。用紙ロールの印刷面が、プラテン(ドライブ)・ローラーを通るときに上向きになるように用紙の向きを定めます。

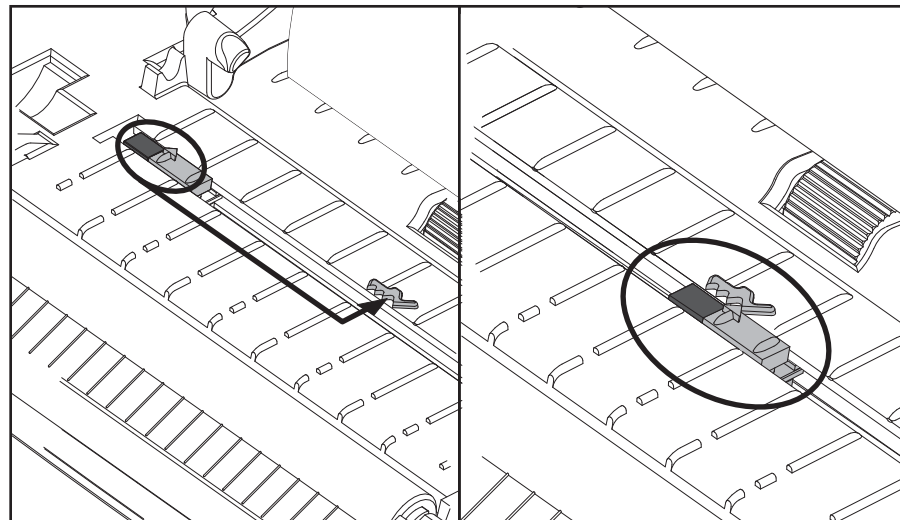


3. プリンタにオプションの可動式黒線センサーが付属している場合は、センサーが中央の少し右側のデフォルト位置にあることを確認します。これは用紙検知の標準操作位置です。センサーがデフォルト位置からずれると、プリンタは黒線、黒マーク、切れ込みマークの入った用紙しか検出できません。

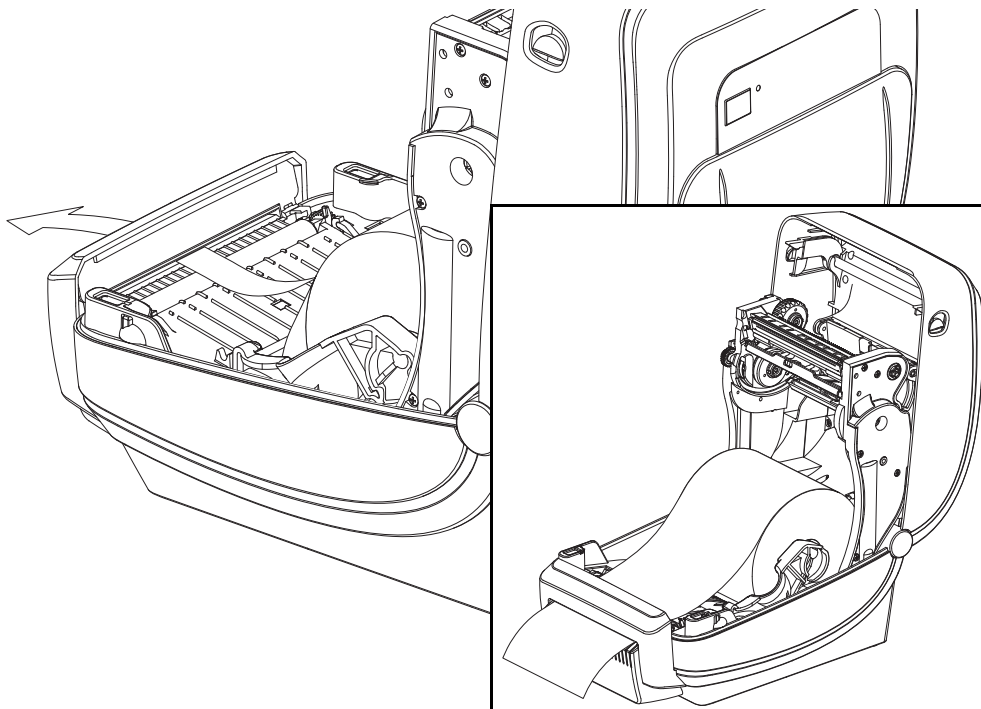


中央以外にセット
 黒線のみ検知

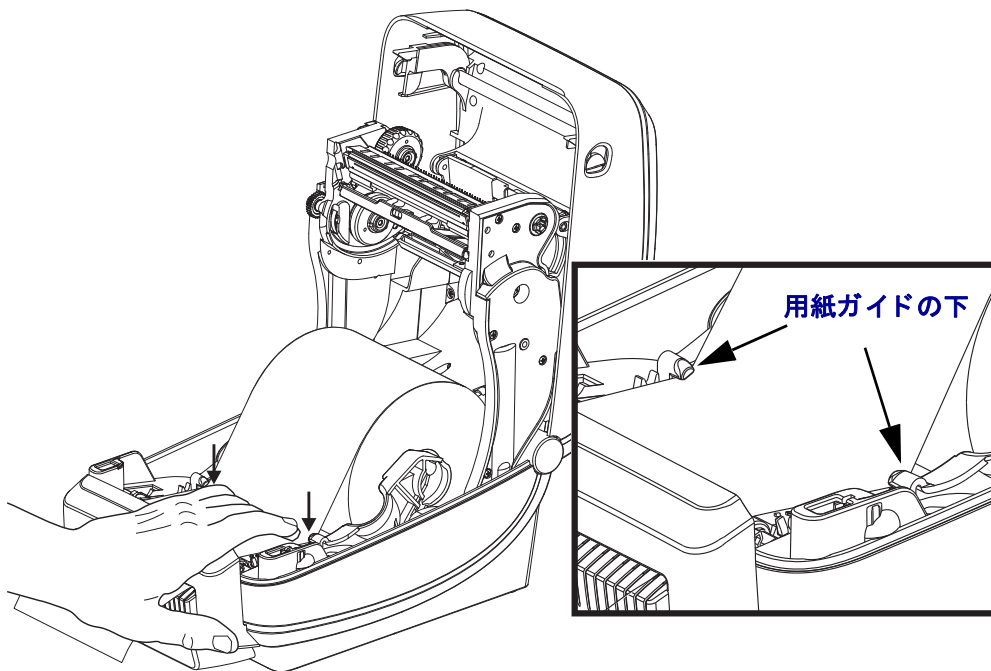
デフォルト - 透過式 (ギャップ) の
 検知標準操作位置



4. カッター内部のスロットに用紙を通し、プリンタの前面から用紙が出るようにします。ロールが滞りなく回転することを確認します。ロールが用紙セット部の底部にあってはいけません。用紙の印刷面が上を向いていることを確認します。



5. 用紙を押しして両側の用紙ガイドの下に来るようにします。



6. プリンタを閉じます。カバーがカチッと閉まるまで下に押します。

ZebraNet® 10/100 内部 (有線) プリント・サーバ・オプション

ZebraNet® 10/100 内部プリント・サーバ (PS) は、ネットワークと、ご使用の ZebraLink™ 対応のプリンタを接続する、オプションの工場出荷時設定デバイスです。プリント・サーバには、プリンタとプリント・サーバ設定用のブラウザ・インターフェイスが提供されています。ZebraNet™ Bridge Zebra ネットワーク・プリンタ管理用ソフトウェアを使用している場合、ZebraLink™ 対応プリンタの特殊な機能を簡単に利用できます。

10/100 内部 PS を備えたプリンタには以下の機能が搭載されています。

- ブラウザを使用したプリント・サーバおよびプリンタの設定
- ブラウザを使用した 10/100 内部 PS のリモート監視および設定機能
- アラート
- 要求されなくても、プリンタ・ステータス・メッセージを電子メール・デバイスで送信することができます。

ZebraNet™ Bridge — ZebraNet™ Bridge は、10/100 内部 PS で使用することができるソフトウェア・プログラムで、ZPL ベースのプリンタ内にある ZebraLink の機能を強化します。次の機能があります。

- ZebraNet™ Bridge では、プリンタを自動的に検出することができます。ZebraNet™ Bridge は IP アドレス、サブネット、プリンタ・モデル、プリンタ・ステータス、その他多数のユーザー定義特性などのパラメータを検索します。
- リモート設定 — リモート・サイトに移動したり物理的なプリンタ処理をしなくても、社内のすべての Zebra ラベル・プリンタを管理できます。エンタープライズ・ネットワークに接続された Zebra プリンタは、ZebraNet™ Bridge インターフェイスでアクセスでき、使いやすいグラフィカル・ユーザー・インターフェイスによってリモートで設定できます。
- プリンタ・アラート、ステータス、ハートビート・モニタリング、イベント通知 — ZebraNet™ Bridge によって、1 つのデバイスに対して複数のイベント・アラートを設定し、アラートごとに異なる宛先に転送することができます。電子メール、携帯電話、ポケベル、または ZebraNet™ Bridge イベント・タブを使ってアラートや通知を受信します。プリンタ、グループごとにアラートを表示し、日付/時刻、重要度、トリガでフィルタします。
- プリンタ・プロファイルの設定とコピー — 1 台のプリンタから別のプリンタに設定をコピー & ペースト、またはグループ全体にブロードキャストします。ZebraNet™ Bridge ではマウスをクリックするだけで、プリンタ設定、プリンタ常駐ファイル (フォーマット、フォント、グラフィック) およびアラートをコピーできます。プリンタ・プロファイルの作成 — 理想的な設定、オブジェクト、アラートを設定した仮想の「ゴールデン・プリンタ」を作成し、実際のプリンタのようにクローンとして使用するか、ブロードキャストして、セットアップ時間を大幅に短縮します。プリンタ・プロファイルは、緊急時のリカバリ用に、プリンタの設定をバックアップしておく優れた方法です。

プリンタ・ネットワーク設定ステータス・ラベル

ZebraNet® 10/100 内部プリント・サーバ・オプションを搭載した G-Series™ プリンタは、ネットワーク・プリントの確立とトラブルシューティングに必要な情報用に、追加のプリンタ設定ステータス・ラベルを印刷します。以下は ZPL ~WL コマンドでの印刷結果です。

```
Network Configuration
Zebra Technologies
ZTC GX420t
ZBR2834649

Internal Wired#
ALL..... IP PROTOCOL
172.029.001.047.... IP ADDRESS
255.255.255.000.... SUBNET MASK
172.029.001.001.... DEFLT. GATEWAY
172.029.001.003.... WINS SERVER IP
YES..... TIMEOUT CHECKING
300..... TIMEOUT VALUE
000..... ARP INTERVAL
9100.... BASE RAW PORT
00:07:4d:2b:40:d9.. MAC ADDRESS

FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED
```

設定ステータス・ラベルの通常の印刷結果には、IP アドレスなどのプリンタのネットワーク設定が下半分に印刷されています。

プリンタの IP アドレスは、ネットワーク上で稼働しているプリンタの識別や設定に必要です。詳細は、『ZebraNet® 10/100 内部プリント・サーバ・マニュアル』を参照してください。

ZebraNet® 内部ワイヤレス・プリント・サーバ・オプション

ZebraNet® 内部ワイヤレス・プリント・サーバ (PS) は、ネットワーク上の Wi-Fi ネットワーク・アクセス・ポイントと、ご使用の ZebraLink™ 対応のプリンタを接続する、オプションの工場出荷時設定デバイスです。プリント・サーバには、プリンタとプリント・サーバ設定用のブラウザ・インターフェイスが提供されています。ZebraNet™ Bridge と、Zebra® ネットワーク・プリンタ管理用ソフトウェアを使用している場合、ZebraLink™ 対応プリンタの特殊な機能を簡単に利用できます。

内部ワイヤレス・プリント・サーバを備えたプリンタには次の機能があります。

- アラート、構成設定、ネットワーク設定に関するプリンタのステータス表示。
- ブラウザを使用したプリント・サーバおよびプリンタの設定
- ブラウザを使用した内部ワイヤレス・プリント・サーバのリモート監視および設定機能
- アラート
- プリンタ・ステータス・メッセージを自動的に電子メール・デバイスで送信する機能

ZebraNet™ Bridge — ZebraNet™ Bridge は、10/100 内部 PS で使用することができるソフトウェア・プログラムで、ZPL ベースのプリンタ内にある ZebraLink の機能を強化します。次の機能があります。

- ZebraNet™ Bridge では、プリンタを自動的に検出することができます。ZebraNet™ Bridge は IP アドレス、サブネット、プリンタ・モデル、プリンタ・ステータス、その他多数のユーザー定義特性などのパラメータを検索します。
- リモート設定 — リモート・サイトに移動したり物理的なプリンタ処理をしなくても、社内のすべての Zebra ラベル・プリンタを管理できます。エンタープライズ・ネットワークに接続された Zebra プリンタは、ZebraNet™ Bridge インターフェイスでアクセスでき、使いやすいグラフィカル・ユーザー・インターフェイスによってリモートで設定できます。
- プリンタ・アラート、ステータス、ハートビート・モニタリング、イベント通知 — ZebraNet™ Bridge によって、1つのデバイスに対して複数のイベント・アラートを設定し、アラートごとに異なる宛先に転送することができます。電子メール、携帯電話、ポケベル、または ZebraNet™ Bridge イベント・タブを使ってアラートや通知を受信します。プリンタまたはグループごとにアラートを表示し、日付/時刻、重要度、トリガでフィルタします。
- プリンタ・プロファイルの設定とコピー — 1台のプリンタから別のプリンタに設定をコピー & ペースト、またはグループ全体にブロードキャストします。ZebraNet Bridge では、プリンタ設定、プリンタ常駐ファイル (フォーマット、フォント、グラフィック) およびアラートを 1 回クリックするだけでコピーできます。プリンタ・プロファイルの作成 — 理想的な設定、オブジェクト、アラートを設定した仮想の「ゴールデン・プリンタ」を作成し、実際のプリンタのようにクローンとして使用するか、ブロードキャストして、セットアップ時間を大幅に短縮します。プリンタ・プロファイルは、緊急時のリカバリ用に、プリンタの設定をバックアップしておく優れた方法です。

プリンタ・ネットワーク設定ステータス・ラベル

ZebraNet® 内部ワイヤレス・プリント・サーバ・オプションを搭載した G-Series™ プリンタは、ネットワーク・プリントの確立とトラブルシューティングに必要な情報用に、追加のプリンタ設定ステータス・ラベルを印刷します。以下は ZPL ~WL コマンドでの印刷結果です。

Network Configuration	
Zebra Technologies ZTC GX420t ZBR12861842	
Wireless*	
ALL.....	IP PROTOCOL
172.029.016.027....	IP ADDRESS
255.255.255.000....	SUBNET MASK
172.029.016.001....	DEFAULT GATEWAY
172.029.001.003....	WINS SERVER IP
YES.....	TIMEOUT CHECKING
300.....	TIMEOUT VALUE
000.....	ARP INTERVAL
9100.....	BASE RAW PORT
YES.....	CARD INSERTED
02DFH.....	CARD MFG ID
8103H.....	CARD PRODUCT ID
000278c44192.....	MAC ADDRESS
YES.....	DRIVER INSTALLED
INFRASTRUCTURE.....	OPERATING MODE
125.....	ESSID
100.....	TX POWER
54 Mb/s.....	CURRENT TX RATE
DIVERSITY.....	RECEIVE ANTENNA
DIVERSITY.....	XMIT ANTENNA
OPEN.....	WEP TYPE
NONE.....	WLAN SECURITY
1.....	WEP INDEX
020.....	POOR SIGNAL
LONG.....	PREAMBLE
YES.....	ASSOCIATED
ON.....	PULSE ENABLED
15.....	PULSE RATE
OFF.....	INTL MODE
07FFH.....	CHANNEL MASK
FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED	

設定ステータス・ラベルの通常の印刷結果には、IP アドレスなどのプリンタのネットワーク設定が下半分に印刷されています。

プリンタの IP アドレスは、ネットワーク上で稼働しているプリンタの識別や設定に必要です。詳細は、『ZebraNet® 内部ワイヤレス・プリント・サーバ・マニュアル』を参照してください。

Bluetooth オプション

Bluetooth はオプションの工場出荷時設定 (内部ワイヤレス) デバイスで、他の Bluetooth 対応デバイスおよびコンピュータに接続可能です。G シリーズ・プリンタに内蔵された Bluetooth 無線は、Bluetooth 仕様 2.0 に準拠し、Windows の仮想シリアル・ポートである Serial Port Profile (SPP) をサポートしています。Windows PC 上のプリンタに送信されるすべての印刷ジョブは、SPP を介して実行されます。これは基本的に RS-232 シリアル通信の Bluetooth エミュレーションです。このプリンタ・オプションには LCD ディスプレイが含まれ、接続ステータスと設定情報を提供しており、インストールおよび Bluetooth 対応ホスト・システムへの接続を支援します。

Microsoft は Windows XP Service Pack 2 (SP2) のリリース以降、ほとんどの Bluetooth デバイスをサポートしています。それ以前は、Windows の以前のバージョンでの Bluetooth デバイスは、デバイスに付属のドライバを必要としました。Windows XP SP2 以降では、プリンタ用に「プリンタの追加」ウィザードもサポートしています。G シリーズ・プリンタには Bluetooth 仮想シリアル・ポート接続 (SPP) を介してアクセスします。プリンタが Windows PC の Bluetooth デバイスと通信できるようにするには、SPP をサポートする Bluetooth 2.0 ドライバが必要なだけです。

Windows 環境では、プリンタが Bluetooth 通信を確立した後に印刷を有効にするには、コンピュータに ZebraDesigner™ ドライバがインストールされている必要があります。Zebra セットアップ・ユーティリティのプリンタ・インストール・ウィザードを使用すると、Bluetooth 接続を設定するのに役立ちます。

プリンタ・ネットワーク設定ステータス・ラベル

ZebraNet® 内部 Bluetooth オプションを搭載した G シリーズ・プリンタは、ネットワーク・プリントの確立とトラブルシューティングに必要な情報用に、追加のプリンタ設定ステータス・ラベルを印刷します。以下は ZPL ~WL コマンドでの印刷結果です。

Network Configuration	
Zebra Technologies ZTC GX430t	
Bluetooth	
2.1.8.....	FW VERSION
04/25/08.....	DATE
Test1234.....	LOCAL NAME
OFF.....	AUTHENTICATION
ON.....	DISCOVERABLE
2.0.....	RADIO VERSION
ON.....	ENABLED
OFF.....	AFH MODE
00:03:7A:18:F4:47..	ADDRESS
7FFFFFFFFFFFFFFFFF	CURRENT AFH MAP
FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED	

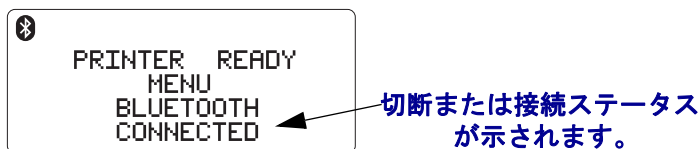
プリンタの Bluetooth 設定は、インストールおよび印刷作業のためにプリンタを識別するのに役立ちます。

Bluetooth 通信のための Windows PC の準備

- Bluetooth ドングルをインストールするか、既存の Bluetooth が有効になっていることを確認します。Bluetooth が搭載されているシステムの中には、Bluetooth 無線を Wi-Fi と共有するものがあることに注意してください。Wi-Fi を無効にすると、Bluetooth も無効になることがあります。

Bluetooth 印刷のためのプリンタの準備

- プリンタは、工場オプションで Bluetooth がインストールされている必要があります。プリンタには LCD ディスプレイが含まれます。プリンタのメイン・メニュー画面に Bluetooth という言葉が表示されます。



- 設定ステータス・ラベルを印刷するには (および後で Windows テスト印刷ラベル印刷するには)、プリンタに用紙が装着されていることが必要です。
- Zebra セットアップ・ユーティリティ (ZSU) と USB インターフェイス・ケーブル** を使用してプリンタをインストールします (または標準シリアル・ポート・ケーブルを使用します)。プリンタ設定ステータス・ラベルを印刷するには、プリンタ・プロパティまたは ZSU を使用して印刷を確認します。
- ZSU がインストールされ開いたら、プリンタを選択します。インストールされた Zebra® プリンタの下にあるボタンが有効になります。「プリンタ接続の設定 (Configure Printer Connectivity)」ボタンをクリックして「接続セットアップ・ウィザード (Connectivity Setup Wizard)」を起動します。
 - Bluetooth** を選択して「次へ (Next)」をクリックします。
 - プリンタの一意の名前を「使いやすい名前 (Friendly name)」テキスト入力ボックスに入力します。
 - 「有効 (Enabled)」を選択したままにし、「探索可能 (Discoverable)」をオン、「認証 (Authentication)」をオフにします。「次へ (Next)」をクリックして続行します。
 - ウィンドウに、プリンタに送る SGD (Set/Get/Do) コマンドが表示されます。「次へ (Next)」をクリックします。
 - プリンタを選択したままにして、「完了 (Finished)」をクリックします。プリンタがリセットし、新しい Bluetooth コマンドがすべて有効になります。

Bluetooth - Windows XP® SP2 でのプリンタのインストール

この手順では、Windows XP SP2 (上記) でのプリンタのインストールについて説明します。

- Windows の「スタート」メニューから、「プリンタと FAX」ウィンドウを開きます。「プリンタの追加」をクリックすると、ウィザードが開始します。「プリンタの追加ウィザードの開始」ウィンドウが表示されたら「次へ」をクリックして続行します。

2. 「ローカルプリンタ」のラジオ・ボタンと「自動的に検出...」チェックボックスを選択した状態 (チェックマークが入った状態) で、「次へ」をクリックします。
3. プリンタは検出されないはずですが、新しいプリンタが1つまたは複数検出された場合は、これらのプリンタのどれも選択せずに、「次へ」をクリックします。
4. 「新しいポートの作成」ラジオ・ボタンを選択し、関連付けされたプルダウン・メニューから「Bluetooth Printer Port」を選択します。
5. 新しい「Bluetooth Printer Port」ウィンドウで、リストの Bluetooth デバイスからお使いのプリンタを選択します。これには数分かかることがあります。「接続 (Connect)」ボタンをクリックします。
6. 「プリンタ・ソフトウェアのインストール (Install Printer Software)」ウィンドウが開きます。サポートされている Zebra プリンタ・モデルを選択するには「製造 (Manufacture)」として「ZDesigner」を選択し、次に「プリンタ (Printers)」の選択肢でお使いのプリンタ・モデルを選択します。「次へ (Next)」をクリックして続行します。
7. 「既存のドライバを保持する (Keep the existing drivers)」を選択して「次へ」をクリックします。
8. プリンタに名前を付け、必要に応じてデフォルト・プリンタの設定を選択します。「次へ (Next)」をクリックします。
9. 「はい (Yes)」と答え、テスト・ページを印刷します。「次へ (Next)」をクリックして続行します。
10. 「プリンタ追加ウィザードの完了 (Completing the Add Printer Wizard)」ウィンドウで「完了 (Finish)」をクリックします。Bluetooth プリンタのインストールが完了し、Windows のテスト印刷ページが印刷されます (少なくとも Windows のロゴが表示されます)。

Bluetooth - Windows Vista® SP2 と Windows 7® でのプリンタのインストール

Windows Vista (SP2 以上) および Windows 7 での Bluetooth のインストールは XP でのインストールとは異なります。

- **Windows Vista:** 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」、「ハードウェアとサウンド」、「プリンタ」「プリンタの追加」の順にクリックして、「プリンタの追加」ウィザードを開きます。
- **Windows 7:** スタート・ボタンのアイコンをクリックしてからスタート・メニューで「デバイスとプリンター」をクリックし、「デバイスとプリンター」ウィンドウを開きます。
- ホスト PC の Microsoft Bluetooth 以外の dongle と、ビルトインの Bluetooth デバイスの中には、SPP 印刷のためのドライバのサポートが十分とはいえないものがあり、「プリンタの追加」ウィザードが正常に完了しないことがあります。「コントロール・パネル」または Windows の「スタート」バーのシステム・トレイから「Bluetooth デバイス (Bluetooth Devices)」に移動して、「デバイス」(インストールしている Bluetooth プリンタ) の SPP を有効にする必要がある場合があります。プリンタをローカル・プリンタ (お使いの G シリーズ・プリンタ用の USB またはシリアル・ポート) にインストールし、次に、インストールが完了したら「ポート (Port)」を SPP (仮想シリアル・ポート) COM ポートに変更します。

RTC (リアル・タイム・クロック) とフル・フラッシュ・メモリ

工場出荷時設定の RTC (リアル・タイム・クロック) とフル・フラッシュ・メモリのオプションを使用すると、高度にカスタマイズしたプリンタ・アプリケーションの作成、プリンタの生産性と柔軟性の向上、そして、フォームやグラフィック (ロゴ)、フォント、大型のアジア系言語セットの保管容量を増加できる追加のメモリの使用などが可能になります。

RTC にはラベル・フォーム作成機能が含まれます。

- 日時スタンプ
- 事前または事後日時作成
- フォームを変更することなく、日時を印刷フォームに含めることができます。
- ホスト・システムやアプリケーション・ソフトウェアを使用したり、別のプロセス (データベース・レポートなど) によってプログラムから日時を生成することなく、日時を供給できます。

RTC はプリンタがスタンド・アロン設定 (ホストまたは PC への接続なし) で操作するための機能を向上します。一般的には日付スタンプを必要に応じてタグやチケット、ラベル、レシートに印刷するために使用されます。詳細については、[50 ページの「スタンドアロン印刷」](#)を参照してください。

RTC 機能は ZPL と EPL の両方のプリンタ・プログラミングをサポートしています。日時を 表示 するための 2 種類のプログラミング動作は、互いに独立しています。日時を設定するコマンドは、両方のプリンタ言語で 異なります。



注意・オプションの RTC アセンブリは 3 ボルトのリチウム・バッテリーを使用します。プリンタの日付スタンプが一貫して遅延している場合は、バッテリーの残存量が少なく完全にあがってしまっていることが識別できます。バッテリーの交換は、資格のあるサービス技師が行う必要があります。Zebra 認定の交換用バッテリーのみを使用してください。



重要・その地域のガイドラインと規則に従って、バッテリーをリサイクルしてください。短絡を避けるため、バッテリーを破棄 (または保管) する際にはバッテリーをカバーしてください。

絶対にバッテリーを短絡させないでください。バッテリーを短絡させると、発熱や発火、爆発が起きる恐れがあります。

バッテリーを加熱や分解したり、火の中に投げ込むことは絶対にしないでください。

フル・フラッシュ・メモリを使用すると、標準の 4 MB のプリンタ・メモリに 64 MB が追加され、合計 68 MB のプリンタ・メモリを使用できます。2009 年 7 月 24 日以前に製造されたプリンタでは、もともとこのオプションは 12 MB のフル・フラッシュ・メモリをサポートしていました。

アジア系フォント — プリンタ・アクセサリ

アジア系フォント・セットはユーザーまたはインテグレーターによってプリンタにダウンロードされます。G シリーズ・プリンタで大型のアジア系フォント・ファイルをサポートするには、RTC とフル・フラッシュ・プリンタ・メモリ・オプションがインストールされている必要があります。フォントはプリンタとは別に購入できます。

- 中国語 (簡体字および繁体字) (ZPL および EPL)
- 日本語 — JIS および Shift-JIS マッピング (ZPL および EPL)
- 韓国語 (Johab を含む ZPL および EPL)
- タイ語 (ZPL のみ)

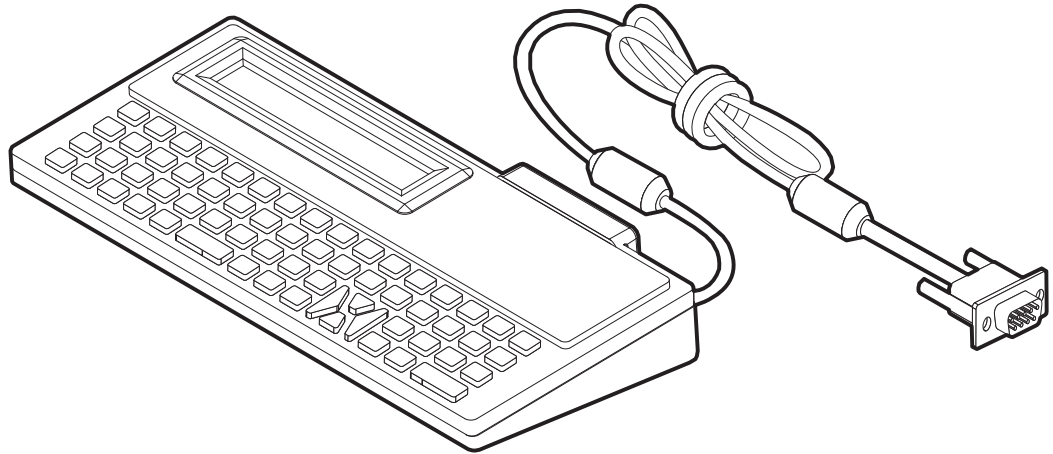
アジア系フォントの詳細については、[47 ページの「フォントとプリンタ」](#)を参照してください。

Zebra® KDU — プリンタ・アクセサリ

KDU (キーボード・ディスプレイ・ユニット) は、プリンタに保存された EPL ラベル・フォームにアクセスするために、プリンタとのインターフェイスを提供する小型の端末ユニットです。

KDU は単なる端末で、データの保存やパラメータの設定機能はありません。KDU は以下の機能に使用されます。

- プリンタに保存されているラベル・フォームのリストを表示します。
- プリンタに保存されているラベル・フォームを取得します。
- 変数データを入力します。
- ラベルを印刷します。



KDU Plus™ — プリンタ・アクセサリ

KDU Plus は、ファイル保存のためのメモリを搭載した端末デバイスで、1 台以上のリモート・プリンタの保守を行います。KDU Plus では、Zebra のオリジナル KDU デザインよりも大きなラップトップ型のキーボードを提供しています。

KDU Plus は以下の機能用に設計されています。

- プリンタに保存されているラベル・フォームの一覧表示
- プリンタに保存されているラベル・フォームの取得
- 変数データの入力
- ラベルの印刷
- ファイルの保存と転送を行います。

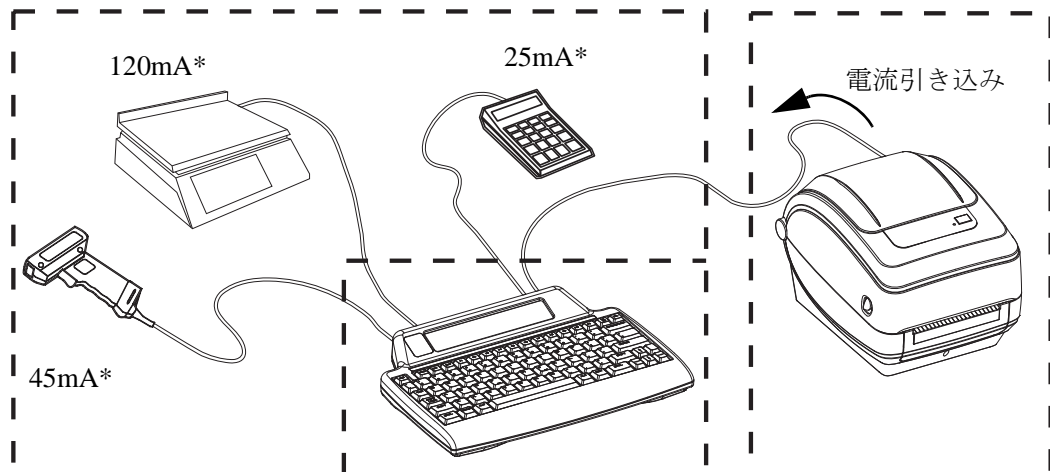
KDU Plus は、Zebra プリンタに合わせてプリンタの通信設定 (DTE および DCE) を動的に検出して切り替えることで、ZPL および EPL プリンタとともに使用できるように設計されています。デフォルトでは、KDU Plus はフォーム・モードを起動します。これは Zebra のオリジナルの KDU と互換性があります。KDU Plus は ZPL または端末モードのいずれかで動作するように設定できます。

KDU Plus にはファイル転送と保存機能があります。これは、リモートおよびスタンドアロン・プリンタでラベル・フォーム、ロゴ、小型のフォント・セットを維持する場合に便利です。

KDU Plus には設定可能な 2 つのシリアル・ポートと、PS/2 ポートがあり、スキャナ、重量スケールなどの他のデータ入力デバイスに接続できます。

プリンタのシリアル・ポート (9 ピン) からの +5 ボルトは、KDU Plus と、KDU Plus に接続された他のすべての入力デバイスに電力を提供します。

G シリーズ・プリンタのシリアル・ポートからの最大消費電流 :750mA
外部入力デバイスが接続されていない KDU Plus の消費電力 :50mA



* - 実際の値ではない。

$$(45\text{mA} + 120\text{mA} + 25\text{mA}) + 50\text{mA} < \text{最大電流}$$



注意・KDU Plus の入力ポート (AUX1、AUX2、および PS/2 方式) にはヒューズがありません。使用可能な電力総量を超過すると、入力デバイス、KDU Plus、またはプリンタが損傷する可能性があります。

ZBI 2.0™ — Zebra Basic Interpreter

オプションの ZBI 2.0™ プログラミング言語でプリンタをカスタマイズし強化できます。ZBI 2.0 を使用すると Zebra プリンタはアプリケーションを実行し、LCD メニュー・コマンドからユーザーにプロンプトを表示し、PC またはネットワークに接続することなくスケール、スキャナ、その他の周辺機器からの入力を取り込むことができます。ZBI 2.0 は、プリンタが ZPL 以外のデータ・ストリームを理解してこれらをラベルに変換できるように、ZPL プリンタ・コマンド言語で動作します。つまり、Zebra プリンタは、受信した入力や ZPL 以外のラベル・フォーマット、センサー、キーボード、および周辺機器からバーコードやテキストを作成することができます。プリンタはまた、印刷ラベルで使用する情報を取得するために、PC ベースのデータベース・アプリケーションと通信できるようプログラムされています。

ZBI 2.0 をアクティブにするには、ZBI 2.0 Key Kit をご注文いただくか、または、www.zebrasoftware.com の ZBI 2.0 ストアでキーをご購入ください。

キーを適用するには、ZDownloader ユーティリティを使用してください。Zdownloader はお手元の CD および Zebra Web サイト www.zebra.com で入手できます。

ZBI 2.0 アプリケーションを作成、テスト、配信するために使用する直感的な ZBI-Developer™ プログラミング・ユーティリティは、お手元の CD または Zebra Web サイト www.zebra.com で入手できます。



メモ • _____



コントロール・パネル操作

このセクションでは、LCD コントロール・パネル・オプションを搭載したプリンタで表示される操作、ナビゲーション、パラメータについて説明します。

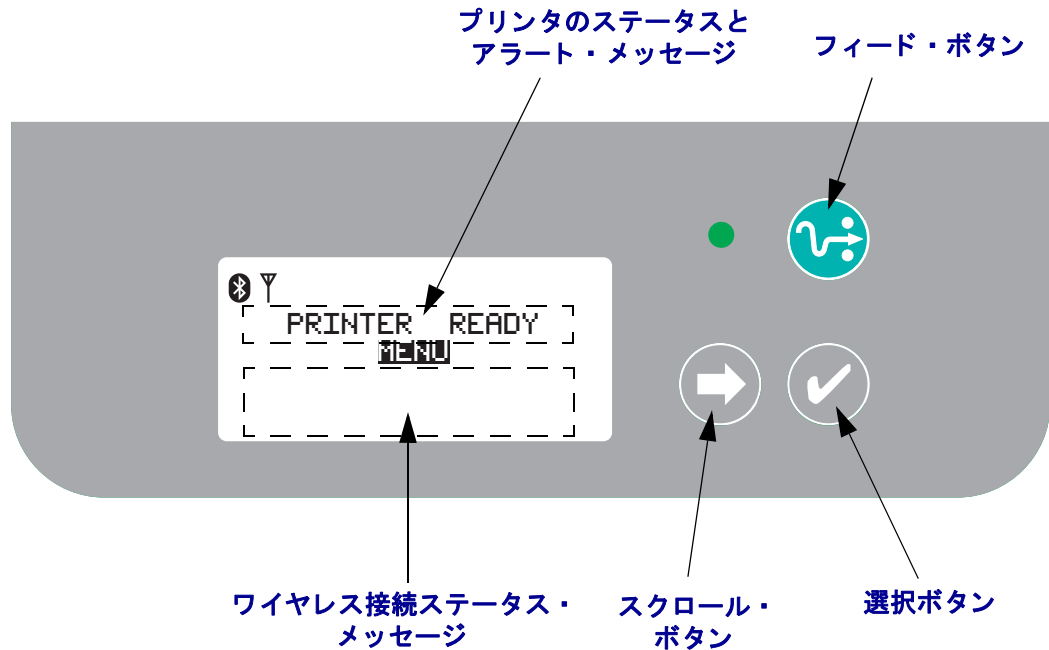
目次

LCD ディスプレイの概要.....	80
標準操作表示	81
表示設定.....	81
プリンタ設定	82
802.11 WLAN 設定.....	83
Bluetooth 設定	83

LCD ディスプレイの概要

Wi-Fi または Bluetooth オプションを搭載した G シリーズ・プリンタの LCD ディスプレイでは、プリンタ操作、プリンタ機能の基本制御、プリンタ表示制御、ワイヤレス接続情報など、ユーザーにフィードバックが提供されます。

コントロール・パネルには3つの操作方法(フィード・ボタン、スクロール・ボタン、選択ボタン)があります。フィード・ボタンは、ラベル1枚または連続用紙の事前設定した長さだけを前送りするのに使用します。ディスプレイ操作の制御は、スクロール・ボタンと選択ボタンを使用します。スクロール・ボタンでは、各種のオプションや設定をスクロールできます。選択ボタンでは、画面に表示される機能のオプションを選択できます。



注記・プリンタ設定を変更する際にコントロール・パネルを使用することもできますが、多くの設定は Set / Get / Do (SGD) コマンドを使用するだけで変更できます。SGD コマンドの使用の詳細については、『ZPL II Programming Guide (ZPL II プログラミングガイド)』を参照してください。

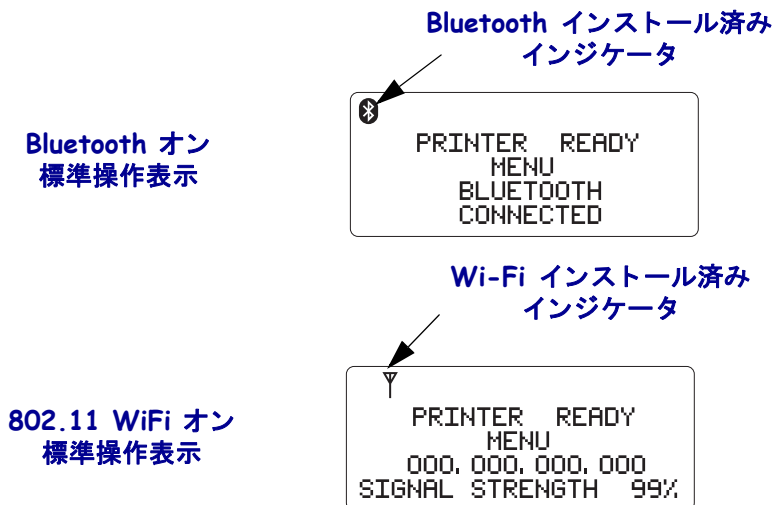
設定項目の数が多すぎて1つの画面上に全部表示できない場合、表示しきれない設定項目はディスプレイの一番下にリストされます。別の選択項目にアクセスするには、スクロール・ボタンで現在の画面を下に移動すると、次の一連の選択項目が表示されます。

メニューのカスタマイズおよび WML

G-Series™ プリンタでは、Zebra の WML メニュー・カスタマイズ言語を使用できます。WML 言語は、表示機能とコマンド機能を備えています。詳細については、『ZPL プログラマ・ガイド』(このプリンタ用)の WML に関するセクションを参照してください。

標準操作表示

プリンタがオンおよびレディであるとき、LCD 表示は、以下の図に示す例のいずれかになります。



表示設定

ディスプレイにはバックライト機能が搭載されており、暗い環境でもディスプレイを表示することができます。選択ボタンを押して、プリンタのオプション・メニューに入ると、バック・ライト機能が働いて表示が明るくなります。特に動作が行われない場合、一定のタイムアウト時間（選択可能）後にバック・ライトは消えます。また、表示のコントラストも調整できるとともに、表示に際して適切な言語も選択できます。ユーザーが選択できる表示設定を以下の表に示します。

表示設定		
設定	デフォルト値	オプション値
バックライト	オン	オン/オフ
タイムアウト	10	10 / 20 / 30
LCD コントラスト	4	1 - 7
ゲンゴ	ENGLISH	ENGLISH ESPANOL FRANCAIS DEUTSCH ITALIANO NORSK PORTUGUES SVENSKA DANSK ESPANOL2 NEDERLANDS SUOMI

プリンタ設定

ユーザー選択可能 / プログラム可能なプリンタ設定を以下の表に示します。

プリンタ設定		
COMM. (ユーザーが選択できる COM ポート設定)		
設定	デフォルト値	オプション値
ボーレート	9600	300 600 1200 9600 14400 19200 28800 32400 57600 115200
データ_ビット	8	7 8
パリティ	ナシ	ナシ グウスウ キスウ
フロー	DTR & XON/XOFF	XON/XOFF DTR & XON/XOFF DSR / DTR RTS / CTS
用紙 (表示のみ)		
設定	デフォルト値	オプション値
ヨウシ	キャップ	キャップ ハンシャシキ レシート
リホン	ジッコウ	ジッコウ チュウシ
プリント (表示のみ)		
設定	デフォルト値	オプション値
ソク	152.4 MM/SEC	50.8 MM/SEC 76.2 MM/SEC 101.6 MM/SEC 127 MM/SEC 152.4 MM/SEC
ZPL ソク	10.0	0.0 - 30.0

802.11 WLAN 設定

プログラム可能な 802.11 WLAN 設定を以下の表に示します。

802.11 WLAN 設定 (表示のみ)		
設定	デフォルト値	オプション値
IP_アドレス	000.000.000.000	
デフォルト_ゲートウェイ	000.000.000.000	
サブネット_マスク	000.000.000.000	
ムセン LAN セキュリティ	オープン	
ESS_ID	125	

Bluetooth 設定

プログラム可能な Bluetooth 設定を以下の表に示します。

Bluetooth 設定 (表示のみ)		
設定	デフォルト値	オプション値
ジュウシヨ		
タンサクカノウ	オン	オン/オフ
ニンシヨウ	オフ	オン/オフ



メモ • _____



メンテナンス

このセクションでは、定期的なクリーニングおよびメンテナンスの手順について説明します。

目次

クリーニング	86
印字ヘッドのクリーニング	87
用紙経路に関する考慮事項	88
プラテンのクリーニングと交換	90
プリンタのその他のメンテナンス	92
印字ヘッドの取替え	93

クリーニング

プリンタをクリーニングする場合は、必要に応じて次の消耗品のうち1つを使用してください。

清浄用消耗品	発注数	用途
清浄ペン (105950-035)	12本ずつのセット	印字ヘッドをクリーニングします。
綿棒 (105909-057)	25本ずつのセット	用紙の経路、ガイド、センサーをクリーニングします。

清浄用消耗品は、www.zipzebra.com で注文できます。

クリーニング作業は、次の手順概要に従うと2、3分で終わります。

プリンタ部品	方法	間隔
印字ヘッド	印字ヘッドを1分間冷却させてから、新しい清浄ペンで印字ヘッドの中央から外側まで印字ヘッド上の濃い色のラインを拭いてください。 87 ページの「印字ヘッドのクリーニング」 を参照してください	リボンの使用時：リボンを1ロール使い終わるたび。ダイレクト・サーマルの使用時：用紙を1ロール使い終わるたび。
プラテンローラー	クリーニングするプラテンローラーを取り外します。綿棒や糸くずの出ない布に90%の医療用アルコールをつけてローラーを十分にクリーニングしてください。 90 ページの「プラテンのクリーニングと交換」 を参照してください	必要に応じて
剥離バー 用紙経路	無繊維の綿棒に90%の医療用アルコールをつけて十分にクリーニングしてください。 アルコールを蒸発させて、プリンタを完全に乾かしてください。	
外部	水に浸した布	
内部	プリンタ内部のゴミをそっと払います。	



注意・ラベルの粘着物や用紙の素材は、用紙経路にあるプラテンや印字ヘッドなどに堆積してゆきます。この堆積にほこりや破砕が蓄積します。印字ヘッド、用紙経路、プラテンローラーなどを清潔にしないと、不測のラベル・ロスやラベル・ジャムが発生し、プリンタにも損傷を与える可能性があります。



重要・アルコールの量を多くしすぎると、電子部品に不純物が付着する原因となり、乾燥時間を長くしないとプリンタが正しく機能しなくなります。

印字ヘッドのクリーニング

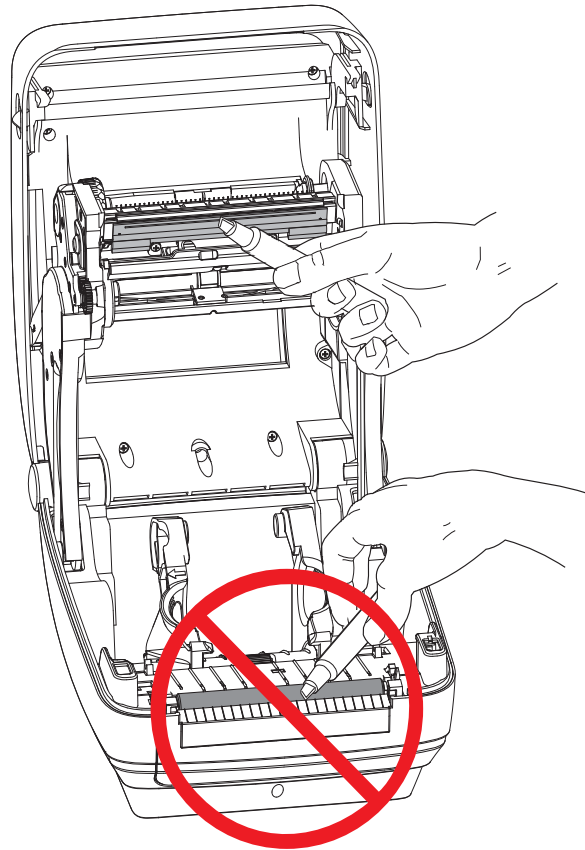
印字ヘッドには、常に新しい清浄ペンを使ってください（古いペンには、前に使用したときの汚れが残っていて、印字ヘッドを破損する恐れがあります）。



注意・印字ヘッドは印刷中、高温になります。印字ヘッドの破損や作業者のケガの危険を避けるため、印字ヘッドには触れないようにしてください。メンテナンスを行うときは、清浄ペンのみを使用してください。

新しい用紙を取り付けるときに、印字ヘッドをクリーニングすることもできます。

1. 印字ヘッドの色が濃い部分を清浄ペンでなめます。中央から外に向かってクリーニングします。これによって、用紙の端から用紙経路の外側の印字ヘッドまで粘着物を取り除かれます。
2. 1分間待ってからプリンタを閉じます。

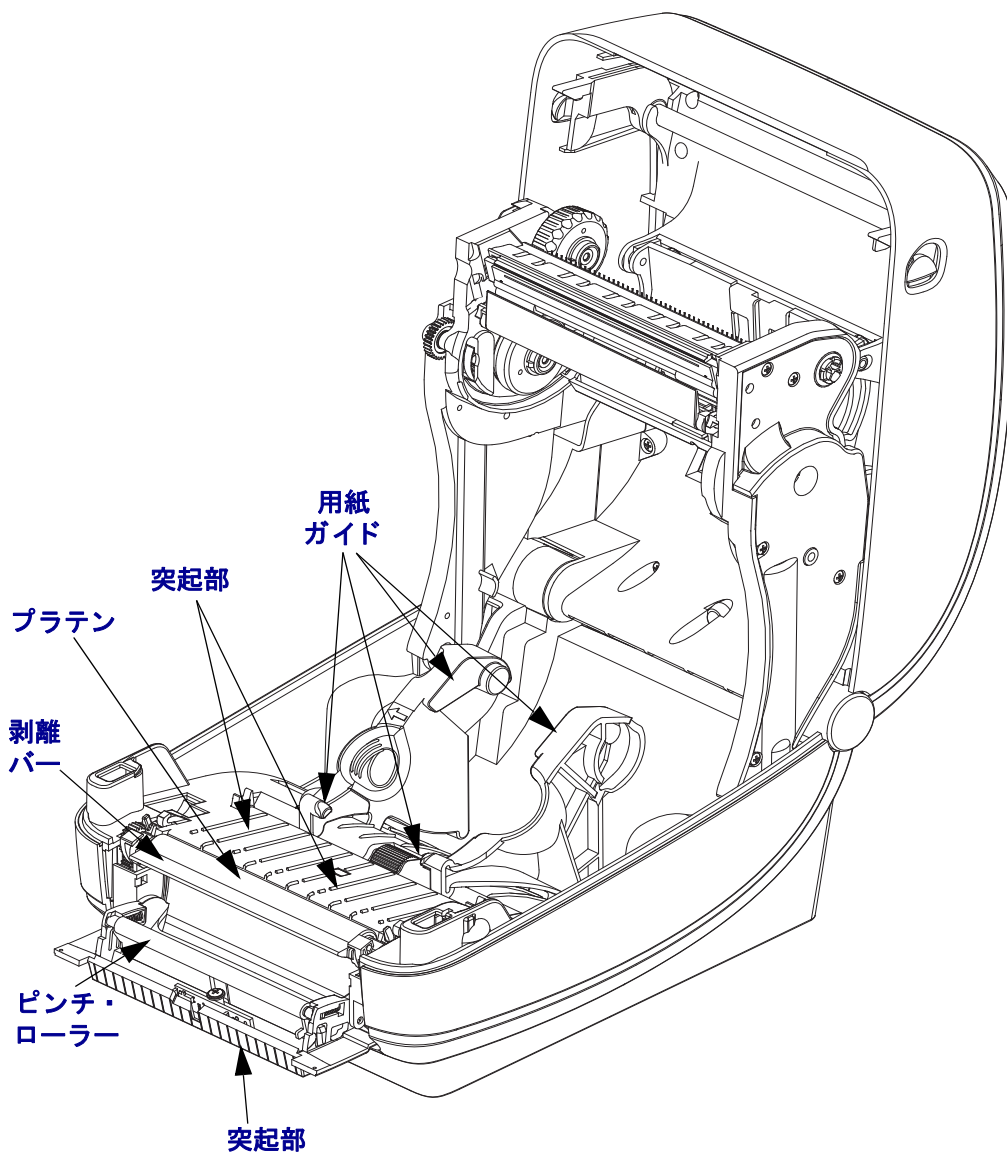


用紙経路に関する考慮事項

綿棒を使って、ホルダ、ガイド、用紙経路の表面に蓄積した破砕、ほこり、かけらなどを除去してください。

1. 綿棒にはアルコールをつけてください。破砕をアルコールに浸して粘着物を分離してください。
2. 突起部を拭いて、蓄積した破砕を取り除きます。
3. 両方のエッジ・ガイドの内側エッジを拭いて、蓄積した残留物を取り除きます。
4. 1分間待ってからプリンタを閉じます。

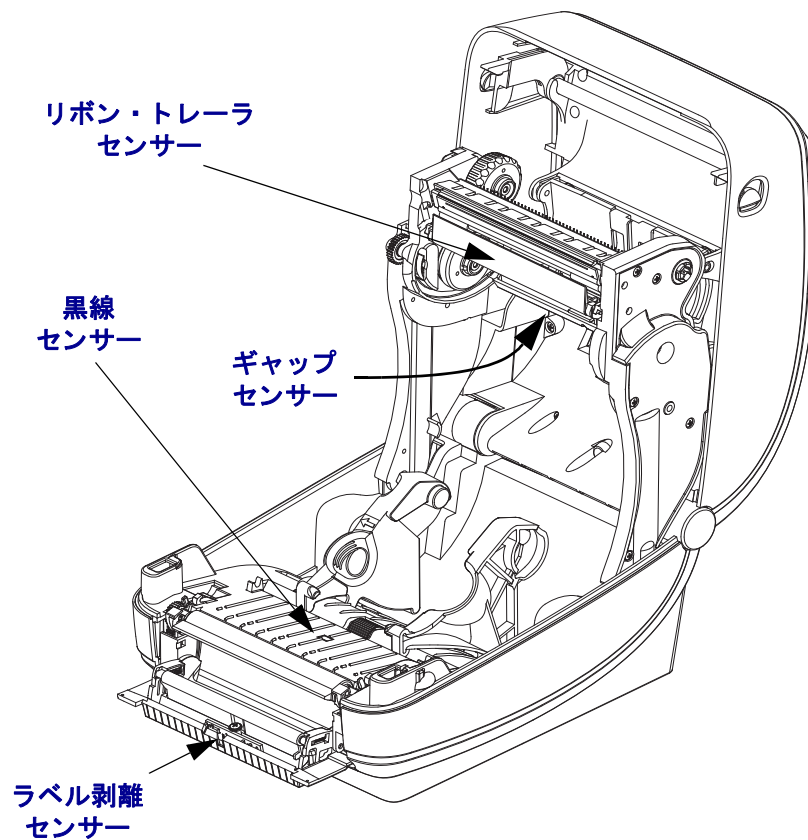
使用後は綿棒を破棄してください。



センサーのクリーニング

用紙センサーにはホコリが蓄積することがあります。

1. ホコリをそっとブラシで払います。必要な場合は、乾いた綿棒を使ってホコリをはらってください。接着剤などの不純物が残っている場合は、アルコールで湿らせた綿棒を使って分離します。
2. 最初のクリーニングからの残留物を取り除くには、乾いた綿棒を使ってください。
3. 残留物や筋がセンサーからなくなるまで、必要に応じて1と2の手順を繰り返します。



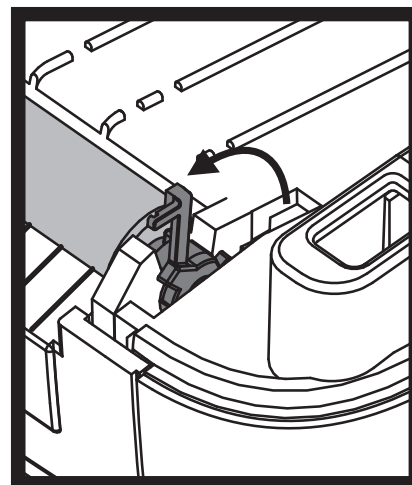
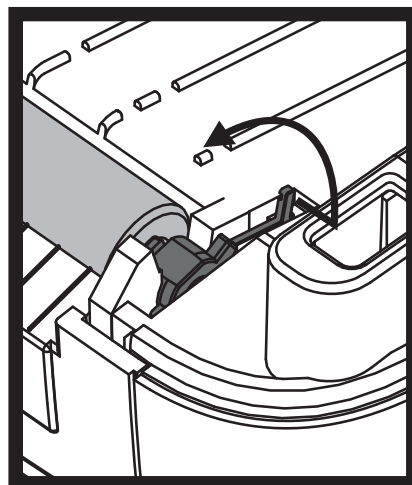
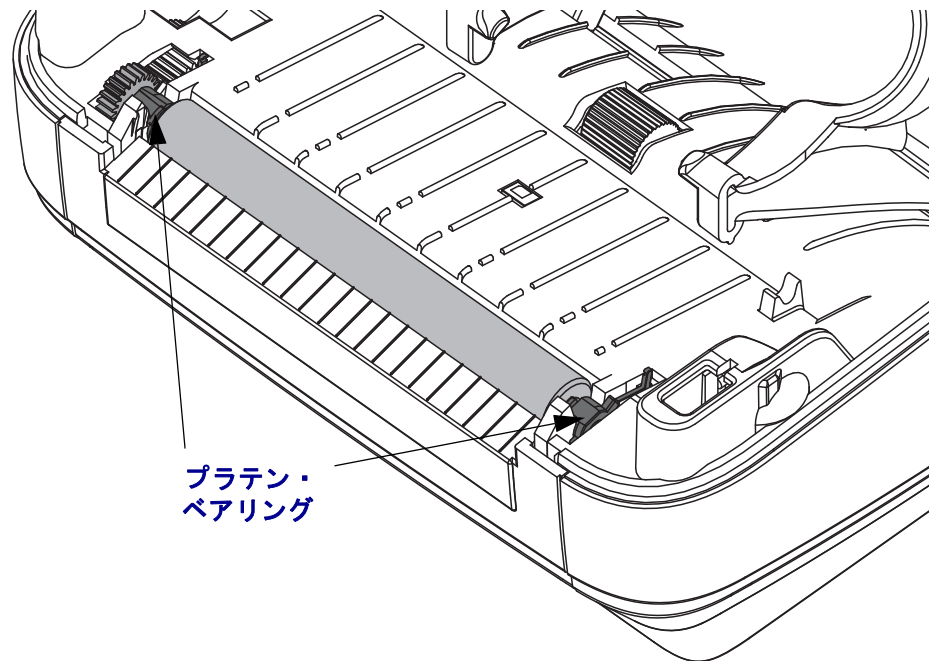
プラテンのクリーニングと交換

通常、標準プラテン（ドライブ・ローラー）はクリーニングが不要です。紙とライナーからのゴミは溜まっても印刷工程には影響しません。プラテンローラー上の汚れによって、印字ヘッドが破損したり、印刷の際に用紙が滑ったり詰まることがあります。粘着物、ゴミ（紙、ライナー以外からのもの）、ホコリ、油、その他の汚れなどは、直ちにプラテンから取り除いてください。

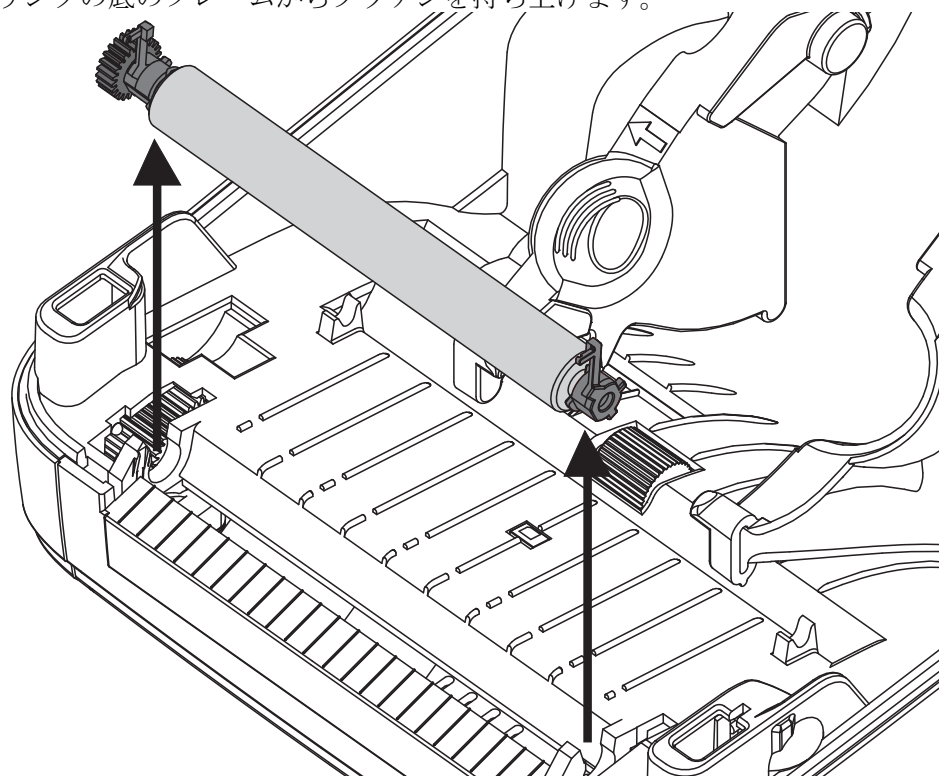
プリンタのパフォーマンス、印字品質、用紙処理が著しく悪化した場合は、プラテン（および用紙経路）をクリーニングしてください。プラテンは印刷面および用紙用のドライブ・ローラーです。クリーニングしたあとも粘着やジャムが続く場合は、プラテンを取り替えなければなりません。

無繊維布（Texpad 布など）か、リントフリーの清潔な湿らせた布を医療用アルコール（純度 90% 以上）で軽く湿らして、プラテンをクリーニングしてください。

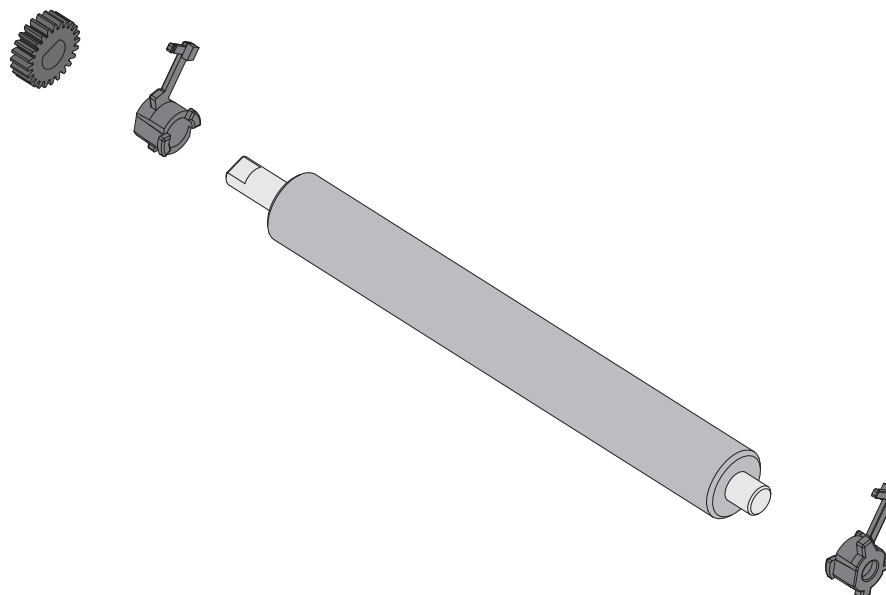
1. カバー（ディスペンサ・ドア）を開いてください。プラテン部分から用紙を取り除きます。
2. 左右のプラテンのベアリング・ラッチ解除タブをプリンタ前面に向かって引き、回転させます。



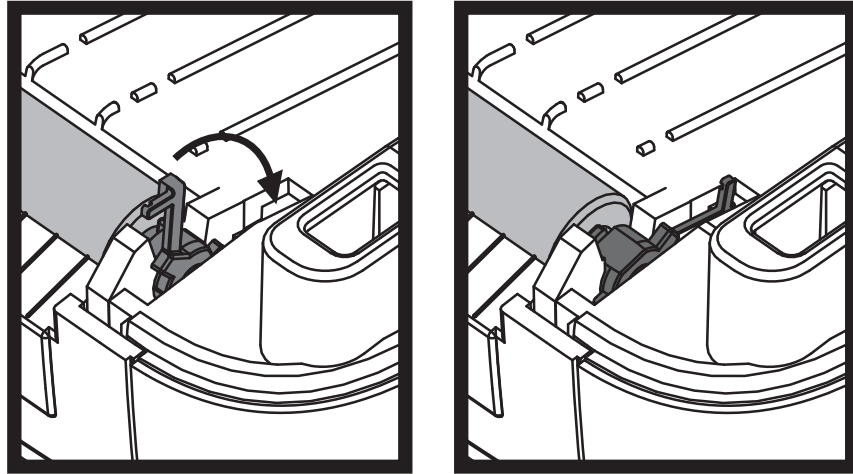
3. プリンタの底のフレームからプラテンを持ち上げます。



4. アルコールで湿らせた布でプラテンをクリーニングします。中央から外側に向かって拭きます。すべてのローラー表面をクリーニングし終わるまで、このプロセスを繰り返します。しつこい汚れの堆積やラベル・ジャムがあるときは、この作業を新しい布で2、3回繰り返して、残った汚れを取り除いてください。たとえば、粘着物や油は最初のクリーニングで薄くなるかもしれませんが、完全には取り除けません。
5. プラテンをプリンタに装着します。使用後は綿棒を破棄し、再利用しないでください。
6. プラテンのシャフト上にベアリングとドライブ・ギアがあることを確かめます。



7. プラテンを左側のギアに合わせて、プリンタの底のフレームに下ろします。
8. 左右のプラテンのベアリング・ラッチ解除タブをプリンタ背面に向かって下に回転し、定位置に固定します。



ディスペンサ・ドアや用紙カバーを閉じる前、またはラベルを挿入する前に、1分間プリンタを乾かしてください。

プリンタのその他のメンテナンス

このセクションで説明している以外のユーザー・レベルのメンテナンス手順はありません。プリンタやプリンタの問題の診断に関する詳細は、[99 ページの「トラブルシューティング」](#)を参照してください。

印字ヘッドの取替え

印字ヘッドを交換する必要がある場合は、実際に印字ヘッドを交換する前に、その手順を読んで取り外しと取り付けの手順について確認してください。



注意・作業エリアは静電気放電予防の準備をしてください。作業エリアでは、プリンタを適切にアースされた伝導性の緩衝マットの上に置き、作業者は伝導性のリスト・ストラップを付けて、静電防止状態にしておく必要があります。

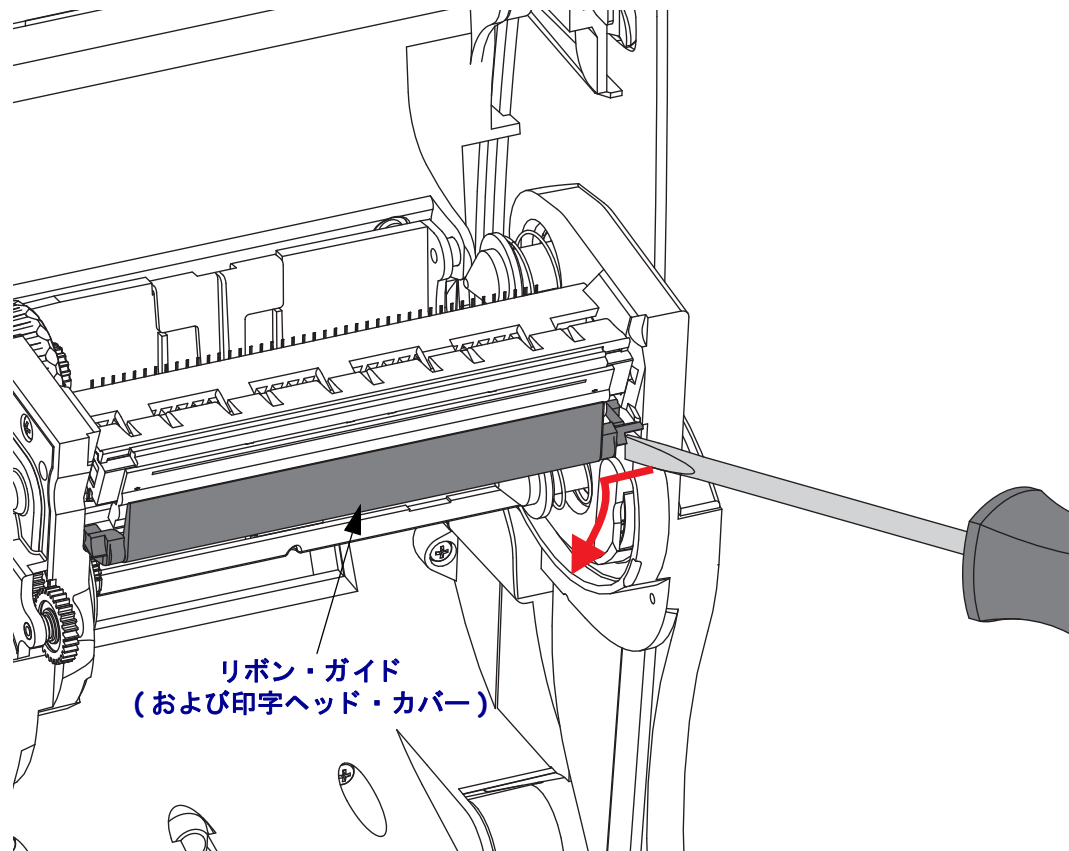


注意・印字ヘッドを取り替える前に、プリンタの電源を切って電源コードを抜いてください。

この手順のステップを始める前に、ラッチ解除レバーを前方に引いてトップカバーを上げプリンタを開いてください。

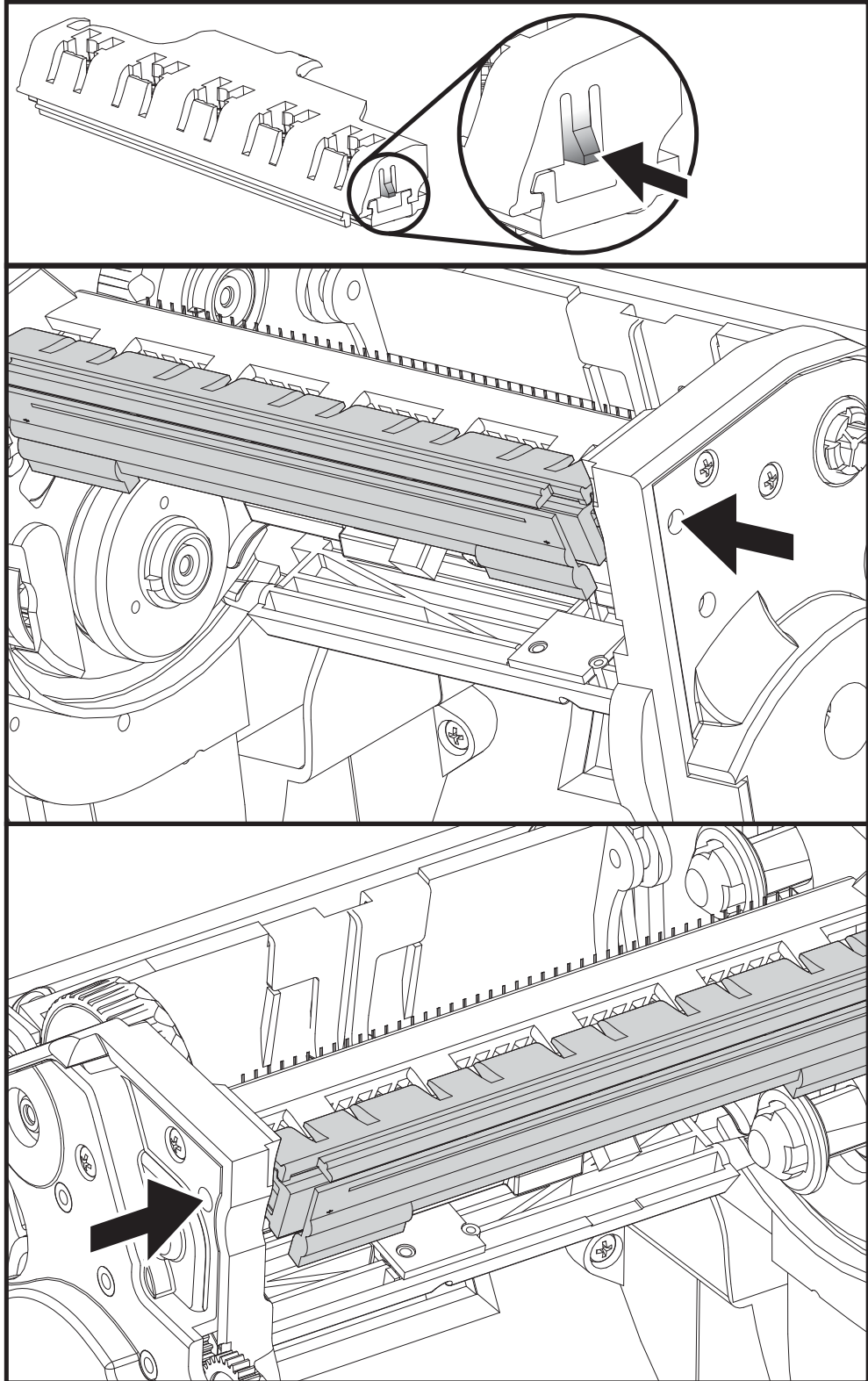
印字ヘッドの取り外し

1. プリンタを開きます。プリンタから熱転写リボンを取り出します。
2. 小型のマイナス・ドライバを使って、リボン・ガイドを取り外します。リボン・フレームからガイドの右側のタブをそっと外します。リボン・ガイドの左側を引き出します。

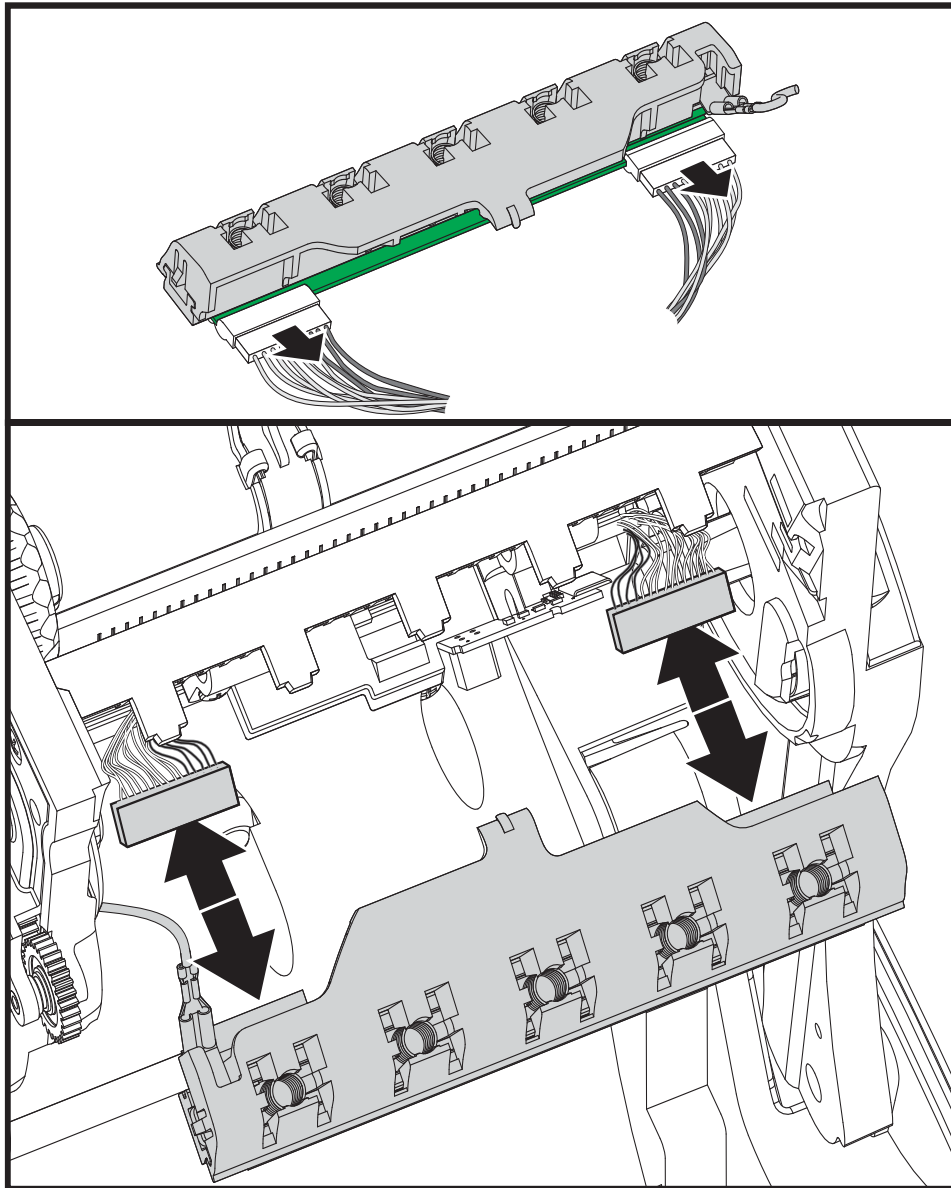


3. とがっていないツールで印字ヘッドの右側の解除タブを押し、続いて左側の解除タブを押します。直径が2.5～3.8mm(0.10～0.15インチ)のツールを使用することができます。

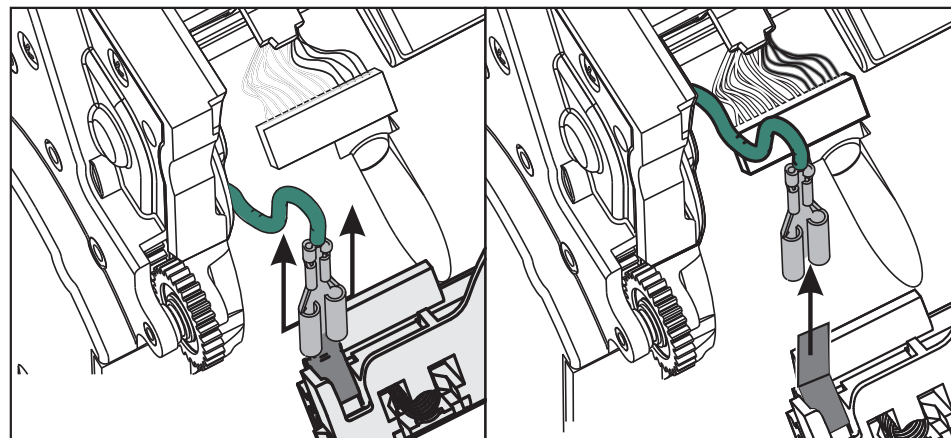
リボン・フレームの印字ヘッドの解除タブの(丸い)開口部にツールを挿入します。解除タブを押して、印字ヘッドのブラケットをそっと押し下げます。



4. 印字ヘッドから、2 束の印字ヘッドケーブルのコネクタをそっと、しかし確実に引き抜きます。

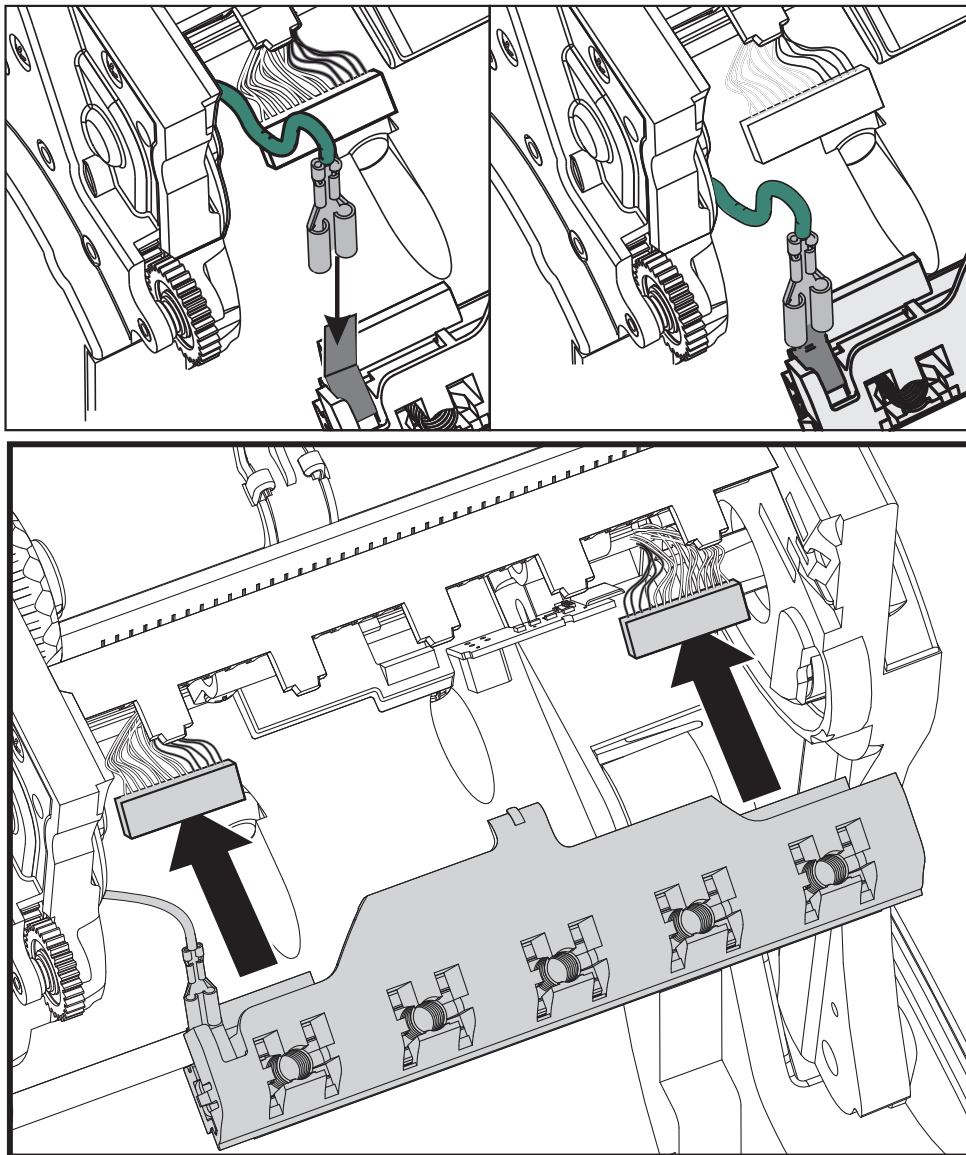


5. 印字ヘッドから緑のアース線をそっと、しかし確実に引き抜きます。

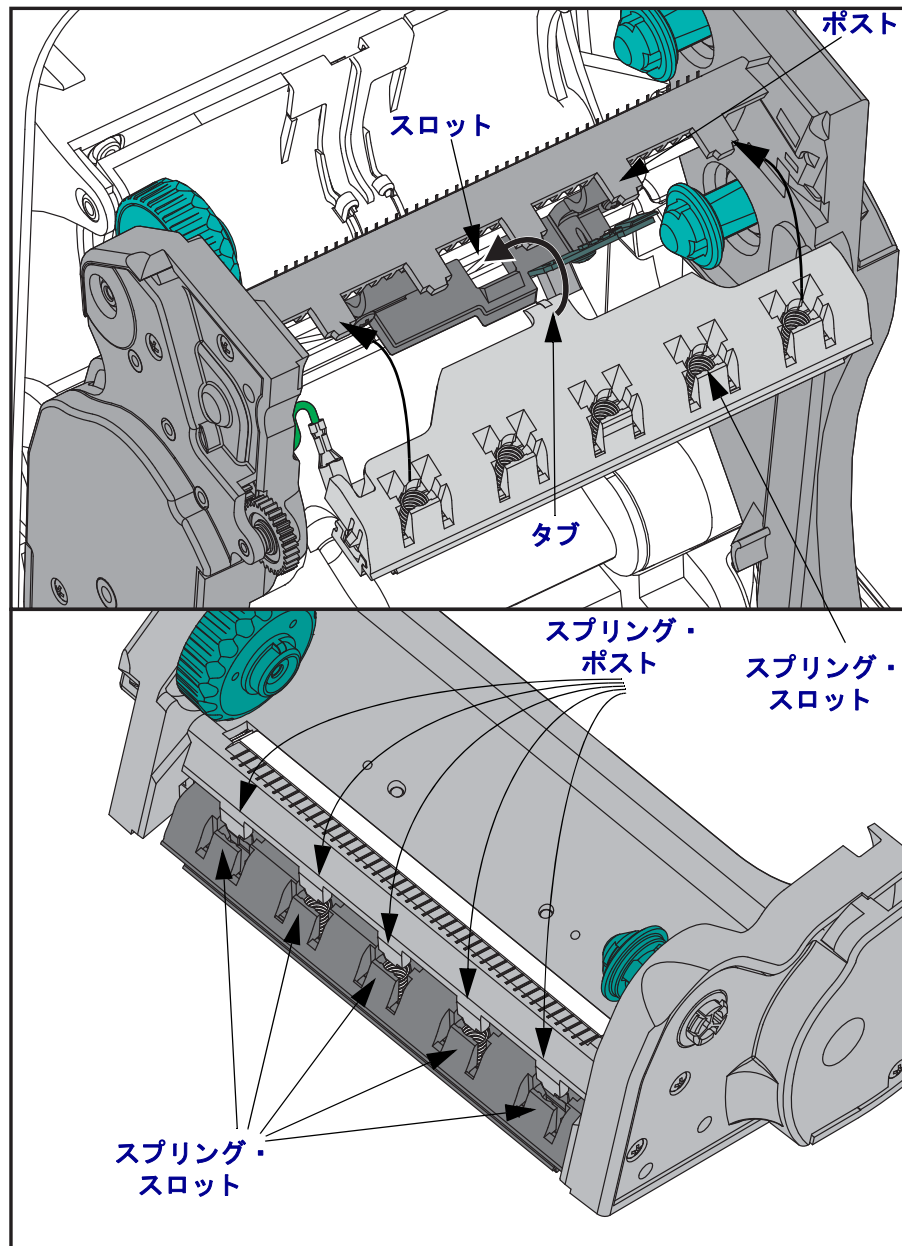


印字ヘッドの取替え

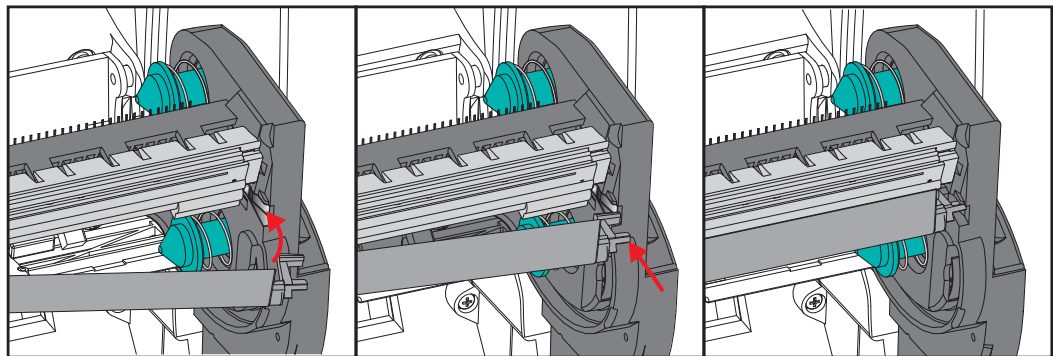
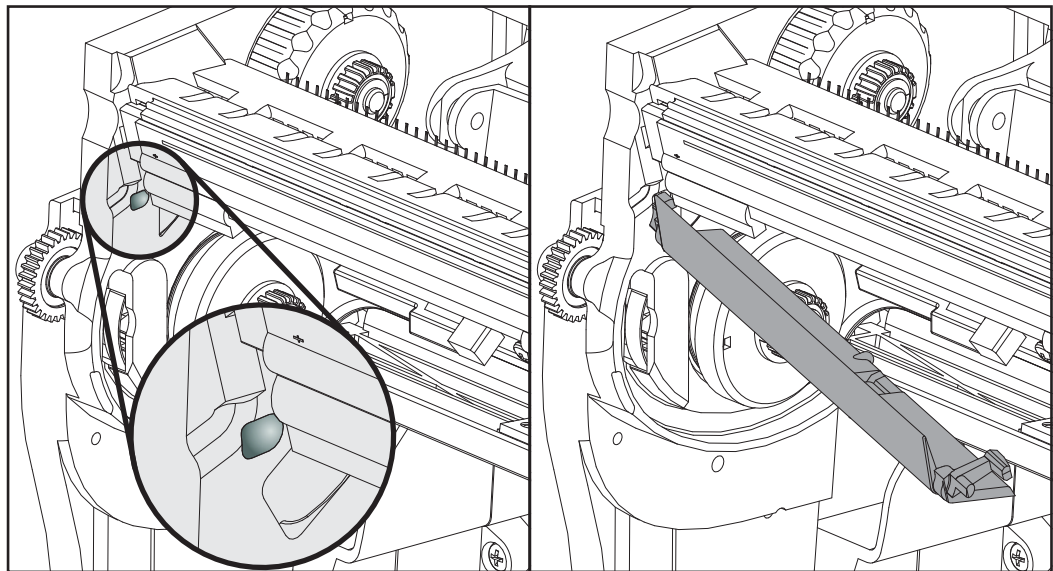
1. 左側の印字ヘッド・コネクタを印字ヘッドに押し込みます。コネクタは一方方向にしか挿入することができません。
2. 印字ヘッドに緑のアース線を挿入します。
3. 右側の印字ヘッド・コネクタを印字ヘッドに押し込みます。
4. アース線の束が印字ヘッドに接続されたままであることを確認します。



5. 印字ヘッドのブラケットのタブを、リボン・フレーム・アセンブリのスロットに押し込みます。印字ヘッド・スプリング・スロットを5つのポストに合わせて、印字ヘッドをリボン・フレームに固定します。



6. リボン・ガイドの左側を、リボン・フレーム内に配置します。リボン・ガイドの右側を回転させてスロットに挿入し、所定の位置に固定します。



7. 圧力をかけると、印字ヘッドが上下に自由に移動し、解除するとロックした状態を維持することを確認します。
8. 印字ヘッドをクリーニングします。新しいペンを使用して、本体の油脂（指紋など）や印字ヘッドの破砕を拭き取ります。印字ヘッドの中央から外に向かってクリーニングします。87 ページの「[印字ヘッドのクリーニング](#)」を参照してください。
9. 用紙を再装着します。電源コードを差し込み、プリンタをオンにし、ステータス・レポートを印刷して正常に作動するのを確かめます。23 ページの「[テスト\(プリンタ設定\)・ラベルの印刷](#)」を参照してください。



トラブルシューティング

このセクションでは、トラブルシューティングが必要なプリンタのエラー報告について説明します。各種診断テストも含まれています。

目次

ステータス・ランプの説明	100
ステータス・ランプのエラー解決方法	101
印字品質の問題	103
マニュアル・キャリブレーション	106
トラブルシュート・テスト	107
工場出荷時デフォルト値にリセット	108
通信診断	108
フィード・ボタン・モード	110

ステータス・ランプの説明

ステータス・ランプの見方		
LED のステータスと色	プリンタのステータス	解決方法については、 番号を参照してください。
オフ	オフ	1
緑色点灯	オン	2
琥珀色点灯	停止	3
緑色点滅	正常運転	4
赤色点滅	停止	5
緑色 2 回点滅	一時停止	6
琥珀色点滅	一時停止	7
緑と赤が交互に点灯	修理が必要	8
赤、赤、緑が点灯	修理が必要	9
赤、琥珀色、緑が点滅 (* - リセットしたり、電源をオフに しないでください！)	メモリ・デフラグ	10*

ステータス・ランプのエラー解決方法

次のステータス・ランプのエラー解決方法番号は、前のページのステータス・ランプの説明表に対応しています。各エラー番号には、リストにあるエラーを修正するための解決方法が1つまたは複数あります。

1. プリンタに電源が供給されていません。

- プリンタ電源をオンにしましたか？
- 壁のコンセントから電源供給装置まで、電源供給装置からプリンタまでの電源接続を調べてください。14ページの「電源の取り付け」を参照してください。
- 壁のコンセントからプリンタ・ケーブルを30秒間取り外し、コンセントにプリンタ・ケーブルを再度挿入します。

2. プリンタはオンですが、使用されていない状態です。

特に措置はいりません。

3. プリンタの立ち上がり自己テスト (POST) が失敗しました。

- プリンタをオンにした直後にこのエラーが発生した場合には、販売会社に修理を要求してください。プリンタが正常に作動している場合、プリンタのステータス・ランプは約10秒間琥珀色になり、その後、緑に変化します(点灯したまま、または点滅)。

メモリ・エラーが発生しています。

- 印刷しているときにこのエラーが発生した場合は、プリンタの電源を切ってからまた入れて、印刷を再開してください。

プリンタを冷却する必要があります。

- このエラーが続く場合は、プリンタの電源を5分以上切って、再度電源を入れます。琥珀色のランプがまだ点灯しているようなら、プリンタの修理が必要です。

4. プリンタはデータを受信中です。

- データの受信がすべて終了したら、ステータス LED は緑色に変わります。その後、自動的にプリンタの運転が再開します。

5. 用紙切れです。

- 「プリンタを使用する前に」のセクションの **15 ページ**の「**ロール紙の装着**」の手順を実行後、フィード・ボタンを押して、印刷を再開します。

リボンがなくなりました。

- プリンタはリボン・ロールの終了を検出しました。リボンを交換します。

印字ヘッドが開いています。

- トップカバーを閉じて、フィード・ボタンを押して印刷を再開します。

6. プリンタが一時停止しています。

- フィード・ボタンを押して印刷を再開してください。

7. 印字ヘッドが高温になっています。

- 印字ヘッドが許容印刷温度に下がるまで、印刷が停止します。下がったら、自動的にプリンタの運転が再開します。

8. フラッシュ・メモリがプログラムされていません。

- プリンタを販売会社に返却してください。

9. 印字ヘッドまたはモーターに重大な障害が発生しました。

- プリンタを販売会社に返却してください。

10. プリンタでメモリのデフラグを実行中です。

注意・デフラグ中は、プリンタの電源をオフにしないでください。実行中に電源を切ると、プリンタが破損することがあります。

- デフラグはプリンタの通常の操作で、最適に使用するためメモリ・スペースを管理するのに必要です。プリンタは、工場出荷時デフォルト設定後と、デフラグが必要であるとプリンタが検出したときに、メモリをデフラグします。

プリンタがこの状態の場合、デフラグを最後まで完了させてください。この警告が頻繁に起こる場合は、ラベル・フォーマットを確認します。メモリの書き込み、消去を頻繁に繰り返し行うフォーマットでは、プリンタのデフラグ頻度が高くなります。メモリの書き込み / 消去の頻繁な繰り返しを行わないフォーマットを使用すると、デフラグの必要性が最小限に抑えられます。

- この警告状態が続く場合は、技術サポートに連絡してください。プリンタの点検が必要です。

印字品質の問題

ラベルに印刷されません。

- リボンを使用しないで印刷する場合（熱転写など）は、感熱用紙以外を使用しません。感熱用紙ではない可能性があります。39 ページの「[感熱性の用紙のタイプの特定](#)」のテスト手順を参照してください。
- 熱転写プリンタの場合は、外巻きの用紙は使用できません。G シリーズ・プリンタ用に承認されたものを使用してください。次のリボン・テスト手順を参照してください。42 ページの「[リボンの粘着性テスト](#)」および 43 ページの「[リボンのスクラッチ・テスト](#)」。
- 用紙は正しく取り付けられていますか？「プリンタを使用する前に」のセクションの 15 ページの「[ロール紙の装着](#)」にある説明に従ってください。熱転写用リボンを使って印刷する場合は、19 ページの「[熱転写リボンの装着](#)」を参照してください。

印刷画像が異常です。

- 印字ヘッドが汚れています。印字ヘッドをクリーニングします。
- 印字ヘッドが低温になっています。
- 印刷濃度と印刷速度（あるいはその両方）を調整してください。
 - 『ZPL プログラミング・ガイド』に記載の **^PR**（速度）および **~SD**（濃度）コマンドを使用してください。
 - 『EPL プログラム・ガイド』に記載の **D**（濃度 / 密度）および **S**（速度）コマンドを使用してください。
 - 110 ページの「[フィード・ボタン・モード](#)」に記載の 6 回点滅シーケンスを使って、手動で印字濃度を調整します。
 - Windows のプリンタ・ドライバまたはアプリケーション・ソフトウェアはこの種の設定を変更してしまうので、印刷品質の最適化を行うには変更が必要です。
- 使用中の用紙は、プリンタと不適合です。アプリケーションに適切な用紙を必ず使用してください。常に Zebra が認証したラベルとタグを使ってください。
- プリンタに使用されている電源が、100 ワットの DC 定格出力であることを確認します。
- 印字ヘッドが磨耗しました。印字ヘッドは消耗品で、用紙と印字ヘッドの間の摩擦によって磨耗します。承認されていない用紙を使用すると、印字ヘッドの寿命が短くなったり、損傷することがあります。印字ヘッドを交換してください。
- プラテンのクリーニングまたは交換が必要な可能性があります。以下の理由で、プラテン（ドライバ）・ローラーがまっすぐ動作していない可能性があります。
 - 表面に異物が付着している、
 - ゴムの表面が研磨され、すべりやすくなった、または
 - カッターなどによって、通常は平坦な印字表面に傷が付いた。

ラベル上に縦線状の印刷ヌケがあります。

- 印字ヘッドが汚れています。印字ヘッドをクリーニングします。
- 印字ヘッド・エレメントが損傷しています。

印刷がラベルの印字基点から開始しないか、1 から 3 枚程ラベルが誤印刷されます。

- 用紙が正しく通っていない可能性があります。「プリンタを使用する前に」のセクションの [15 ページの「ロール紙の装着」](#)にある説明に従ってください。
- プリンタをキャリブレートする必要があります。このセクションの [110 ページの「フィード・ボタン・モード」](#)に記載された 2 回点滅シーケンスを参照してください。
- ZPL ラベル・フォーマット - 正しい用紙センサーが有効になっていない可能性があります。マニュアル・キャリブレートで、使用中のラベルの用紙検知方法を選択します (『ZPL プログラミング・ガイド』の **^MN** コマンドを参照)。
- ZPL ラベル・フォーマット - Y 印字基点 (**^LT**) コマンドがアプリケーションに対して正しくセットされているか確認してください (『ZPL プログラミング・ガイド』を参照)。
- EPL ラベル・フォーマット - ラベルの取り外し、黒線または切れ込み検知、ギャップ/透過式検知用の正しい用紙センサーが有効になっていない可能性があります。マニュアル・キャリブレートで、使用中のラベルの用紙検知方法を選択します (『EPL プログラマ・ガイド』の **O** および **Q** コマンドを参照)。
- EPL ラベル・フォーマット - ラベル長の設定 (**Q**) コマンドが用途に応じて正しく設定されていることを確認します (『EPL プログラマ・ガイド』を参照)。

ZPL ラベル・フォーマットが送信されていますが、プリンタで認識されません。

- プリンタは一時停止モードになっていませんか？その場合は、フィード・ボタンを押してください。
- ステータス LED がオンまたは点滅している場合は、[100 ページの「ステータス・ランプの見方」](#)を参照してください。
- データ・ケーブルが正しくインストールされているのを確認してください。
- 通信上の問題が発生しています。まず、コンピュータで正しい通信ポートが選択されているのを確認します。「プリンタを使用する前に」のセクションの [26 ページの「コンピュータへのプリンタの接続」](#)を参照してください。
- プリンタ上の正しいフォーマットおよびコントロール・プレフィックスが、ZPL プログラミング・ラベル・フォーマットで使用しているものと一致していることを確認します。デフォルト・フォーマット (COMMAND CHAR) はキャレット (^) 文字で、コントロール (CONTROL CHAR) はチルド (~) 文字です。設定ステータス・ラベルの印刷結果で文字を確認します。[110 ページの「フィード・ボタン・モード」](#)に記載された 1 回点滅シーケンスを参照して、このラベルを印刷します。

EPL ラベル・フォーマットが送信されていますが、プリンタで認識されません。

- プリンタは一時停止モードになっていませんか？その場合は、フィード・ボタンを押してください。
- プリンタによるラベル・ディスペンサが有効な場合、プリンタはラベルが取り外されるのを待っている可能性があります。ライナー / 透過式用紙をラベル・ディスペンサ・メカニズム (ピーラ) に正しく通しておかないと、ラベル・ディスペンサ・モードが正しく機能しません。詳細は [54 ページの「ラベル・ディスペンサ・オプション」](#) を参照してください。
- ステータス LED がオンまたは点滅している場合は、[100 ページの「ステータス・ランプの見方」](#) を参照してください。
- データ・ケーブルが正しくインストールされているのを確認してください。
- 通信上の問題が発生しています。まず、コンピュータで正しい通信ポート (USB) が選択されていることを確認します。「プリンタを使用する前に」のセクションの [26 ページの「コンピュータへのプリンタの接続」](#) を参照してください。

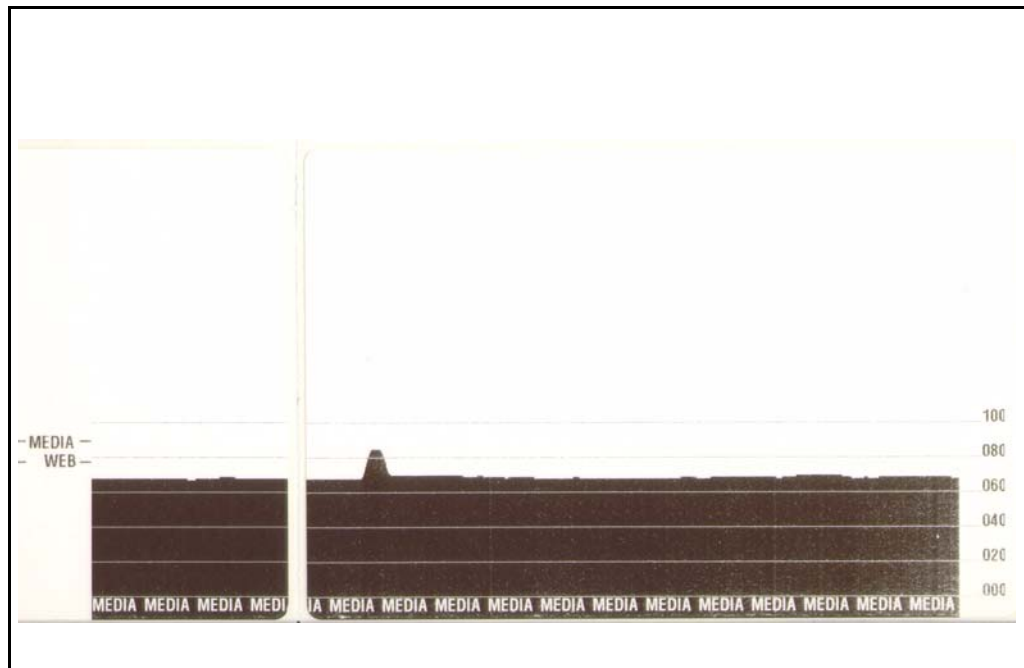
マニュアル・キャリブレート

事前に印刷されている用紙を使用する場合、またはプリンタが正しく自動キャリブレートしない場合には、マニュアル・キャリブレートをお勧めします。

1. 用紙が装着されているのを確かめます。
2. プリンタ電源を入れます。
3. 緑色のステータス・ランプが1度、2度、そして7度点滅するまでフィード・ボタンを押したままにしてください。フィード・ボタンを離してください。
4. 使用されているラベルのライナーに対する用紙センサーがセットされます。この調整が完了すると、ラベルが印字ヘッドの位置に来るまでロールが自動的に進みます。用紙センサー設定のプロファイル(下の例のような)が印刷されます。完了すると、新規の設定がメモリに保存されて、プリンタの正常運転が可能になります。
5. フィード・ボタンを押します。ブランク・ラベルが1枚、送られます。ブランク・ラベルが送られない場合は、デフォルト値に戻して(この章で後述する「フィード・ボタン・モード」の4回点滅シーケンスを参照)プリンタを再キャリブレートしてください。



注記・ マニュアル・キャリブレートを実行すると、自動キャリブレート機能が無効になります。自動キャリブレートに戻るには、プリンタをデフォルト値に戻します(このセクションの [110 ページ](#)の「[フィード・ボタン・モード](#)」にある4回点滅シーケンスを参照)。



トラブルシュート・テスト

設定ラベルの印刷

プリンタの現在の設定のリストを印刷するには、このセクションで後述する 110 ページの「フィード・ボタン・モード」の 1 回点滅シーケンスを参照してください。このラベルを解釈するには、123 ページの「付録:ZPL の設定」を参照してください。

PRINTER CONFIGURATION	
Zebra Technologies ZTC GX420t	
10.0.....	DARKNESS
6 IPS.....	PRINT SPEED
+000.....	TEAR OFF
TEAR OFF.....	PRINT MODE
GAP/NOTCH.....	MEDIA TYPE
WEB.....	SENSOR TYPE
AUTO.....	SENSOR SELECT
THERMAL-TRANS.....	PRINT METHOD
832.....	PRINT WIDTH
1236.....	LABEL LENGTH
39.0IN 989MM.....	MAXIMUM LENGTH
NOT CONNECTED.....	USB COMM.
BIDIRECTIONAL.....	PARALLEL COMM.
9600.....	BAUD
8 BITS.....	DATA BITS
NONE.....	PARITY
DTR & XON/XOFF.....	HOST HANDSHAKE
NONE.....	PROTOCOL
AUTO.....	SER COMM. MODE
LINER/TAG FULL.....	CUTTER TYPE
<~> 7EH.....	CONTROL CHAR
<^> 5EH.....	COMMAND CHAR
<.> 2CH.....	DELIM. CHAR
ZPL II.....	ZPL MODE
NO MOTION.....	MEDIA POWER UP
FEED.....	HEAD CLOSE
DEFAULT.....	BACKFEED
+000.....	LABEL TOP
+0000.....	LEFT POSITION
NO.....	HEXDUMP
043.....	WEB S.
096.....	MEDIA S.
009.....	WEB GAIN
050.....	MARK S.
015.....	MARK GAIN
095.....	MARK MED S.
032.....	MARK MEDIA GAIN
095.....	CONT MEDIA S.
007.....	CONT MEDIA GAIN
075.....	RIBBON OUT
040.....	RIBBON GAIN
066.....	TAKE LABEL
CWF.....	MODES ENABLED
.....	MODES DISABLED
832 8/MM FULL.....	RESOLUTION
V56.17.7Z <-.....	FIRMWARE
1.3.....	XML SCHEMA
V25.00.0207.....	HARDWARE ID
CUSTOMIZED.....	CONFIGURATION
2104k.....R:	RAM
65536k.....B:	OPTION MEMORY
1536k.....E:	ONBOARD FLASH
NONE.....	FORMAT CONVERT
DISABLED.....	ZBI
2.1.....	ZBI VERSION
4.986 IN.....	LAST CLEANED
4.986 IN.....	HEAD USAGE
4.986 IN.....	TOTAL USAGE
4.986 IN.....	RESET CNTR1
4.986 IN.....	RESET CNTR2
TOP-04.....	SERIAL NUMBER
MAINT. OFF.....	EARLY WARNING
FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED	

再キャリブレート

ラベルがスキップするなど、異常な兆候が現れた場合は、プリンタを再キャリブレートしてください。このセクションの 110 ページの「フィード・ボタン・モード」に記載された 2 回点滅シーケンスを参照してください。

工場出荷時デフォルト値にリセット

プリンタを工場デフォルトにリセットすると、問題が解決する場合があります。このセクションの [110 ページの「フィード・ボタン・モード」](#) に記載された 4 回点滅シーケンスを参照してください。

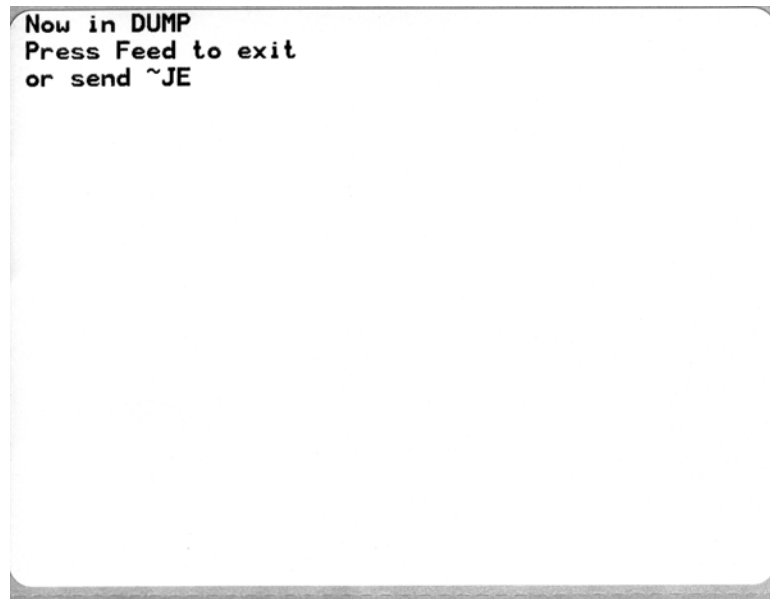
通信診断

コンピュータとプリンタの間のデータ転送に問題がある場合は、プリンタを通信診断モードにしてください。プリンタは、ホスト・コンピュータから受信したデータの ASCII 文字とそれに対応する 16 進値を印刷します (以下にサンプルを表示)。次の手順に従ってください。

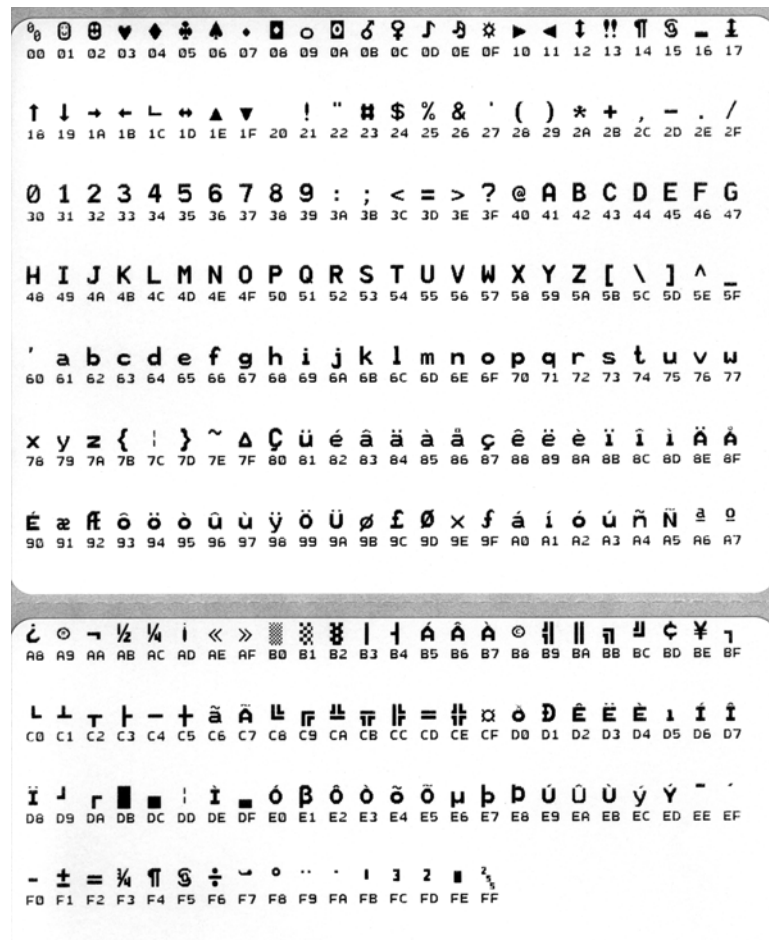
16 進データ・ダンプ・モードに入るにはいくつかの方法があります。

- `~JD ZPL` コマンドを使用する方法
- `dump EPL` コマンドを使用する方法
- 起動時に、フィード・ボタンを押します。このセクションの [110 ページの「フィード・ボタン・モード」](#) に記載された電源オフ・モードの手順を参照してください。

プリンタは「Now in DUMP (DUMP 中)」(以下参照) を印刷し、次のラベルの Y 印字基点に進みます。



以下は、通信 DUMP モードの印刷結果の一例です。印刷結果には、16 進データ 00h-FFh (0-255 10 進数) が表示されており、各 16 進値に対応する一意の文字がその 16 進値の上に表示されています。



データ行の間の空白行には、シリアル・ポートと Bluetooth データ処理エラーが記録されます。以下のようなエラーがあります。

- F=フレーム・エラー
- P=パリティ・エラー
- N=ノイズ・エラー
- O=データ・オーバーラン・エラー

診断モードを終了して印刷に戻るには、プリンタの電源を切ってからまた入れます。診断モードを終了するもう 1 つの方法は、プリンタのコマンド・バッファがクリアされ、Out of DUMP (DUMP 終了) がラベルに印刷されるまで、フィード・ボタンを押し続ける方法です。



フィード・ボタン・モード

電源オフ・モード	
プリンタの電源を切った状態で、電源をオンにしながらいード・ボタンを押したまま保持します。	
点滅シーケンス	操作
琥珀色と赤色が点滅	<p>ファームウェア・ダウンロード・モード - プリンタが高速で赤色点滅を開始すると、ファームウェア・ダウンロード・モードに入ったことを示します。フィード・ボタンを放すと、ダウンロードのためにプリンタの初期化を開始します。ステータス・ランプが赤と緑に交互にゆっくり点滅するようになると、プリンタはファームウェアのダウンロードを開始する準備ができたことを示します。</p> <p>このプリンタに付属のファームウェア (およびファイル) のダウンロード・ユーティリティの使用法に関する詳細は、51 ページの「プリンタへのファイル送信」を参照してください。お使いのプリンタのファームウェアの更新が提供されている場合は、以下の弊社 Web サイトの Zebra に掲載されます。 www.zebra.com</p>
琥珀色	<p>通常操作モード - プリンタは通常のプリンタ初期化作業を継続します。ここでフィード・ボタンを放すと、ファームウェアはダウンロードせず、通信診断モードでの操作も行わずに、通常の起動が行われます。</p>
緑色	<p>通信診断 (ダンプ) モード - プリンタのステータス・ランプが緑になってすぐにフィード・ボタンを放します。プリンタはラベルの Y 印字基点に「Now in DUMP (DUMP 中)」と印刷し、次のラベルに進みます。最初のラベルを印刷した後、プリンタは自動的に診断モードに入り、続いて受信したすべてのリテラル・データを印刷します。</p> <p>診断モードを終了して印刷に戻るには、プリンタの電源を切ってからまた入れます。診断モードを終了するもう 1 つの方法は、プリンタのコマンド・バッファがクリアされ、「Out of DUMP (DUMP 終了)」がラベルに印刷されるまで、フィード・ボタンを押し続ける方法です。</p>

電源オン・モード

プリンタの電源がオンでトップカバーが閉じている状態で、フィード・ボタンを押したまま数秒間保持します。緑色のステータス LED が数回連続で点滅（フラッシュシーケンス）します。右側の説明（点滅シーケンスに対する操作）には、特定の回数を最初に点滅させてボタンを放したときに、次の点滅シーケンスが開始する前に起こる内容が示されています。

点滅シーケンス	操作
*	設定ステータス - 詳細なプリンタ設定ステータス・ラベルを印刷します。このラベルは、印刷の検証、プリンタとコンピュータの通信設定のサポート、保守、トラブルシューティング、カスタマ・サポート業務で使用することができます。
* ** ***	標準の自動用紙キャリブレーション - プリンタは用紙タイプや用紙の長さを検出、設定します。また、装着した用紙への印字性能を最大限高めるために、用紙センサーを調整します（ZPL コマンド <code>~JC</code> に相当）。キャリブレーション中にプリンタが1～4枚のラベルをフィードします。 <i>注記</i> ：Zebra EPL デスクトップ・プリンタを使い慣れたユーザーは、起動時の AutoSense キャリブレーションの代わりにこのフィード・モードを使用します（EPL コマンド <code>XA</code> に相当）。
* ** ***	シリアル・ポートの設定 - シリアル・インターフェイス・ポートのあるプリンタにのみ適用されます。 フロー・コントロール以外のシリアル・ポート通信パラメータを再設定するには、LED が高速で琥珀色と緑色に点滅している間に、フィード・ボタンを押して放します。 自動ポー同期化：LED が高速で琥珀色と緑色に点滅している間に、 <code>^XA^XZ</code> コマンド・シーケンスをプリンタに送信します。プリンタとホストが同期化されると、LED が緑色の持続点灯に変わります。注記：（自動ポー同期中は、ラベルが印刷されません。）
* ** *** ****	工場出荷時デフォルト - プリンタを工場出荷時デフォルト設定にリセットします（ZPL コマンド <code>^JUN</code> に相当）。主な設定とそれに関連する ZPL コマンドについての説明は、123 ページの「付録：ZPL の設定」を参照してください。設定の中には、出荷時の初期設定に戻らないものがあります。プログラミングによって独自に設定、表示、制御される他の設定もリセットされます。標準的な用紙キャリブレーションを実行し、次にメモリ・デフラグ手順を実行します。 プリンタが工場出荷時デフォルト・モードに入ると 、ステータス・ランプが3秒間、琥珀色になります。この間に、以下の2つを行ってください。何もしないとプリンタは上記のように工場出荷時デフォルトを自動的にリセットします。または、フィード・ボタンを押したままにすると、ネットワーク・プリンタ・オプション付きのプリンタに対応する工場出荷時デフォルト・リセット・モードになります（ZPL コマンド <code>^JUF</code> に相当）。最初の点滅の後にボタンを放すと、ネットワーク工場オプションのみをリセットします（ZPL コマンド <code>^JUN</code> に相当）。2番目の点滅シーケンス（2回の点滅）後にボタンを放すと、プリンタ・デフォルトのみをリセットします。3番目の点滅シーケンス（3回の点滅）の後にボタンを放すと、プリンタとネットワーク設定の両方をリセットします（ZPL コマンド <code>^JUN</code> および <code>^JUF</code> に相当）。
* ** *** **** *****	印刷幅調整 - 最小印刷幅で始まり、プリンタの最大印刷幅で終わる 4mm ずつ増分する連続ボックスを印刷します。プリンタが該当する最大印字幅に達したら、フィード・ボタンを1度押します。プリンタ・ドライバとアプリケーションによって、この設定を無効にすることができる点に注意してください。
* ** *** **** ***** *****	印字濃度（密度）調整 - 最低濃度（印字密度 / 温度）から始まり、プリンタの最高濃度までを、ZPL 濃度設定範囲値を使用して、4 ずつ増分し、連続するバーコード・シミュレーション・パターンを印刷します。パターンが正しく印刷されたらフィード・ボタンを押します。濃度設定を連続的に上げないでください。上げ続けるとバーコードの線がゆがみ、読み取りにくくなります。プリンタ・ドライバとアプリケーションによって、この設定を無効にすることができる点に注意してください。
* ** *** **** ***** *****	用紙のマニュアル・キャリブレーション - プリンタは詳細なテストを実行して、用紙タイプと用紙の長さを検出、設定します。また、装着された用紙の印刷性能を最大限高めるために、用紙センサーを調整します（ZPL コマンド <code>~JG</code> に相当）。事前に印刷されている用紙を使用する場合、ライナーに印刷する場合、またはプリンタが正しく自動キャリブレーションしない場合には、マニュアル・キャリブレーションをお勧めします。用紙センサーのグラフィカル・プロファイルが印刷されます。詳細および注意点については、106 ページの「マニュアル・キャリブレーション」を参照してください。

7 回の点滅シーケンス・サイクルを終えた後もフィード・ボタンを押し続けると、フィード・ボタンを放したときにプリンタが設定モードを終了します。



メモ・ _____



付録：インターフェイス配線

このセクションでは、プリンタのインターフェイス接続に関する情報をお伝えします。

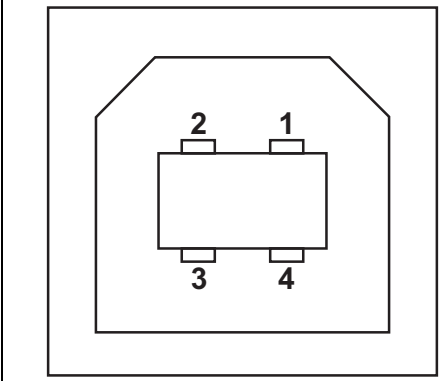
目次

USB (ユニバーサル・シリアル・バス) インターフェイス	114
パラレル・インターフェイス	115
イーサネット・インターフェイス	116
シリアル・ポート・インターフェイス	117

USB (ユニバーサル・シリアル・バス) インターフェイス

下の図はプリンタの USB インターフェイスに必要なケーブル配線を表示したものです。

プリンタには、USB 2.0 への準拠を保証する「Certified USB™」マークのあるケーブルまたはケーブル・パッケージが必要です。

	ピン	信号
	1	Vbus - N/C
	2	D-
	3	D+
	4	グラウンド
	シールド	シールド / 排電ワイヤ

プリンタがサポートするオペレーティング・システムおよびドライバに関しては、ソフトウェアとマニュアルの CD を参照するか、または次の Zebra Web サイトにアクセスしてください。

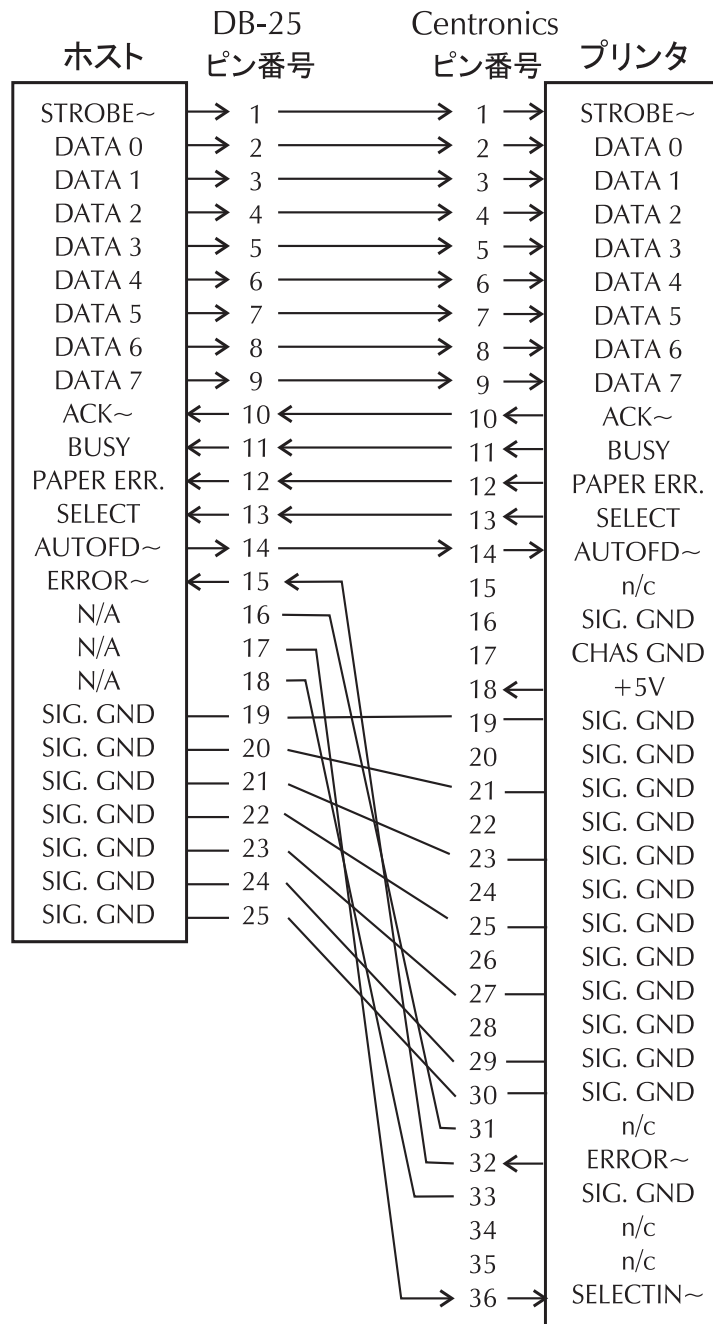
<http://www.zebra.com>

USB インターフェイスの詳細については、次の USB Web サイトにアクセスしてください。

<Http://www.usb.org>

パラレル・インターフェイス

プリンタの平行・インターフェイスは、IEEE 1284-A to 1284-B 平行・インターフェイス・ケーブルを使用します。ホスト・コネクタには DB-25 ピン・オス・コネクタがあります。このプリンタ・コネクタは Centronics 型コネクタです。G シリーズ・プリンタの初期モデルでは、ホスト接続側 (IEEE 1284-A to 1284-A 平行・ケーブル) だけでなく、プリンタ側にも DB-25 ピン・コネクタがありました。



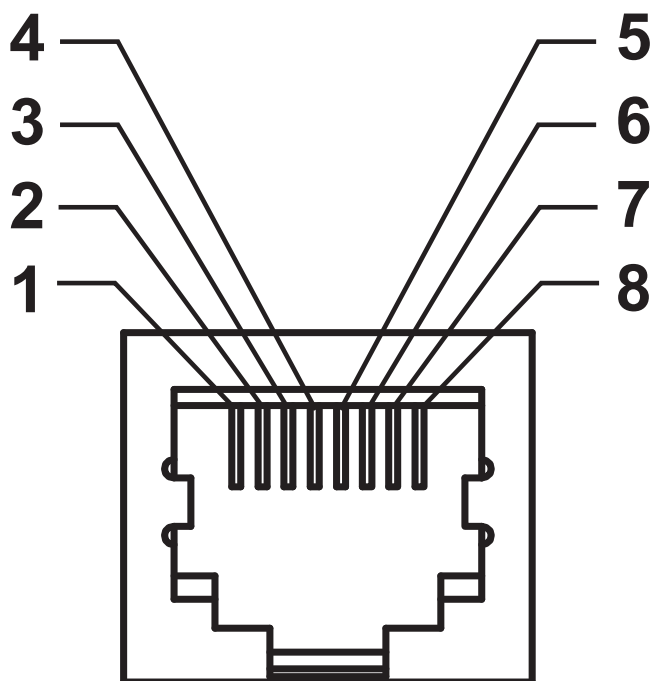
DB-25 から Centronics (ケーブル) へ

イーサネット・インターフェイス

このインターフェイスには、CAT-5 以上の UTP RJ45 イーサネット・ケーブルが必要です。

次の表は、ケーブルのピン配列割り当てを示します。

信号	ピン	ピン	信号
Tx+	1	1	Tx+
Tx-	2	2	Tx-
Rx+	3	3	Rx+
—	4	4	—
—	5	5	—
Rx-	6	6	Rx-
—	7	7	—
—	8	8	—



シリアル・ポート・インターフェイス

ピン	説明
1	未使用
2	RXD (データ受信) プリンタにインプット
3	TXD (データ送信) プリンタからのアウトプット
4	DTR (データ端末準備完了) プリンタからのアウトプット -- ホストからのデータ送信を可能にする信号
5	シャーシ・グラウンド
6	DSR (データ設定準備完了) プリンタにインプット
7	RTS (送信要求) プリンタからのアウトプット -- プリンタがオンの場合は、常に有効状態になっている
8	CTS (送信準備完了) - プリンタでは使用されません
9	+5 V @ 0.75 A ヒューズ

シリアル/パラレル・ポートから利用できる最大の電流は、合計 0.75 アンペアを超えることはありません。

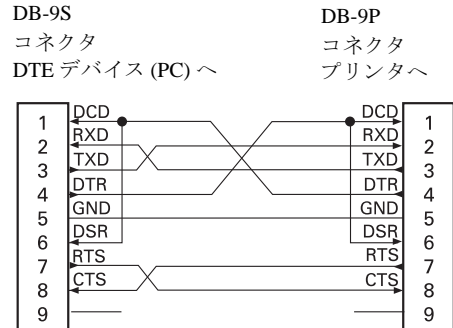
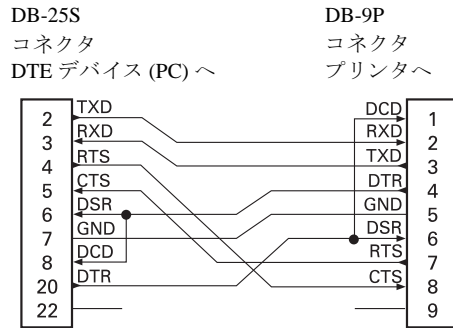
XON/XOFF 接続手順が選択されると、データ・フローは ASCII コントロール・コードの DC1 (XON) と DC3 (XOFF) で制御されます。DTR コントロール・リード線は無効になります。

DTE デバイスへの相互接続 — プリンタは、データ端末装置 (DTE) として構成されています。プリンタを他の DTE デバイス (パソコンのシリアル・ポートなど) に接続するには、RS-232 スル・モデム (クロスオーバー) ケーブルを使います。図 31 は、必要なケーブル接続を示します。

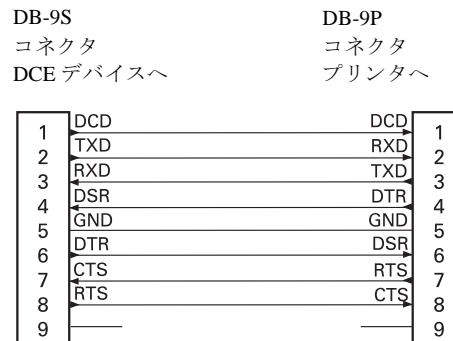
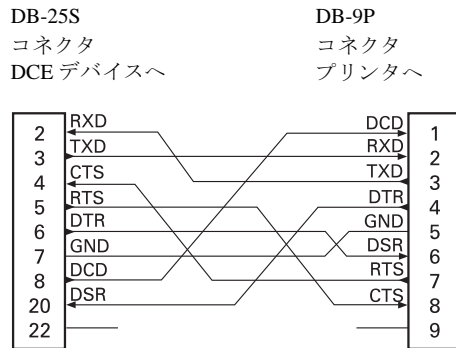
DCE デバイスの相互接続 — プリンタがモデムなどの RS-232 インターフェイスを介してデータ通信装置 (DCE) に接続されるときは、標準の RS-232 (ストレート・スルー) インターフェイス・ケーブルを使う必要があります。図 32 はこのケーブルに必要な接続を示します。

KDU (キーボード・ディスプレイ・ユニット) への接続 — KDU は DCE プリンタ接続用に設計されており、Zebra カスタム・シリアル・ポート・オス/メス変換アダプタを必要とします。現在 KDU には KDU アダプタが含まれており、KDU アダプタの Zebra キットのパーツ番号は、105934-088 です。

プリンタを DTE デバイスに接続



プリンタを DCE デバイスに接続





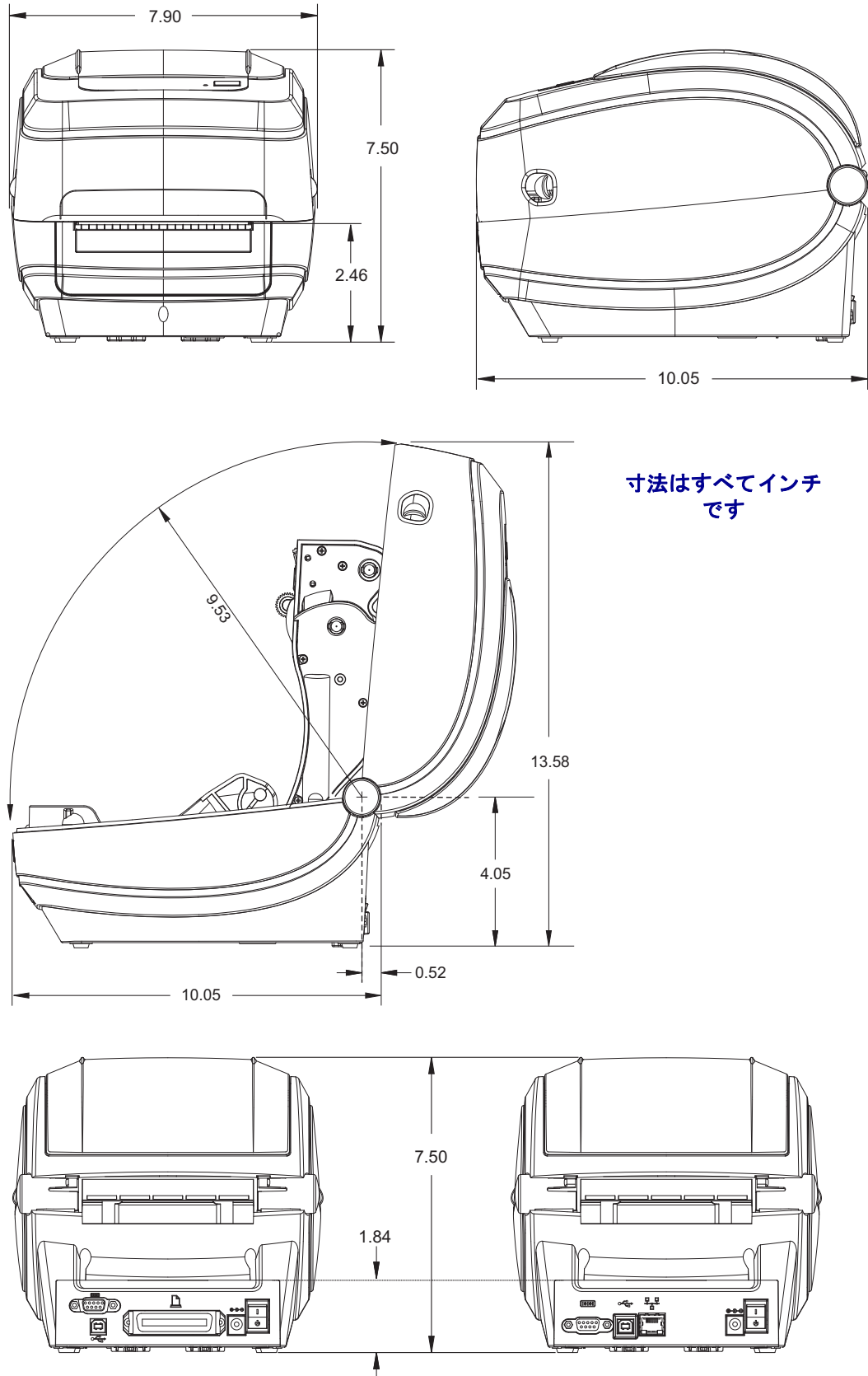
付録：寸法

このセクションでは、プリンタの外寸を示します。

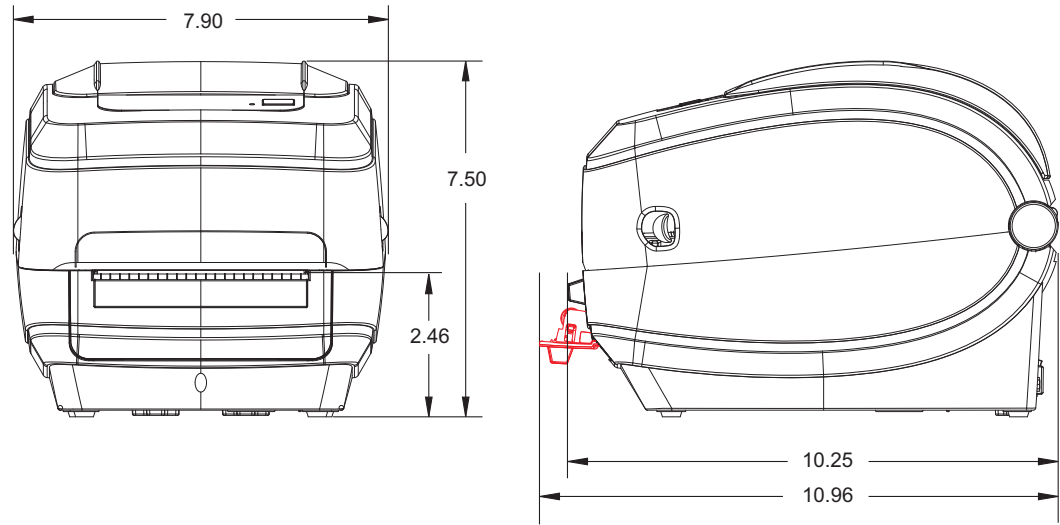
目次

GX プリンタの外寸	120
ラベル・ディスペンサ	121
ワイヤレス・プリンタ	122
ラベル・ディスペンサ付きワイヤレス・プリンタ	122
カッター付きワイヤレス・プリンタ	122

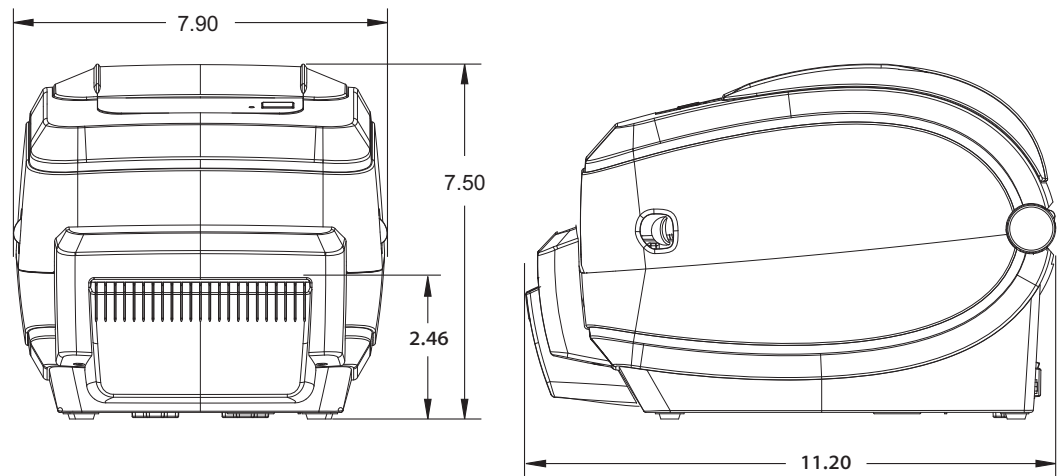
GX プリンタの外寸



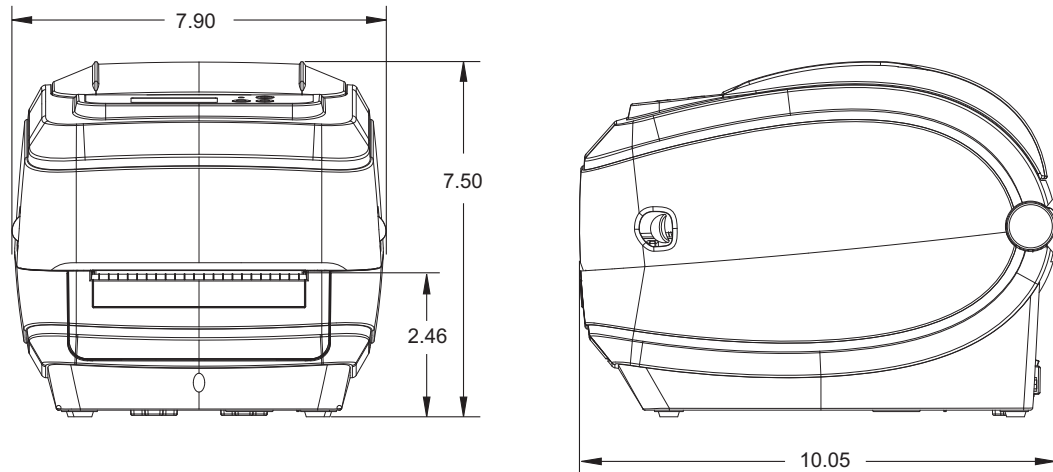
ラベル・ディスペンサ



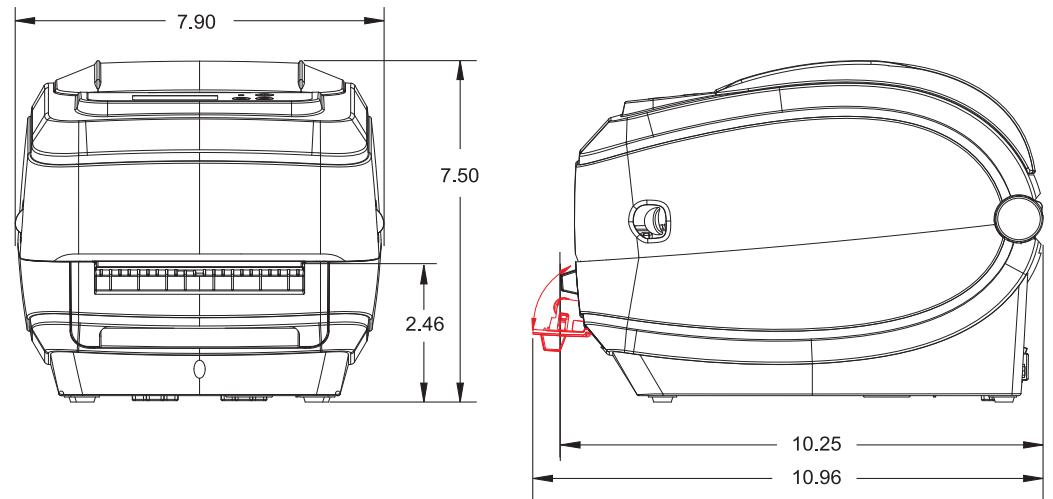
カッター



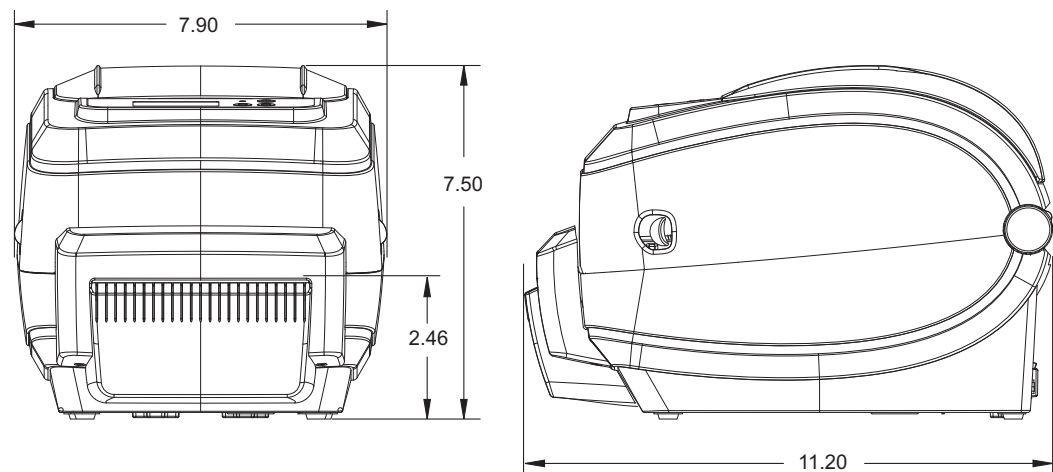
ワイヤレス・プリンタ



ラベル・ディスペンサ付きワイヤレス・プリンタ



カッター付きワイヤレス・プリンタ





付録 : ZPL の設定

このセクションでは、プリンタ設定の管理、設定ステータスの印刷結果、プリンタ・メモリの印刷結果に関する基本概要について説明します。

目次

ZPL プリンタ設定の管理	124
ZPL 設定ステータスとコマンドの相互参照	125
プリンタのメモリ管理と関連ステータス・レポート	128

ZPL プリンタ設定の管理

ZPL プリンタは、最初のラベルを迅速に印刷するために、動的にプリンタ設定を変更できるように設計されています。永続的なプリンタ・パラメータは、次のフォーマットで保持され使用されます。この設定は、後に続くコマンドによって変更されるか、プリンタがリセットされるか、電源が入れ直されるか、または工場出荷時デフォルト値のあるパラメータを4回点滅フィード・ボタン・モードを使用して復元するまで、有効な状態のままです。ZPL 設定の更新コマンド (^JU) は、事前設定済みの設定でプリンタを初期化 (または再初期化) するために、プリンタ設定を保存および復元します。

- 電源を入れ直したかプリンタをリセットした後も設定を保つには、^JUS をプリンタに送信して、現在のすべての永続的な設定を保存します。
- プリンタに最後に保存した値を復元するには、^JUR コマンドを使用すると値を呼び出せます。

ZPL は、上記で説明した単一のコマンドで、すべてのパラメータを1度に保存します。レガシー EPL プログラミング言語 (このプリンタでサポート) は、個々のコマンドを変更し即座に保存します。ほとんどの設定は ZPL と EPL の間で共有されています。たとえば、EPL で速度設定を変更すると、ZPL 操作の速度設定も変更されます。変更された EPL 設定は、いずれかのプリンタ言語によって電源が入れ直されたりリセットされた後も持続します。

開発者の支援用に、プリンタには稼働パラメータのリストであるプリンタ設定ラベルが備わっています。これには、プリンタのフィード・ボタンと [23 ページの「テスト \(プリンタ設定\)・ラベルの印刷」](#) を使用してアクセスできます。Zebra セットアップ・ユーティリティと ZebraDesigner™ Windows ドライバでも、このラベルや他のプリンタ・ステータス・ラベルを印刷して、プリンタの管理に役立てることができます。

ZPL プリンタ設定フォーマット

プリンタ設定プログラミング・ファイルを作成して1台または複数のプリンタに送信することで、複数のプリンタを管理できます。あるいは、ZebraNet™ Bridge を使用してプリンタ設定のクローンを作成することができます。次の図 1 に、ZPL 設定プログラミング・ファイルの基本構造を示します。

プログラミング・ファイルを作成するには、『ZPL プログラマ・ガイド』と [125 ページの「ZPL 設定ステータスとコマンドの相互参照」](#) を参照してください。Zebra セットアップ・ユーティリティ (ZSU) を使用して、プログラミング・ファイルをプリンタに送信できます。Windows Notepad (テキスト・エディタ) を使用してプログラミング・ファイルを作成できます。

図 1・設定パラメータ・フォーマット構造

^XA --- フォーマット開始コマンド

フォーマット・コマンドは順序を区別します

- 一般的な印刷およびコマンド設定
- 用紙の処理と動作
- 用紙印刷サイズ

保存するには **^JUS** コマンド

^XZ – フォーマット終了コマンド

ZPL 設定ステータスとコマンドの相互参照

次に示すように、プリンタ設定ラベルには、ZPL コマンドによって設定できる大部分の設定が一覧表示されています。

図 2・設定ラベルの印刷結果

PRINTER CONFIGURATION	
Zebra Technologies ZTC GX420t	
10.0.....	DARKNESS
6 IPS.....	PRINT SPEED
+000.....	TEAR OFF
TEAR OFF.....	PRINT MODE
GAP/NOTCH.....	MEDIA TYPE
WEB.....	SENSOR TYPE
AUTO.....	SENSOR SELECT
THERMAL-TRANS.....	PRINT METHOD
832.....	PRINT WIDTH
1236.....	LABEL LENGTH
39.0IN 989MM.....	MAXIMUM LENGTH
NOT CONNECTED.....	USB COMM.
BIDIRECTIONAL.....	PARALLEL COMM.
9600.....	BAUD
8 BITS.....	DATA BITS
NONE.....	PARITY
DTR & XON/XOFF.....	HOST HANDSHAKE
NONE.....	PROTOCOL
AUTO.....	SER COMM. MODE
LINER/TAG FULL.....	CUTTER TYPE
<~> 7EH.....	CONTROL CHAR
<^> 5EH.....	COMMAND CHAR
<, > 2CH.....	DELIM. CHAR
ZPL II.....	ZPL MODE
NO MOTION.....	MEDIA POWER UP
FEED.....	HEAD CLOSE
DEFAULT.....	BACKFEED
+000.....	LABEL TOP
+0000.....	LEFT POSITION
NO.....	HEXDUMP
043.....	WEB S.
096.....	MEDIA S.
009.....	WEB GAIN
050.....	MARK S.
015.....	MARK GAIN
095.....	MARK MED S.
032.....	MARK MEDIA GAIN
095.....	CONT MEDIA S.
007.....	CONT MEDIA GAIN
075.....	RIBBON OUT
040.....	RIBBON GAIN
066.....	TAKE LABEL
CWF.....	MODES ENABLED
.....	MODES DISABLED
832 8/MM FULL.....	RESOLUTION
V56.17.7Z <-.....	FIRMWARE
1.3.....	XML SCHEMA
V25.00.0207.....	HARDWARE ID
CUSTOMIZED.....	CONFIGURATION
2104k.....	R: RAM
65536k.....	B: OPTION MEMORY
1536k.....	E: ONBOARD FLASH
NONE.....	FORMAT CONVERT
DISABLED.....	ZBI
2.1.....	ZBI VERSION
4,986 IN.....	LAST CLEANED
4,986 IN.....	HEAD USAGE
4,986 IN.....	TOTAL USAGE
4,986 IN.....	RESET CNTR1
4,986 IN.....	RESET CNTR2
TOP-04.....	SERIAL NUMBER
MAINT. OFF.....	EARLY WARNING
FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED	

サービス目的に
使用されるセン
サー設定

表 2・ZPL コマンドと設定レシート・コールアウトの相互参照

コマンド	リスト名	説明
~SD	インジ_ノット	デフォルト: 10.0
^PR	インジ_ソット	デフォルト: 6 IPS / 152.4 mm/s (最大)
~TA	キトリ_モード	デフォルト: +000
^MN	ヨウシ_タイプ	デフォルト: ギャップ / キレコミ
	センサー_タイプ	デフォルト: トウガシキ
	センサー_セレクト	デフォルト: ジドウ_センタク (^MNA - 自動検出)
^MT	インジ_ホウシキ	デフォルト: ナシ
^MT	インジ_ホウシキ	ネツテンジャ または ダイレクト_サーマル
^PW	インジ_ハバ	デフォルト: 832 (ドット)
^LL	ラベルチョウ	デフォルト: 1225 (ドット) (この値はラベル用紙のウェブギャップ自動検出で頻繁に再キャリブレートされます)
^ML	サイダイ_ヨウシチョウ	デフォルト: 39.0IN 989MM
—	USB_COMM	接続ステータス: 接続 / 未接続
—	パラレル_COMM	使用できる接続: ソウホウコウ
^SCa	ホーレート	デフォルト: 9600
^SC,b	データ_ビット	デフォルト: 8 ビット
^SC,,c	パリティ	デフォルト: ナシ
^SC,,,,e	フロー_セイクョ	デフォルト: DTR & XON/XOFF
^SC,,,,,f	プロトコル	デフォルト: ナシ
	シリアル_ツウシンモード	デフォルト: ジドウ_センタク
	カッター_タイプ	使用できるオプション: ダイシ_タク_フル (カット)
^CT / ~CT	モジ_コントロール	デフォルト: <~> 7EH
^CC / ~CC	コマント_モジ	デフォルト: <^> 5EH
^CD / ~CD	デリミタ_モジ	デフォルト: <, > 2CH
^SZ	ZPL モード	デフォルト: ZPL II
^MFa	PWRUP_ヨウシトウサ	デフォルト: トウサ_シマセン
^MF,b	ハットヲ_シママス	デフォルト: フイト
~JS	バックフイト	デフォルト: デフォルト
^LT	Y インジ_キテン	デフォルト: +000
^LS	X インジ_キテン	デフォルト: +0000
~JD / ~JE	HEXDUMP	デフォルト: チュウシ (~JE)

設定レシート・リストのここからは、印刷結果にはセンサー設定と値が表示され、センサーと用紙動作のトラブルシュートに利用できます。これは通常、プリンタの問題を診断するために Zebra 技術サポートが使用します。

ここに表示する設定のリストは、ラベル剥離 (TAKE LABEL) センサーの値の後から始まっています。これらのリストは、デフォルトからほとんど変更されないプリンタ機能を含むか、ステータス情報を提供します (ファームウェア・バージョンなど)。

表 3・ZPL コマンドと設定レシート・コールアウトの相互参照

コマンド	リスト名	説明
^MP	モード_オン	デフォルト: CWF (^MP コマンド参照) (CWFM ディスプレイ付きワイヤレス・プリンタ用)
	モード_オフ	デフォルト: (設定なし)
^JM	カイゾウト	デフォルト: 832 8/mm フル (203 dpi) 1280 8/mm フル (300 dpi)
-	ファームウェア	ZPL ファームウェア・バージョンを一覧表示
-	XML_スキーマ	1.3
-	ハードウェア ID	ファームウェア・ブート・ブロック・バージョンを一覧表示
-	セッテイ	カスタマイズ (最初の使用以降)
-	RAM	2104k.....R:
-	オプション_メモリ	65536k.....B: (インストールされている場合のみ表示)
-	オンボード_フラッシュ	1536k.....E:
^MU	フォーマット_コンバート	ナシ
^JI / ~JI	ZBI	ムコウ (有効にするにはキーが必要)
-	ZBI バージョン	2.1
^JH ^MA ~RO	ゼンカイノ_クリーニング	X,XXX IN
	ヘットノ_ショウビ	X,XXX IN
	ショウビ_コウケイ	X,XXX IN
	リセット_カウンタ 1	X,XXX IN
	リセット_カウンタ 1	X,XXX IN
-	シリアル_ハンコウ	XXXXXXXXXXXX
^JH	ソウキ_ケイコク	メンテナンス_オフ

プリンタは、後に続く全てのレシート (またはラベル) に対して 1 つまたは複数のコマンドを 1 度に設定することができます。これらの設定は、後で別のコマンドによって変更されるか、プリンタがリセットされるか、工場出荷時のデフォルト設定を復元するまで、有効なままです。

プリンタのメモリ管理と関連ステータス・レポート

プリンタではプリンタ資源の管理に役立てるため、メモリ、オブジェクト・コピー（メモリ領域、インポートおよびエクスポート間）、オブジェクトの命名を管理し、プリンタの動作ステータス・レポートの作成を行うための、各種のフォーマット・コマンドをサポートしています。これらは DIR（ディレクトリ・リスト）や DEL（ファイル削除）など、従来の DOS コマンドとよく似ています。最も一般的なレポートは、Zebra セットアップ・ユーティリティと ZebraDesigner™ Windows ドライバの一部でもあります。

図 3・メモリ管理フォーマット構造

^XA --- フォーマット開始コマンド

再使用する場合は単一の
フォーマット・コマンドをお勧めします

^XZ - フォーマット終了コマンド

このタイプのフォーマット（フォーム）では、単一のコマンドを処理することをお勧めします。単一のコマンドは、メンテナンスや開発ツールとして、容易に再使用することができます。

オブジェクトをコピーしたり、メモリの管理やレポートを行うコマンドの多くは、コントロール（~）コマンドです。これらはフォーマット（フォーム）内にある必要はありません。これらのコマンドは、フォーマット（フォーム）内にあるかどうかに関わらず、プリンタが受信すると即座に処理されます。



注記・使用できるプリンタ・メモリを最大にするために、プリンタには自動メモリ・デフラグ（デフラグメンテーション）が備わっています。デフラグ作業をトリガするにはいくつかの要因があります。オブジェクトを削除したり追加したりしてメモリを変更すると、デフラグが実行されることがあります。メモリ・デフラグが進行中は、プリンタ・ステータス・ランプが赤、琥珀色、緑の点滅を開始します。ステータス・ランプが点滅中は、プリンタの電源を切らないでください。メモリの使用率とファイルのフラグメンテーションが多い場合、この作業は数分かかることがあります。

メモリ管理のための ZPL プログラミング

ZPL には、さまざまなプリンタ・メモリ位置があり、プリンタの実行、印刷イメージのアセンブル、フォーマット（フォーム）、グラフィック、フォント、設定の保存に使用されます。

- ZPL はファイルなどのフォーマット（フォーム）、フォント、グラフィック、また、DOS オペレーティング・システム環境のディスク・ドライバなどのメモリ位置を処理します。
- メモリ・オブジェクトの命名：最大 16 文字の英数字の後ろに、3 文字の英数字のファイル拡張子が続きます。
たとえば、123456789ABCDEF.TTF 現在の 16.3 ファイル名形式に対して、V60.13 以前のファームウェアを備えたレガシー ZPL プリンタの場合は、8.3 ファイル名形式のみを使用できます。

- メモリ位置の間でのオブジェクトの移動と、オブジェクトの削除を行えます。
- 印刷結果またはホストに対するステータスとして、DOS ディレクトリ・スタイル・ファイル・リスト・レポートをサポートします。
- ファイル・アクセスに「ワイルドカード」(*)を使用できます。

表 4・オブジェクト管理とステータス・レポート・コマンド

コマンド	名前	説明
^WD	ディレクトリ・ラベルの印刷	アドレス可能なメモリ位置にあるオブジェクトと、常駐するバーコードおよびフォントのリストを印刷します
~WC	設定ラベルの印刷	設定ステータス・レシート (ラベル) を印刷します 1 回点滅フィード・ボタン・モードと同じです
^ID	オブジェクト削除	プリンタ・メモリからオブジェクトを削除します
^TO	オブジェクト・コピー	1 つまたは複数のオブジェクトを 1 つのメモリ領域から別のメモリ領域にコピーするために使用します
^CM	メモリの文字割り当ての変更	文字割り当てをプリンタのメモリ領域に再割り当てします
^JB	フラッシュ・メモリの初期化	ディスクの初期化と同様です - 指定されたメモリ位置 B: または E: からすべてのオブジェクトを消去します。
~JB	オプションのメモリのリセット	ディスクの初期化と同様です - B: メモリ (工場オプション) からすべてのオブジェクトを消去します
~DY	オブジェクトのダウンロード	幅広いプリンタで使用できるプログラミング・オブジェクト (フォント (OpenType および TrueType)、グラフィック、その他のオブジェクト・データ・タイプ) をダウンロードしインストールします。 <i>推奨事項: グラフィックとフォントをプリンタにダウンロードするには ZebraNet™ Bridge を使用してください。</i>
~DG	グラフィックのダウンロード	グラフィック・イメージの ASCII Hex 表現をダウンロードします。これは ZebraDesigner™ (ラベル作成アプリケーション) でグラフィックに使用します。
^FL	フォント・リンク	主要な TrueType フォントに補助的な TrueType フォントを追加して、グリフ (文字) を追加します
^LF	フォント・リンクのリスト	リンクされたフォントのリストを印刷します
^CW	フォント識別子	単一の英数字を、メモリに保存されたフォントのエイリアスとして割り当てます

